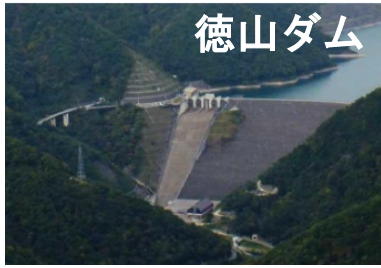
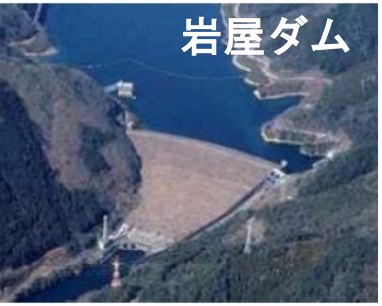
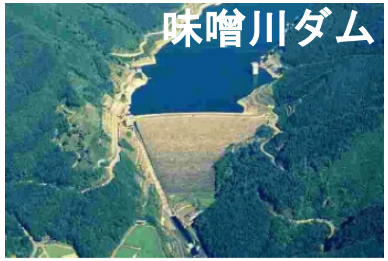
令和３年度 中部地方ダム等管理フォローアップ委員会

中部地方ダム年次報告書　（令和２年次）







令和４年１月

国土交通省 中部地方整備局

独立行政法人 水資源機構 中部支社

目　次

はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
令和２年中部地方ダムの概要・・・・3
１．概要
(1) ダム諸元 ・・・・・・・・・・・・・・・・4
(2) 容量配分 ・・・・・・・・・・・・・・・・7
(3) 令和２年中部地方の気象概要・・・・・・ 11
(4) 令和２年中部地方の月別降水量・・・・ 12
２．貯水池運用 ・・・・・・・・・・・・・13
３．防災操作
(1) 洪水調節図（概念図） ・・・・・・・・・28
(2) 各ダムの防災操作 ・・・・・・・・・・・30
４．利水
(1) 各ダムの貯水容量 ・・・・・・・・・・・48
(2) 各ダムの回転率 ・・・・・・・・・・・・50
５．堆砂
(1) 堆砂状況 ・・・・・・・・・・・・・・・54
(2) 堆砂対策 ・・・・・・・・・・・・・・・56
６．水質
(1) 水質の現況 ・・・・・・・・・・・・・・57
(2) 水質変化現象 ・・・・・・・・・・・・・59
７．生物
(1) 調査実施状況 ・・・・・・・・・・・・・60
(2) 重要種・外来種の選定基準・・・・・ 63
(3) 調査結果の概要 ・・・・・・・・・・・・64
(4) 環境保全対策の実施状況 ・・・・・・68
８．水源地域動態
(1) ダム湖利用状況 ・・・・・・・・・・・・70
(2) 水源地域ビジョン ・・・・・・・・・・・73

はじめに

■対象は、美和ダム、小渋ダム、新豊根ダム、矢作ダム、丸山ダム、横山ダム、徳山ダム、蓮ダム、長島ダム、寒狭川堰、小里川ダム、岩屋ダム、阿木川ダム、長良川河口堰、味噌川ダムの15ダムです。

■とりまとめは、「年次報告書作成の手引き（平成15年度版）」をもとに、これまでのフォローアップ委員会での意見等を踏まえ、令和２年のフォローアップ調査結果として整理しました。

令和2年　中部地方ダムの概要

■ 貯水池運用
年間降水量は、近10ヶ年平均と比較して、矢作川水系・櫛田川水系では多く、その他5水系では少なくなっていましたが、全ての水系で7月、10月は例年を大きく上回る降水量となりました。貯水池運用に際しては、1～6月の間に長島ダム・小渋ダム・阿木川ダム・味噌川ダム・蓮ダムで例年より低く推移していましたが、年間通じては、概ね計画通りの貯水池運用を行いました。

■ 防災操作
矢作ダム（1回）、美和ダム（4回）、小渋ダム（7回）、新豊根ダム（2回）小里川ダム（2回）、横山ダム（1回）、徳山ダム（2回）、岩屋ダム（6回）、味噌川ダム（2回）　、阿木川ダム（3回）で計30回実施ししました。

■ 利水
各ダムともに適切に発電及び利水補給を実施しました。回転率（総流入量/非洪水期利水容量）においても、概ね例年通りとなっています。

■ 堆砂
美和ダム、小渋ダム、新豊根ダム、丸山ダムにおいて計画年間堆砂量を大きく上回る堆砂量となりましたが、その他の各ダムでは、平年並みもしくはそれ以下の堆砂進行状況でした。

■ 水質
環境基準が設定されている項目は、令和２年において概ね基準値を満足していましたが、大腸菌群数は基準値を超過するダムが多い状況となっていました。
全てのダムにおいて、管理上問題となる水質障害は発生していませんでした。

■ 生物
河川水辺の国勢調査、フォローアップ調査等については、下記のように実施しました。
　魚類：長島ダム、矢作ダム
　動植物プランクトン：新豊根ダム、丸山ダム、横山ダム
　植物：小里川ダム
　鳥類：丸山ダム、徳山ダム、岩屋ダム、阿木川ダム、味噌川ダム
　陸上昆虫類等：蓮ダム
　環境基図：小里川ダム
　フォローアップ調査：寒狭川堰、長良川河口堰

■ 水源地域動態
各ダムにおいて森と湖に親しむ旬間の行事としてインターネットを用いて巡視動画等の情報発信を行いました。

1. 概要　（１）ダム諸元(1)

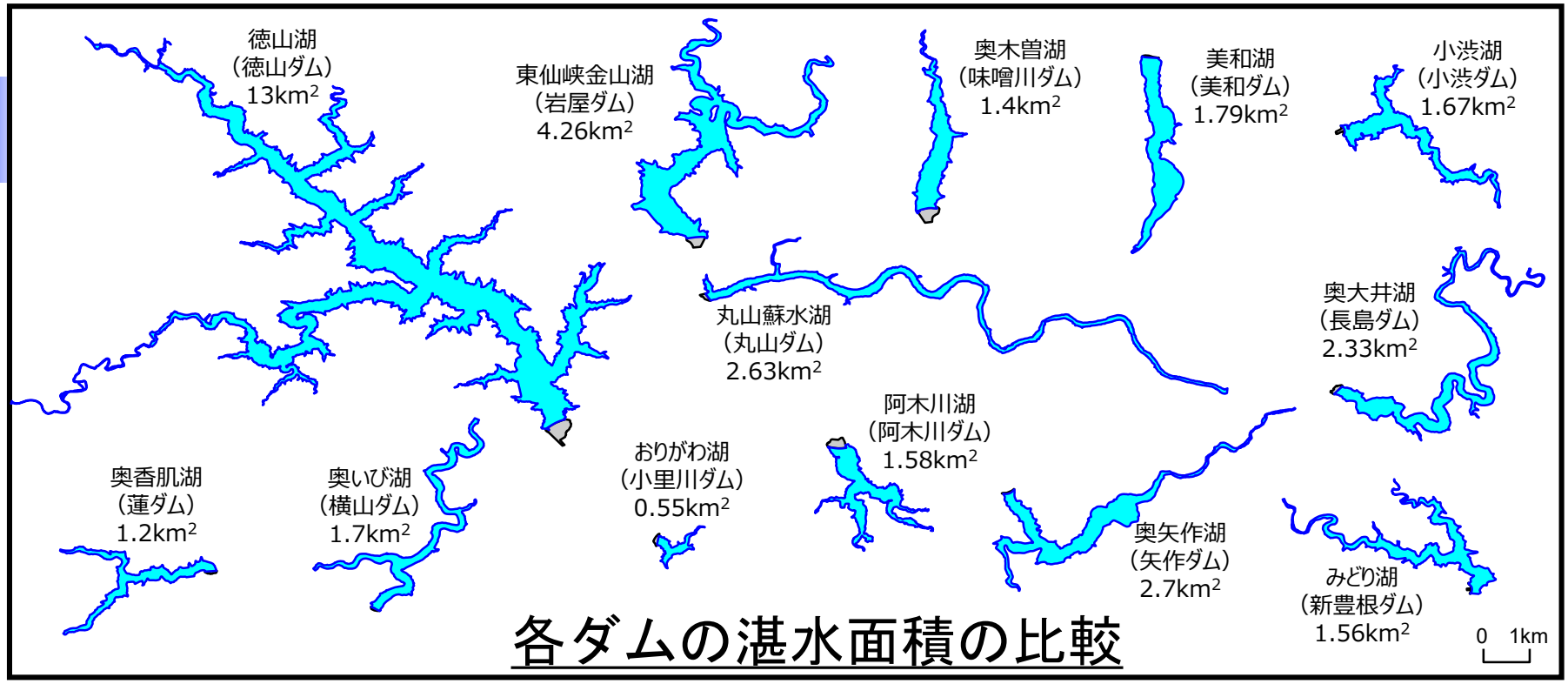
ダム名		長島(ながしま)ダム	美和(みわ)ダム	小渋(こしぶ)ダム	新豊根(しんとよね)ダム	寒狭川(かんさがわ)堰	矢作(やはぎ)ダム	小里川(おりがわ)ダム
水系名及び河川名		大井川水系 大井川	天竜川水系 三峰川	天竜川水系 小渋川	天竜川水系 大入川	豊川水系 豊川	矢作川水系 矢作川	庄内川水系 小里川
完成年度		平成14年	昭和34年	昭和44年	昭和48年	平成9年	昭和46年	平成16年
管理事務所等名		長島ダム管理所	天竜川ダム統合管理事務所 美和ダム管理支所	天竜川ダム統合管理事務所	浜松河川事務所 新豊根ダム管理支所	中部地方整備局および (独)水資源機構	矢作ダム管理所	庄内川河川事務所 小里川ダム管理支所
所在地		左岸： 静岡県榛原郡根本町梅地 右岸： 静岡県榛原郡川根本町犬間	左岸： 長野県伊那市高遠町勝間 右岸： 長野県伊那市長谷非持345	左岸： 長野県下伊那郡松川町生田 右岸： 長野県上伊那郡中川村大草6884-19	左岸： 愛知県北設楽部豊根村古真立字月代1-3 右岸： 愛知県北設楽部豊根村古真立字後山1-1	左岸： 愛知県新城市玖老勢字大曲 右岸： 愛知県新城市玖老勢字向山	左岸： 愛知県豊田市閑羅瀬町 右岸： 岐阜県恵那市串原閑羅瀬	左岸： 岐阜県瑞浪市陶町水上 右岸： 岐阜県恵那市山岡町田代1565-21
ダムの外観								
ダムの諸元	ダムの形式	G:重力式コンクリートダム	G:重力式コンクリートダム	A:アーチ式コンクリートダム	A:アーチ式コンクリートダム	可動堰(洪水吐き:ローラーゲート2門)	A:アーチ式コンクリートダム	G:重力式コンクリートダム
	ダムの目的	(F)(N)(A)(W)(I)P	(F)N (A)W I(P)	(F)N (A)W I(P)	(F)N A W I(P)	F (N)(A)(W) I P	(F)(N)(A)(W)(I)(P)	(F)(N) A W I(P)
	堤高	109m	69.1m	105.0m	116.5m	3.9m(堰上高)	100m	114m
	堤頂長	308m	367.5m	293.3m	311.0m	58m(堰長)	323.1m	331.1m
	流域面積	534.3km^2	311.1km^2	288.0km^2	136.3km^2	300km^2	504.5km^2	55km^2

※ダムの目的　F：洪水調節、 N：流水の正常な機能の維持、 A：特定かんがい、 W：上水、 I：工水、 P：発電

1. 概要　（１）ダム諸元(2)

ダム名		丸山(まるやま)ダム	横山(よこやま)ダム	徳山(とくやま)ダム	岩屋(いわや)ダム	阿木川(あぎがわ)ダム	長良川河口堰 (ながらがわかこうぜき)	味噌川(みそがわ)ダム	蓮(はちす)ダム
水系名及び河川名		木曽川水系 木曽川	木曽川水系 揖斐川	木曽川水系 揖斐川	木曽川水系 馬瀬川	木曽川水系 阿木川	木曽川水系 長良川	木曽川水系 木曽川	櫛田川水系 蓮川
完成年度		昭和29年	昭和39年	**平成19年**	**昭和51年**	**平成2年**	**平成6年**	平成8年	平成3年
管理事務所等名		丸山ダム管理所	木曽川上流河川事務所 横山ダム管理支所	(独)水資源機構 徳山ダム管理所	(独)水資源機構 岩屋ダム管理所	(独)水資源機構 阿木川ダム管理所	(独)水資源機構 長良川河口堰管理所	(独)水資源機構 味噌川ダム管理所	蓮ダム管理所
所在地		左岸： 岐阜県可児郡御嵩町小和沢字北浦山 右岸： 岐阜県加茂郡八百津町八百津字安渡	左岸： 岐阜県揖斐郡揖斐川町東横山 右岸： 岐阜県揖斐郡揖斐川町西横山	左岸： 岐阜県揖斐郡揖斐川町徳山、東杉原 右岸： 岐阜県揖斐郡揖斐川町開田、鶴見	左岸： 岐阜県下呂市金山町卯野原6-44 右岸： 岐阜県下呂市金山町乙原1549-3	左岸： 岐阜県恵那市東野字山本 右岸： 岐阜県恵那市東野字花無山	左岸： 三重県桑名市長島町十日外面 右岸： 三重県桑名市大字福島	左岸： 長野県木曽郡木祖村大字小木曽 右岸： 長野県木曽郡木祖村大字小木曽	左岸： 三重県松阪市飯高町森地先 右岸： 三重県松阪市飯高町森地先
ダムの外観									
ダムの諸元	ダムの形式	G:重力式コンクリートダム	HG:中空重力式コンクリートダム	R:土質遮水型ロックフィルダム	R:土質遮水型ロックフィルダム	R:土質遮水型ロックフィルダム	可動堰	R:土質遮水型ロックフィルダム	G:重力式コンクリートダム
	ダムの目的	Ⓕ N A W I Ⓟ	Ⓕ N A W I Ⓟ	ⒻⓃ(Ⓐ)ⓌⒾⓅ	Ⓕ NⒶⓌⒾⓅ	ⒻⓃ A ⓌⒾ P	Ⓕ N A ⓌⒾ P	ⒻⓃ A ⓌⒾⓅ	ⒻⓃ A Ⓦ IⓅ
	堤高	98.2m	80.8m	161m	127.5m	101.5m		140m	78m
	堤頂長	260.0m	220.0m	427.1m	366m	362m	661m（堰総延長）	446.9m	280m
	流域面積	2,409km^2	471km^2	254.5km^2	**1,034.9km^2** **※直接：264.9km^2** **間接：770km^2**	81.8km^2	1,985km^2	55.1km^2	80.9km^2

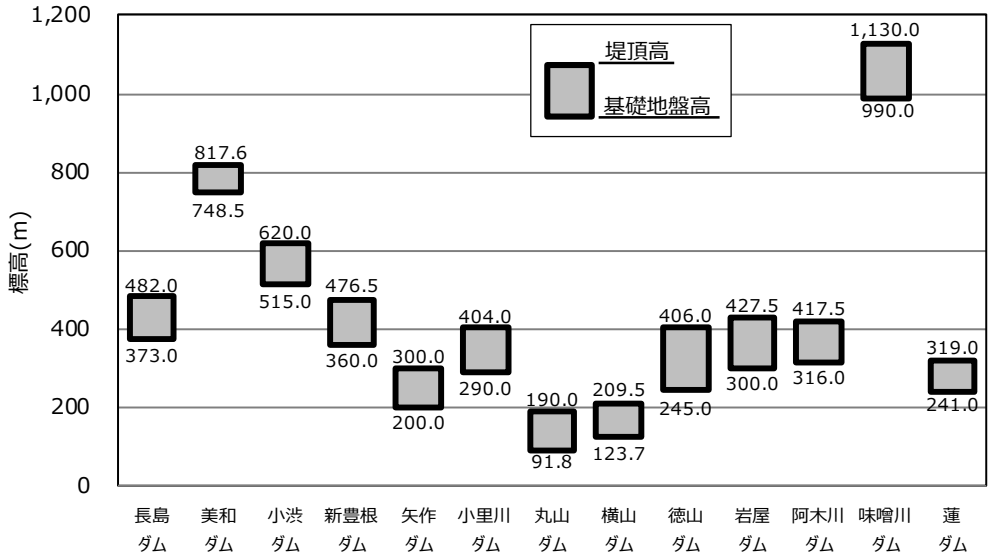
※ダムの目的　F：洪水調節、 N：流水の正常な機能の維持、 A：特定かんがい、 W：上水、 I：工水、 P：発電



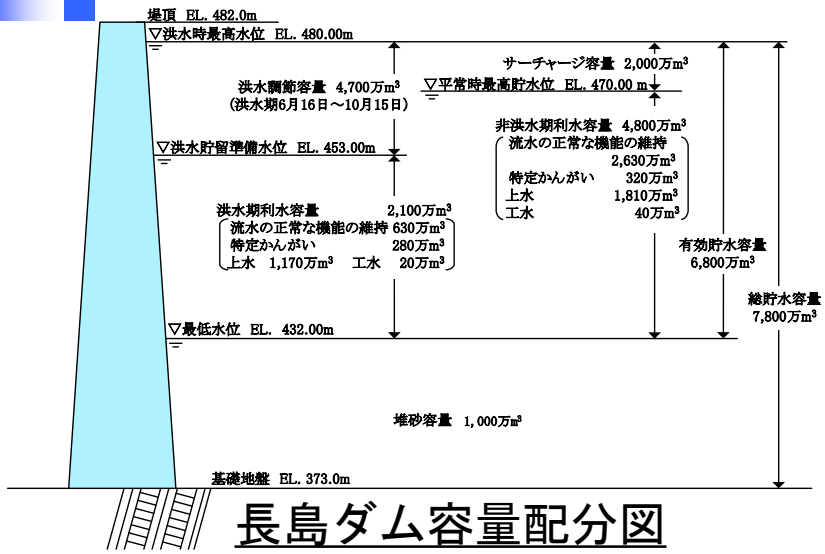
各ダムの湛水面積の比較

各ダムの標高

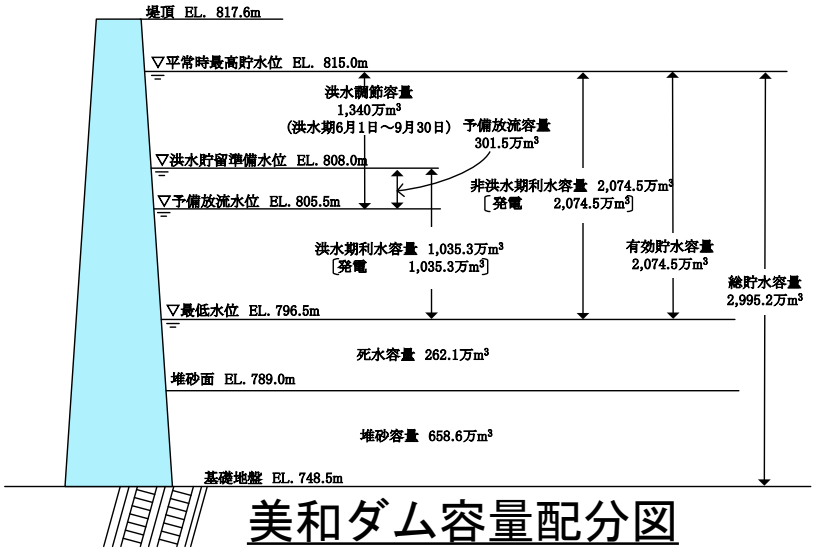
(堤頂高と基礎地盤高)



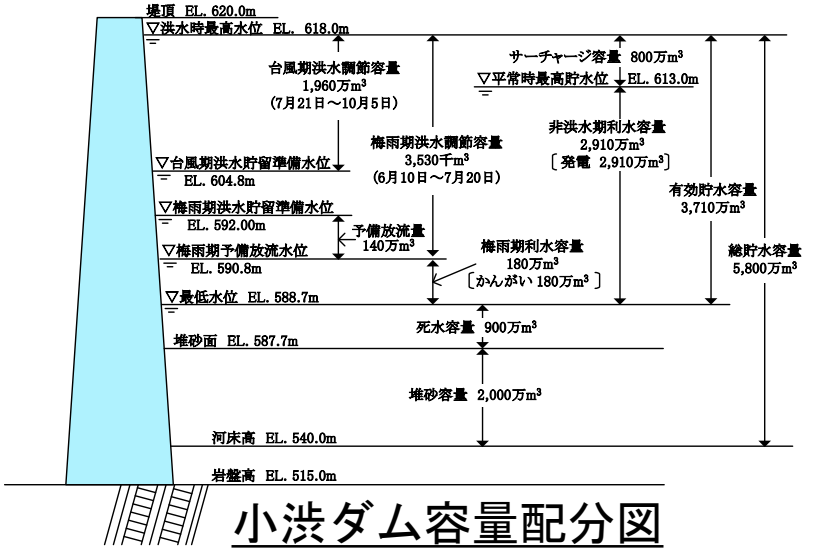
1. 概要　（２）容量配分



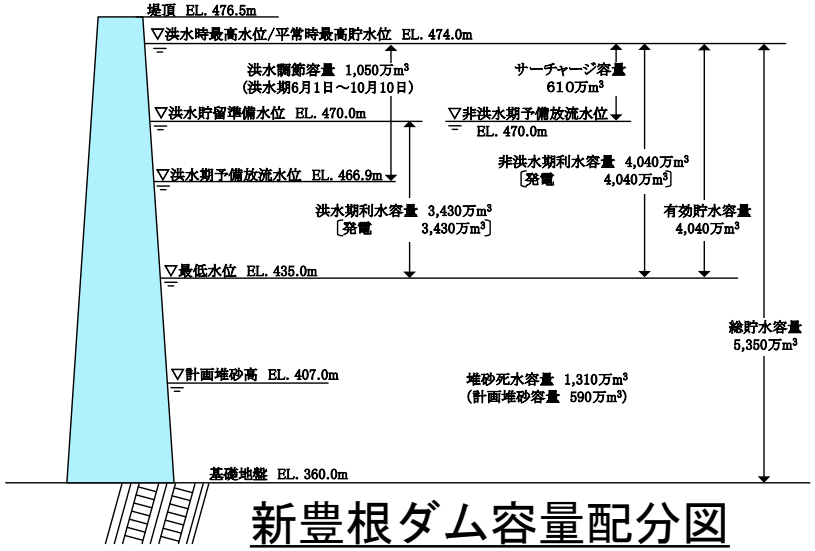
長島ダム容量配分図



美和ダム容量配分図

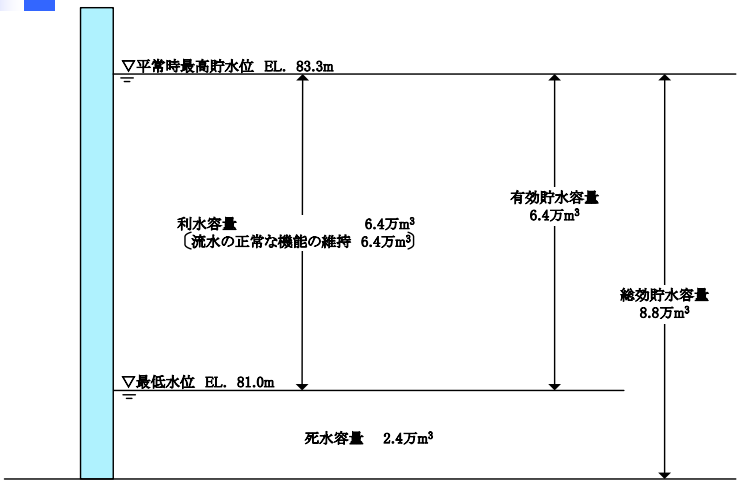


小渋ダム容量配分図

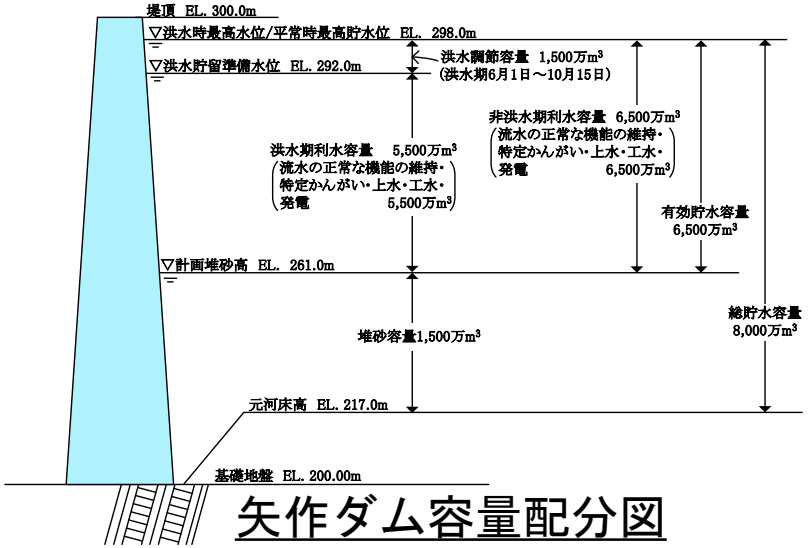


新豊根ダム容量配分図

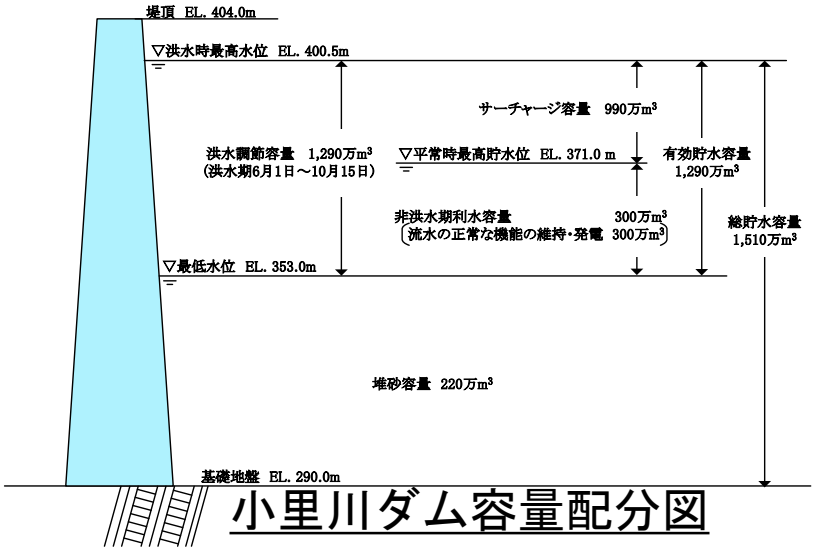
1. 概要　（２）容量配分



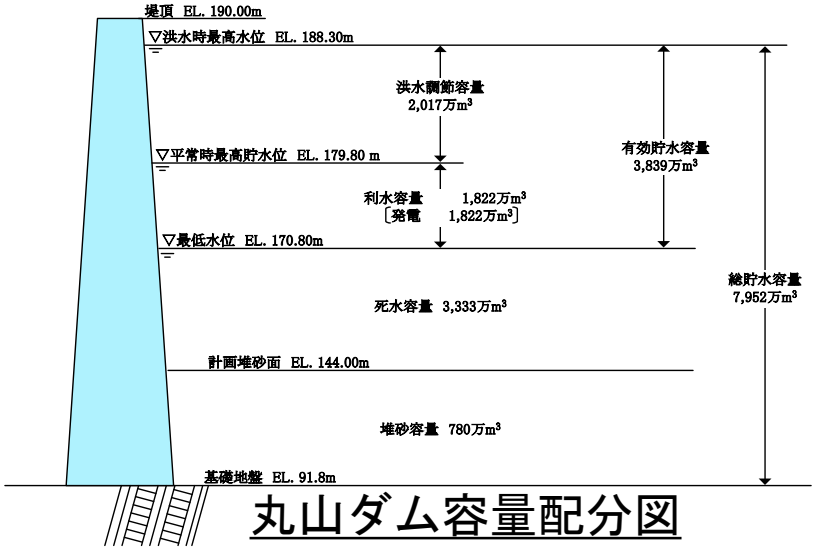
寒狭川堰容量配分図



矢作ダム容量配分図

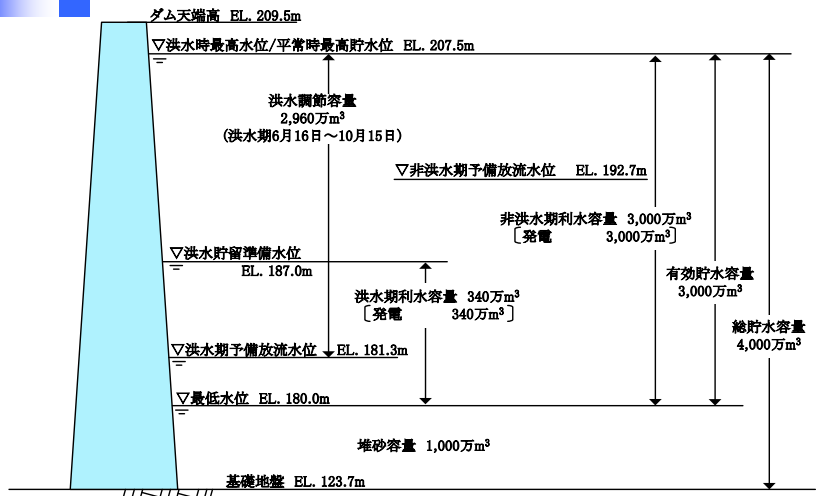


小里川ダム容量配分図

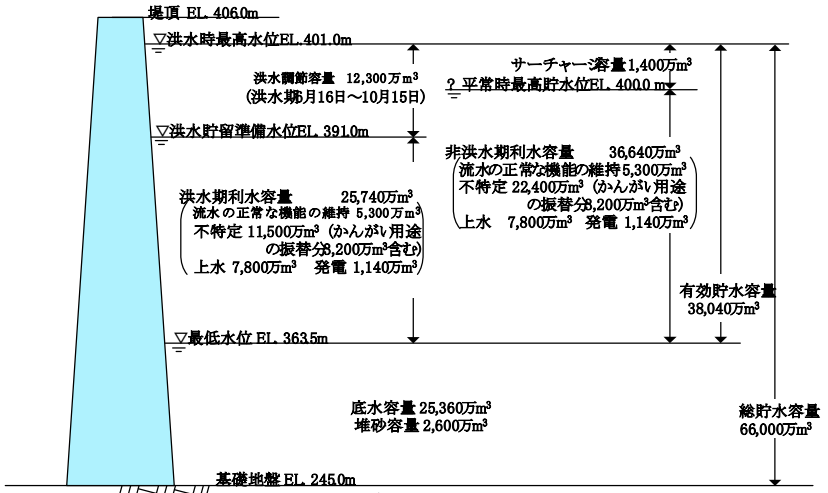


丸山ダム容量配分図

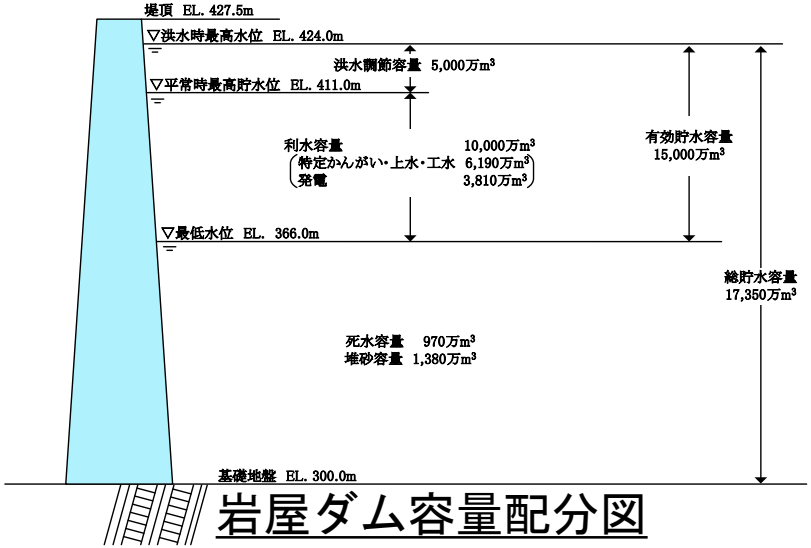
1. 概要　（２）容量配分



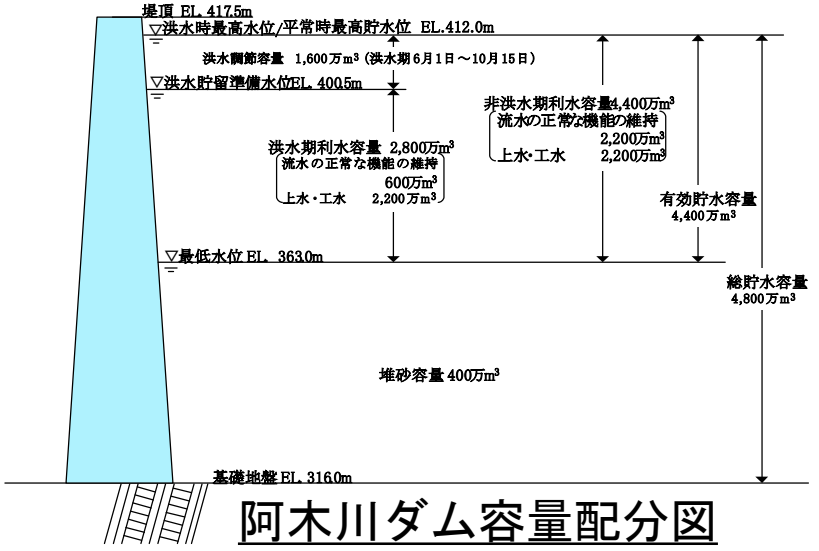
横山ダム容量配分図



徳山ダム容量配分図

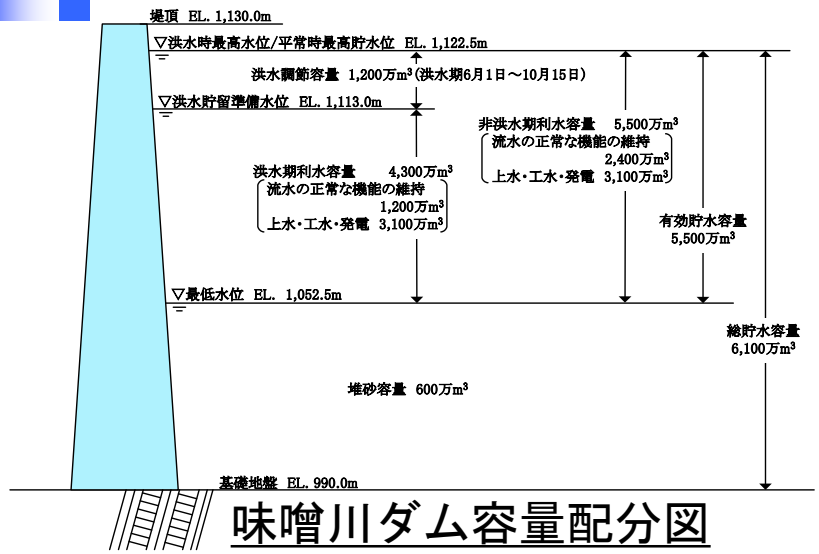


岩屋ダム容量配分図

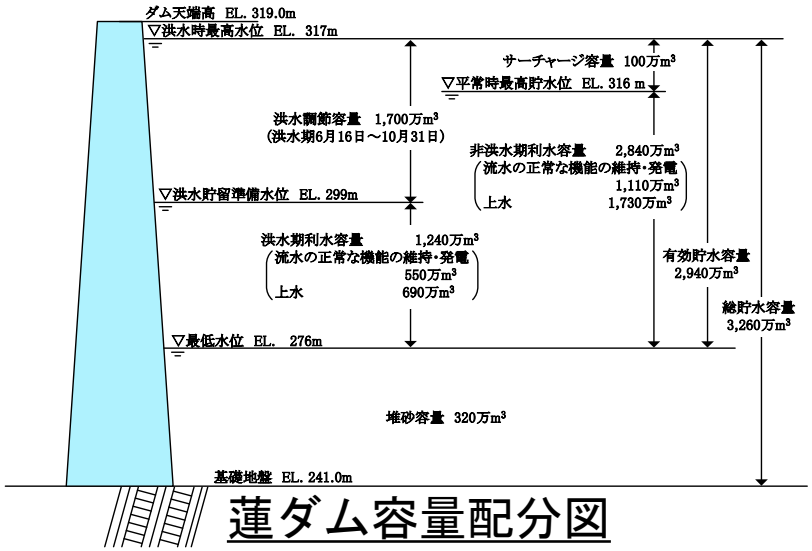


阿木川ダム容量配分図

1．概要　（２）容量配分



味噌川ダム容量配分図



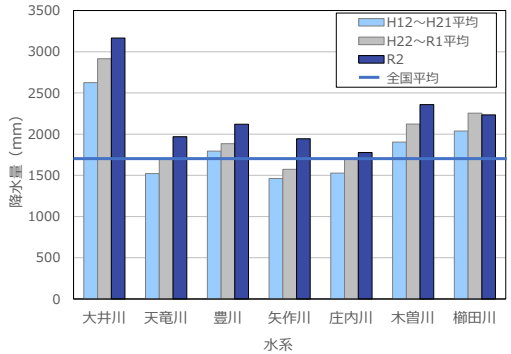
蓮ダム容量配分図

※「洪水等に関する防災情報体系の見直し実施要領」（平成18年10月1日河川局長通知）によりダム水位関係の用語が以下のように変更となっています。

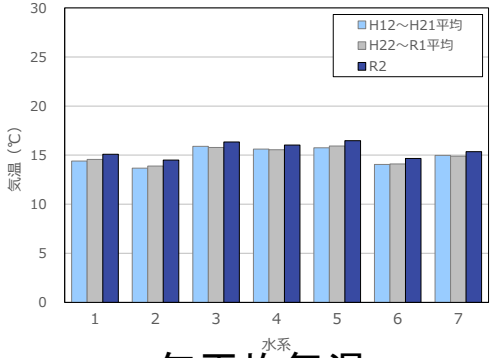
（旧）設計洪水位　→　（新）設計最高水位（参考）
（旧）サーチャージ水位　→　（新）洪水時最高水位
（旧）常時満水位　→　（新）平常時最高貯水位
（旧）洪水期制限水位　→　（新）洪水貯留準備水位

1. 概要　（３）令和２年中部地方の気象概要

・降水量は平成23年～令和2年の10ヶ年平均（以下、過去10ヶ年平均という）に対して、 櫛田川水系ではやや少なく、他は多かった。平均気温は各水系とも過去10ヶ年平均よりもやや高かった。
・台風発生は平年より少ない23個（平年値25.6個）であった。日本への接近数は平年より少ない7個（平年値11.4個）であり、そのうち中部地方への接近数は2個であった。



年平均降水量

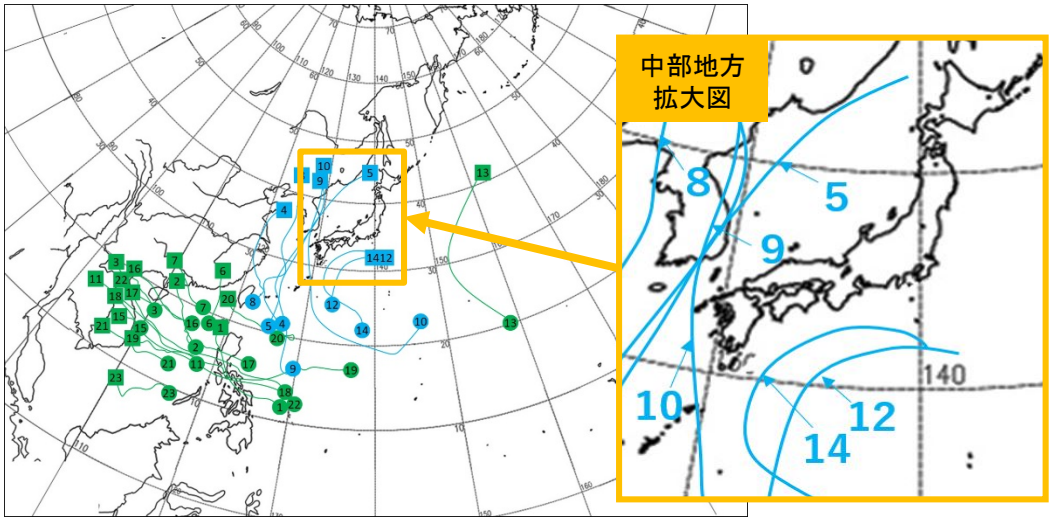


年平均気温

※ここで整理した降水量・気温は、各水系の河川整備基本方針・河川整備計画に記載のある観測所の平均をとったもの

凡例
●：発生位置
■：消滅位置
数字：号数

上　陸：赤
接　近：青
その他：緑



R2台風の発生と経路

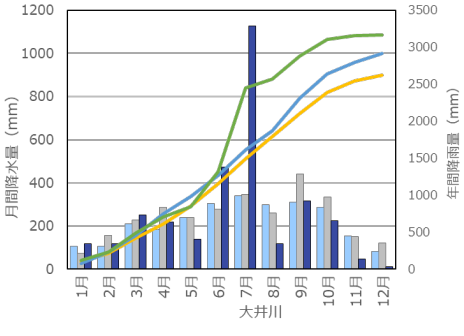
中部地方に接近したR2台風

台風番号	接近日	防災操作実施ダム
台風4号	7月31日～8月2日	なし
台風5号	8月7日～14日	なし
台風8号	8月21日～29日	なし
台風9号	8月27日～9月7日	なし
台風10号	8月31日～9月10日	徳山ダム
台風12号	9月20日～29日	なし
台風14号	10月4日～19日	なし

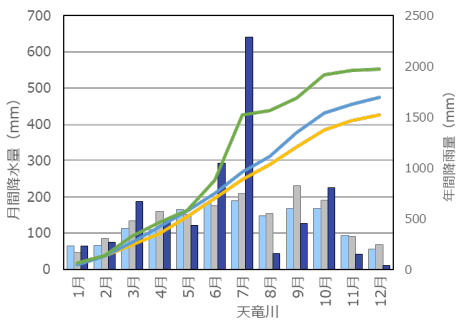
出典：気象庁ＨＰを基に作成

1. 概要　（４）令和２年中部地方の月別降水量

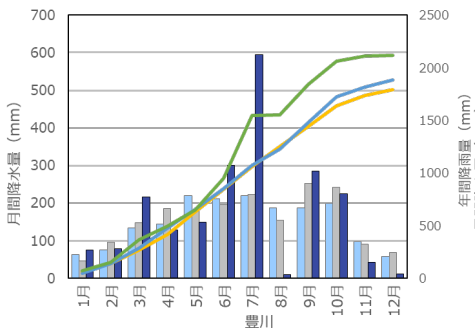
・洪水期の月別降水量は、7月の前線の影響により櫛田川水系を除く水系で過去10ヶ年と比べて2.5倍程度大きい結果となった。
・8月、11月、12月の降水量は、過去10ヶ年と比べて少ない結果となった。



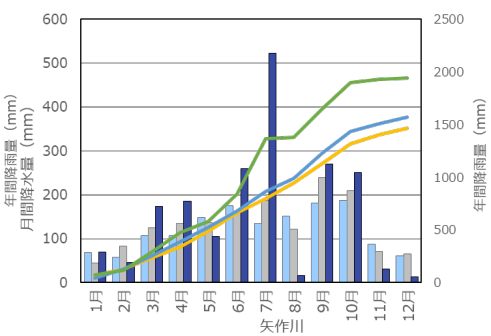
大井川水系



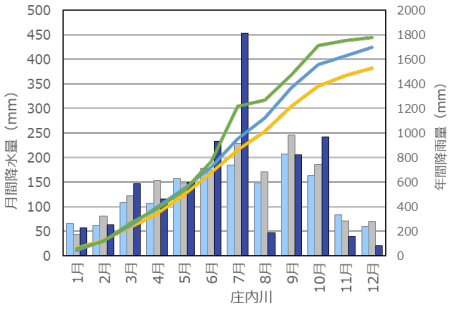
天竜川水系



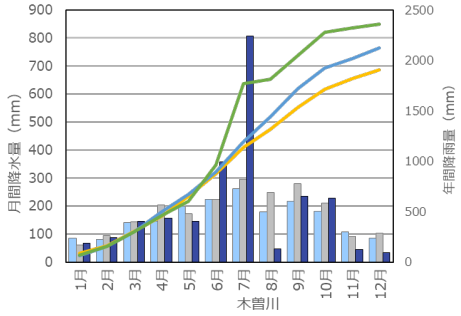
豊川水系



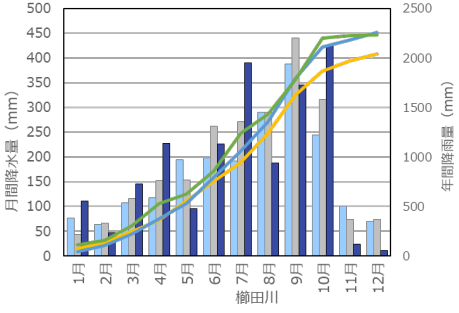
矢作川水系



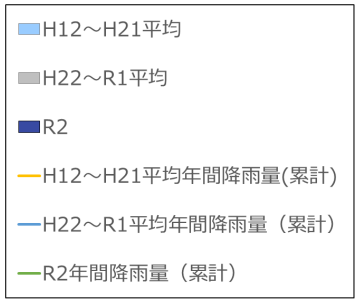
庄内川水系



木曽川水系



櫛田川水系



凡例

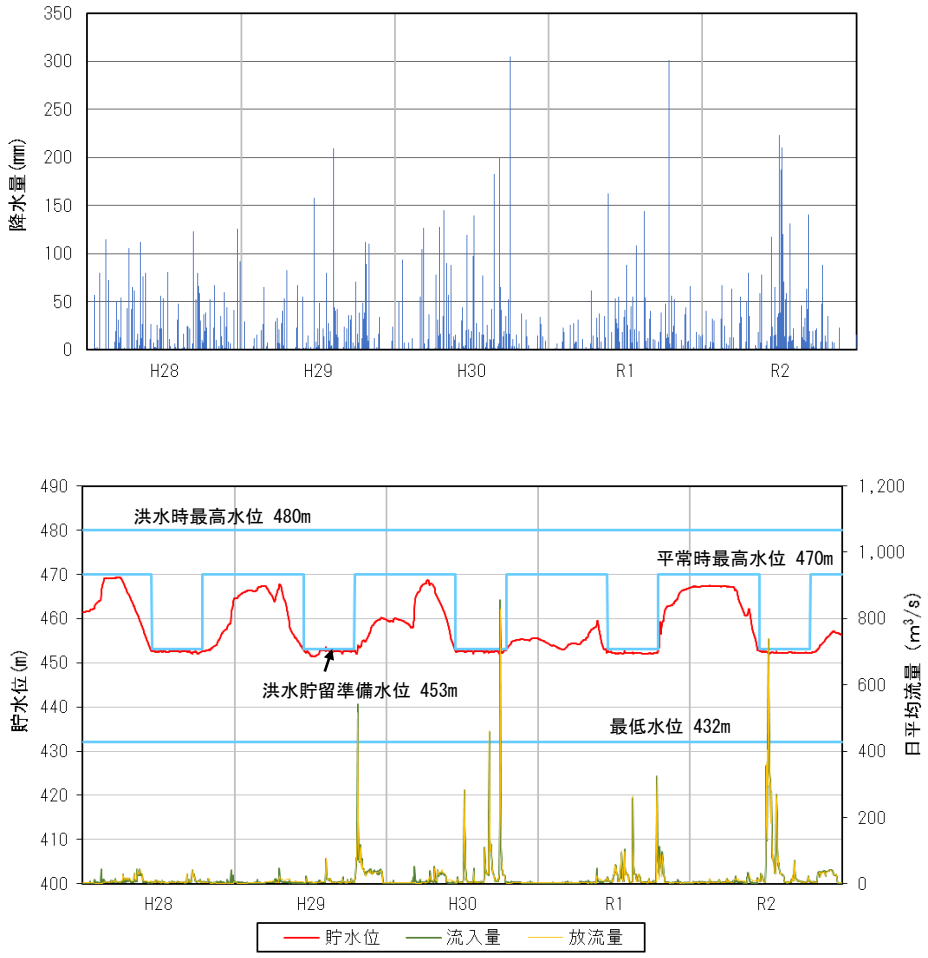
月別降水量の10ヶ年平均値との比較

※ここで整理した月別降水量は、各水系の河川整備基本方針・河川整備計画に記載のある観測所の平均をとったもの

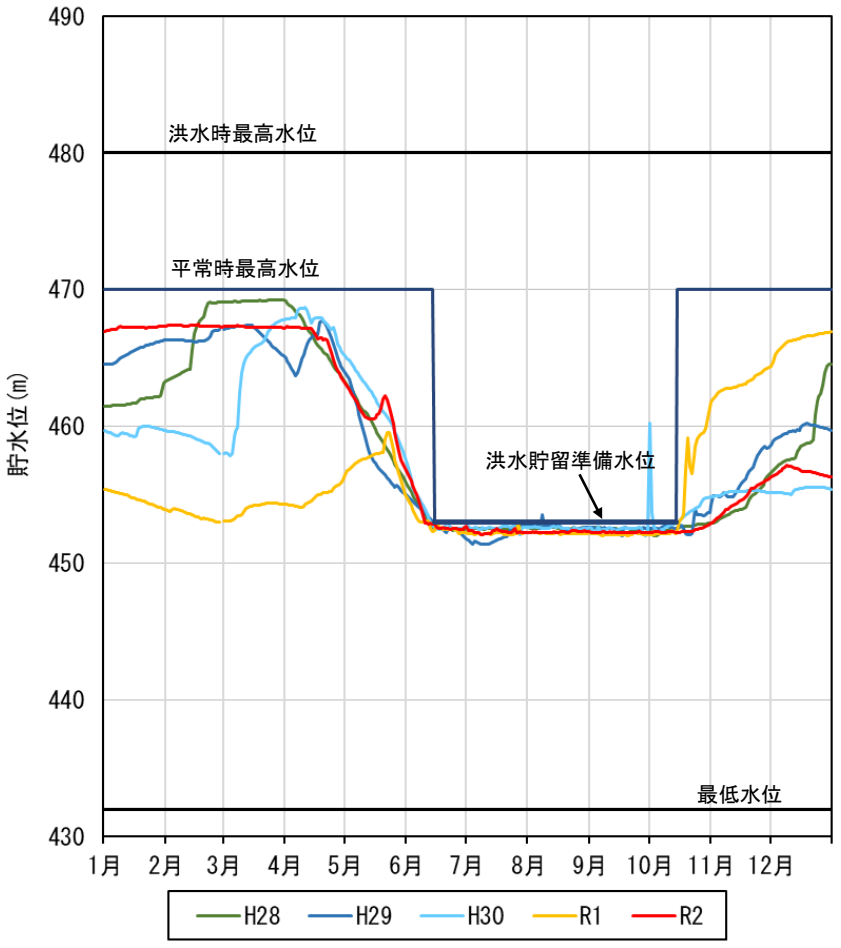
出典：気象庁ＨＰ

2．貯水池運用　長島ダム

■　洪水貯留準備水位及び平常時最高水位を考慮した運用が図られている。



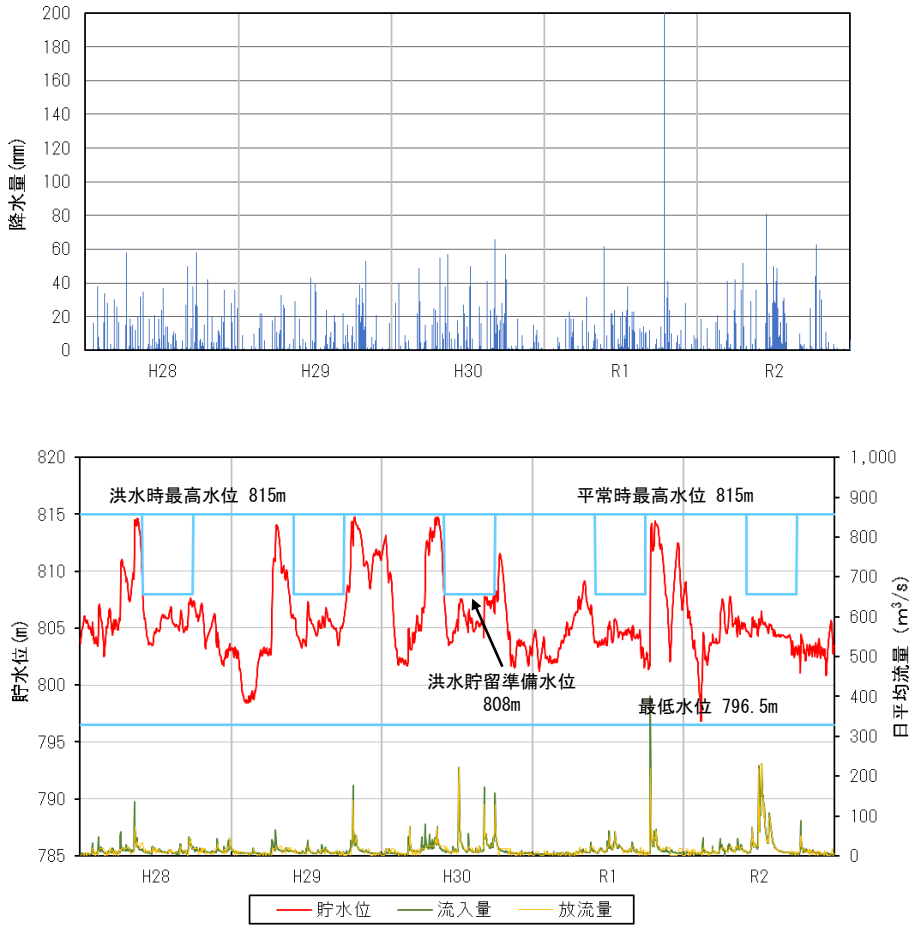
貯水池運用実績（平成28年～令和２年）



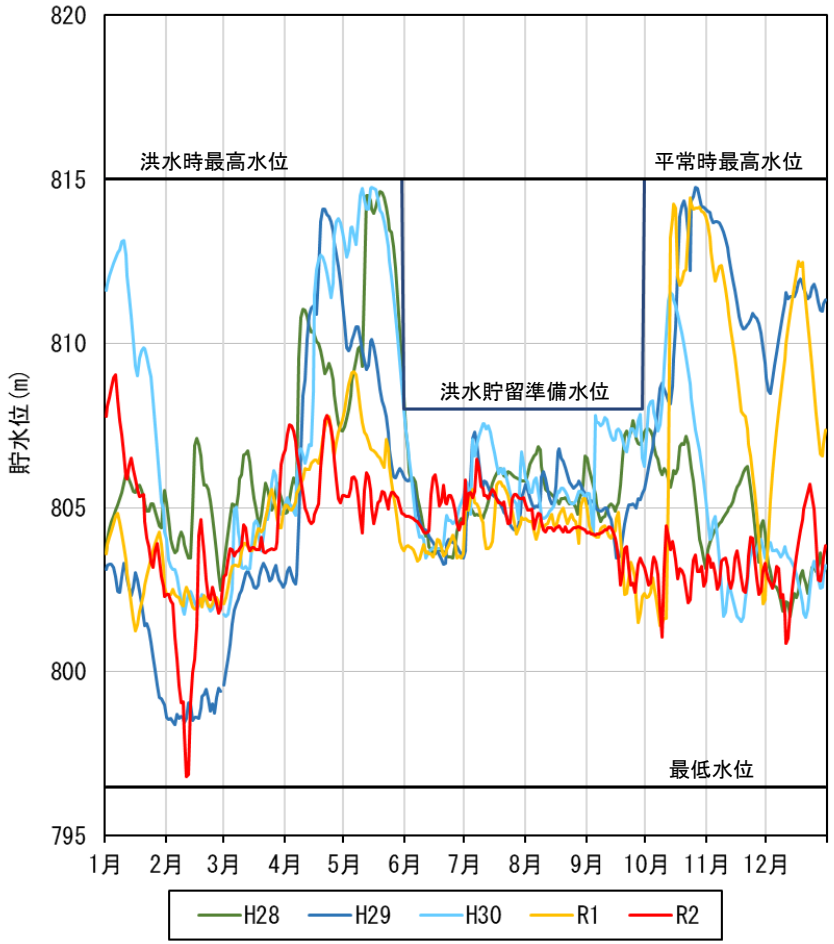
貯水位（平成28年～令和２年）

2．貯水池運用　美和ダム

■　発電運用、洪水貯留準備水位及び平常時最高水位を考慮した運用が図られている。



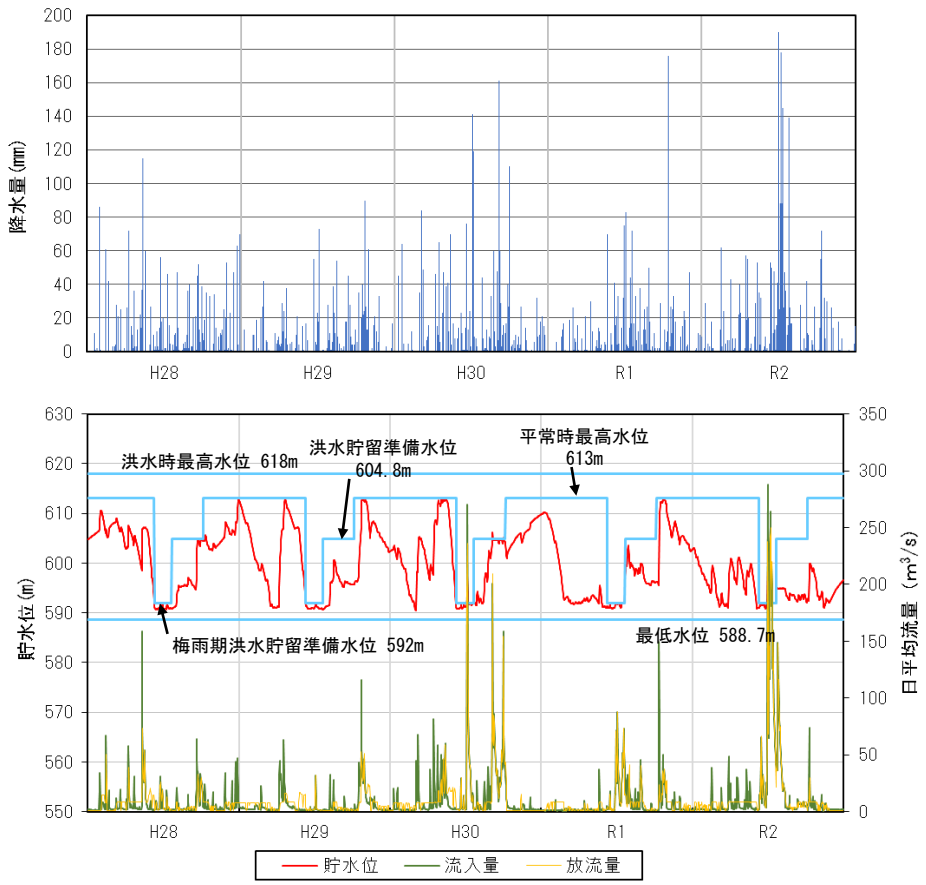
貯水池運用実績（平成28年～令和２年）



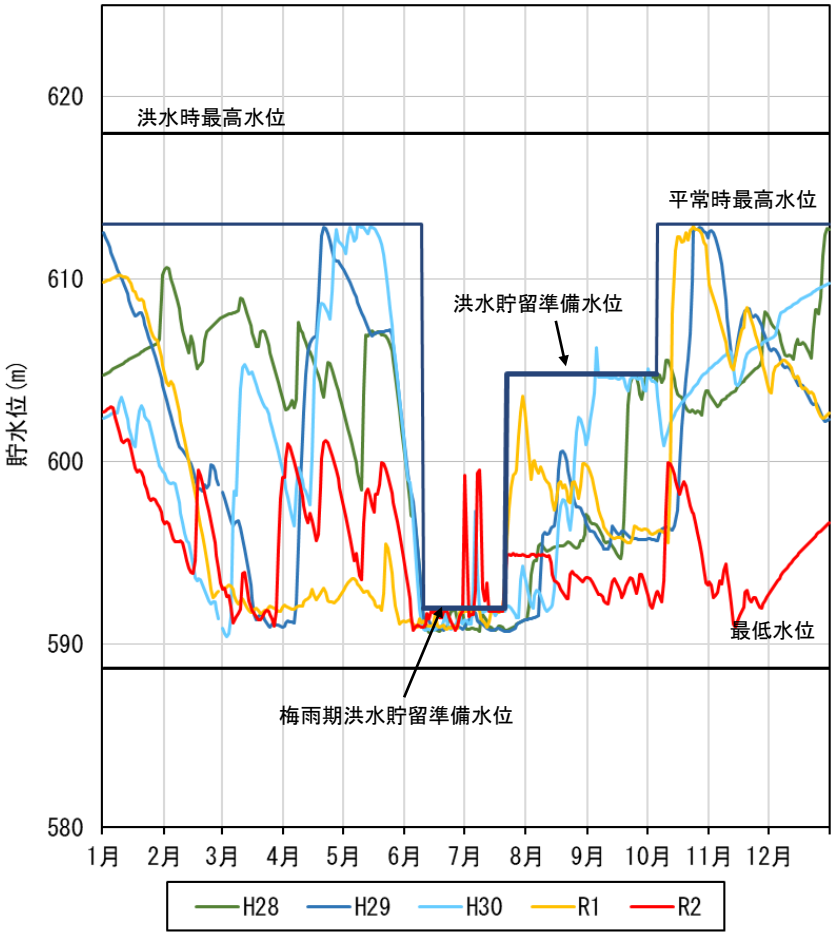
貯水位（平成28年～令和２年）

2．貯水池運用　小渋ダム

- 発電運用、梅雨期洪水貯留準備水位、洪水貯留準備水位及び平常時最高水位を考慮した運用が図られている。
- 貯水位は、7月の前線の影響により梅雨期洪水貯留準備水位より高い値で推移している。



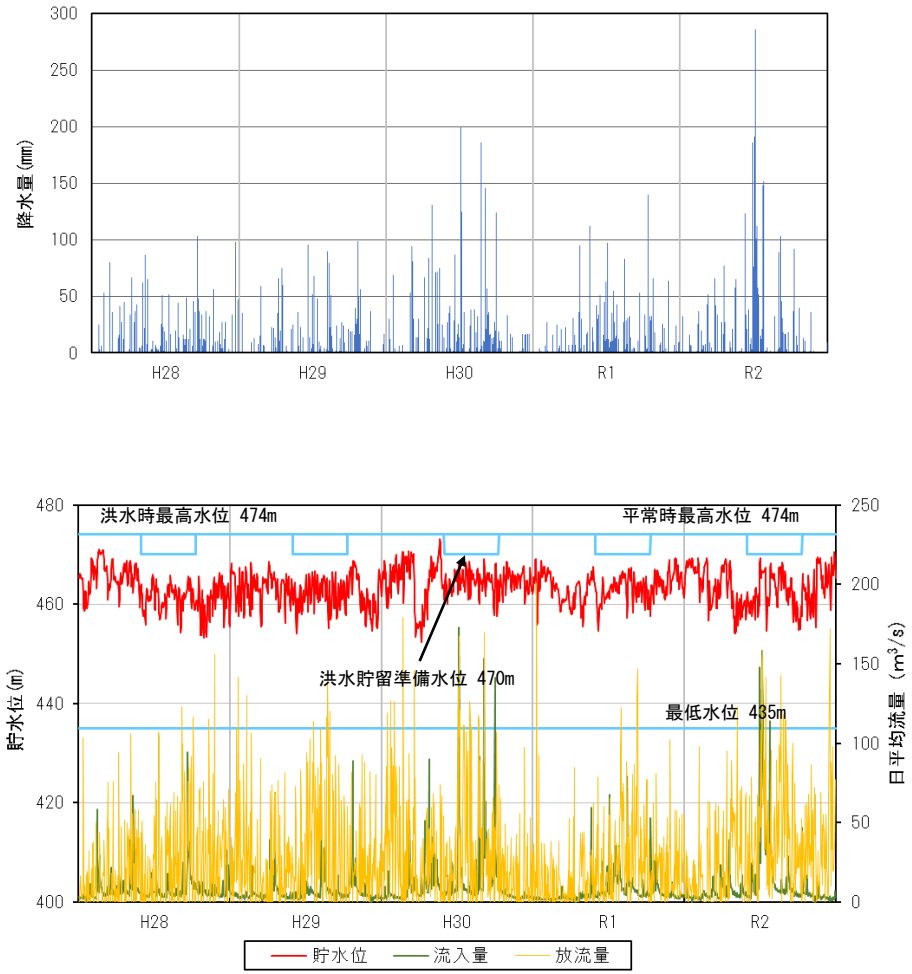
貯水池運用実績（平成28年～令和２年）



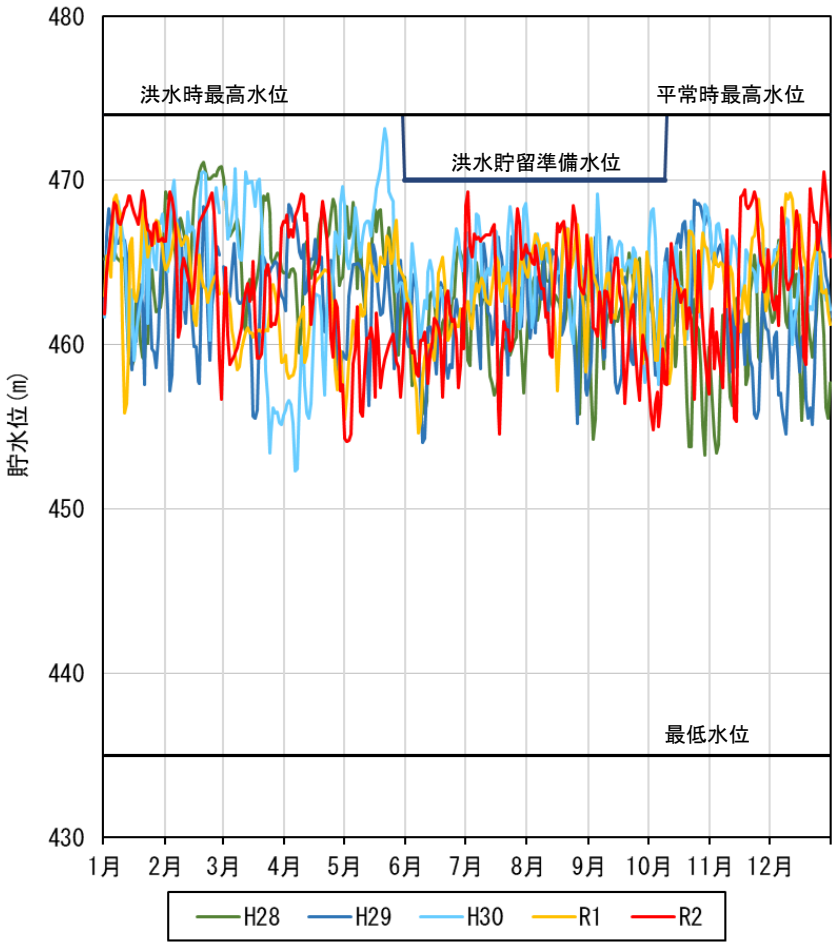
貯水位（平成28年～令和２年）

2．貯水池運用　新豊根ダム

■　発電運用、洪水貯留準備水位及び平常時最高水位を考慮した運用が図られている。



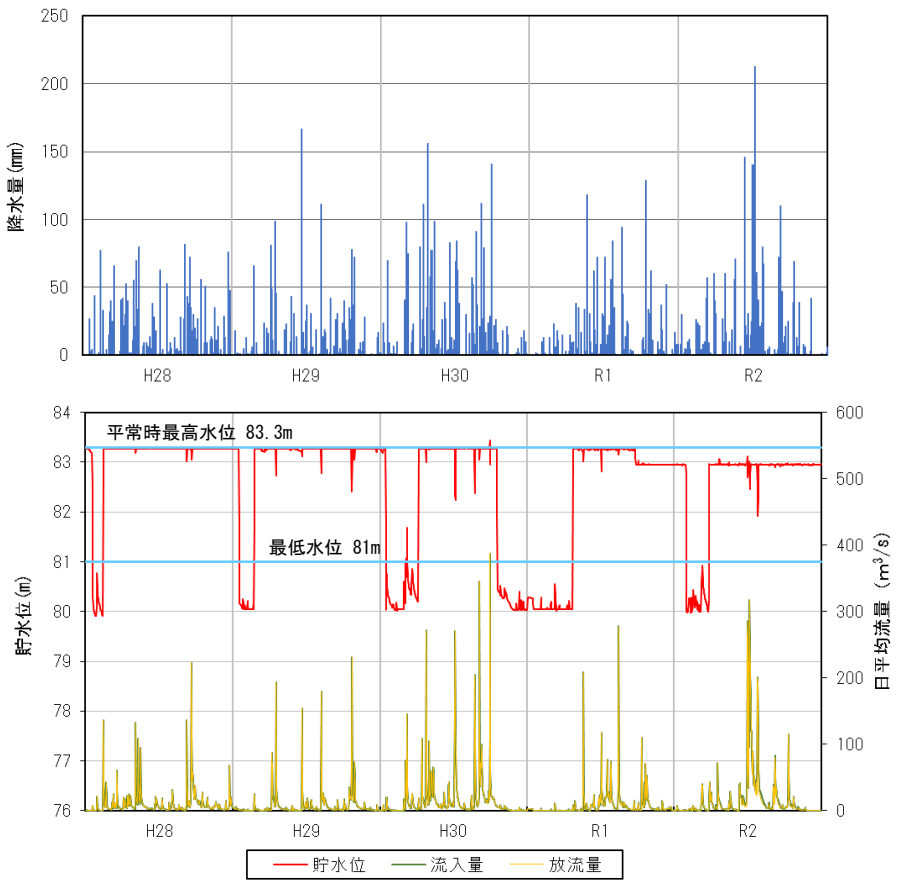
貯水池運用実績（平成28年～令和２年）



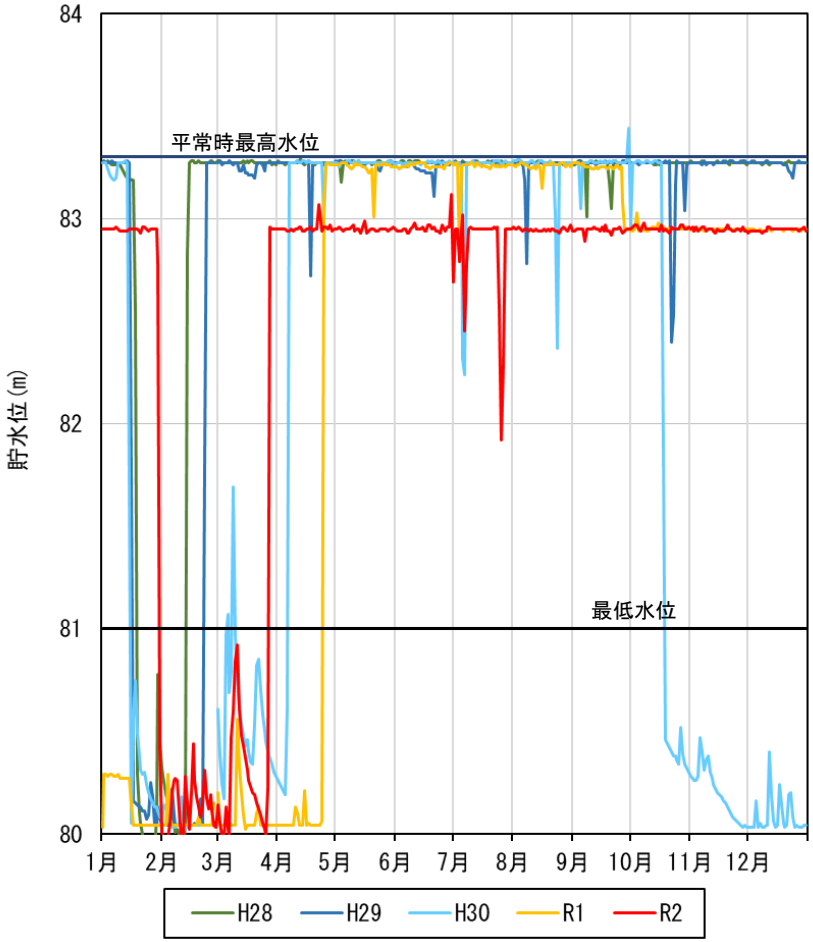
貯水位（平成28年～令和２年）

2．貯水池運用　寒狭川堰

■　平常時最高水位を考慮した運用が図られている。



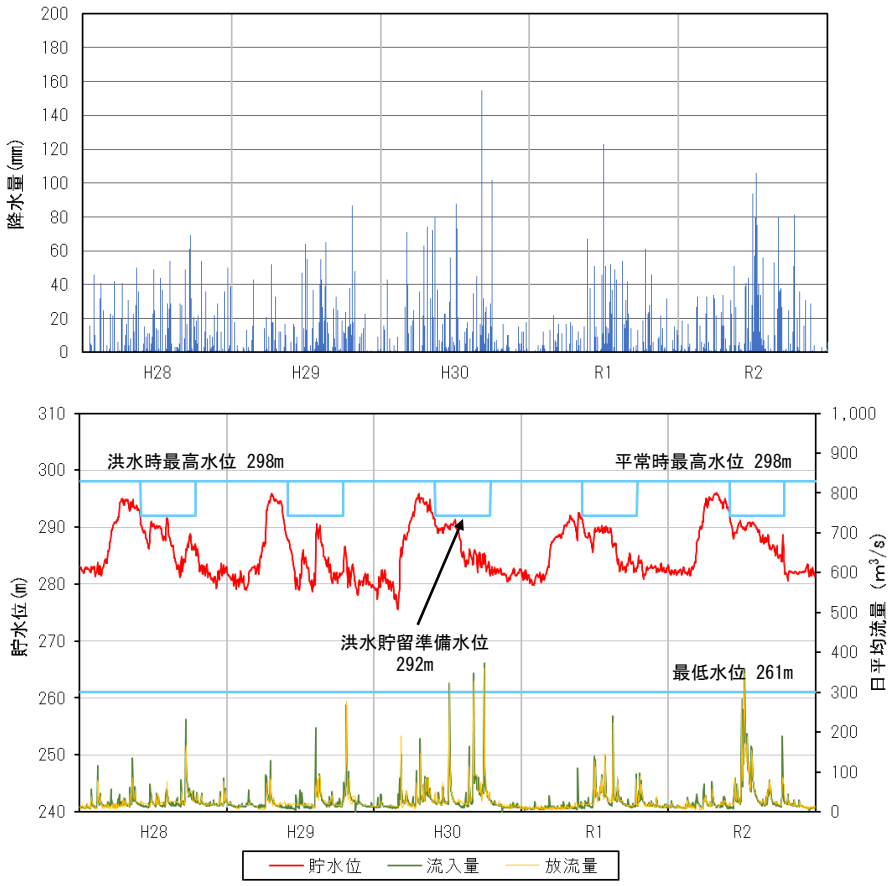
貯水池運用実績（平成28年～令和２年）



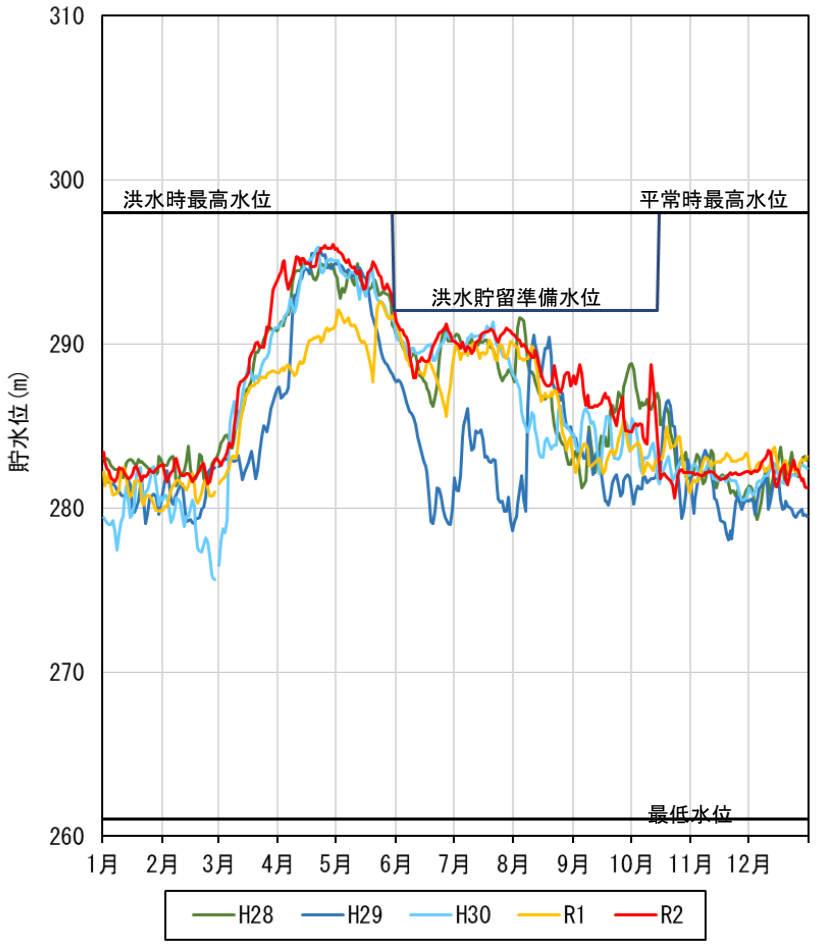
貯水位（平成28年～令和２年）

2．貯水池運用　矢作ダム

■　発電運用、洪水貯留準備水位及び平常時最高水位を考慮した運用が図られている。



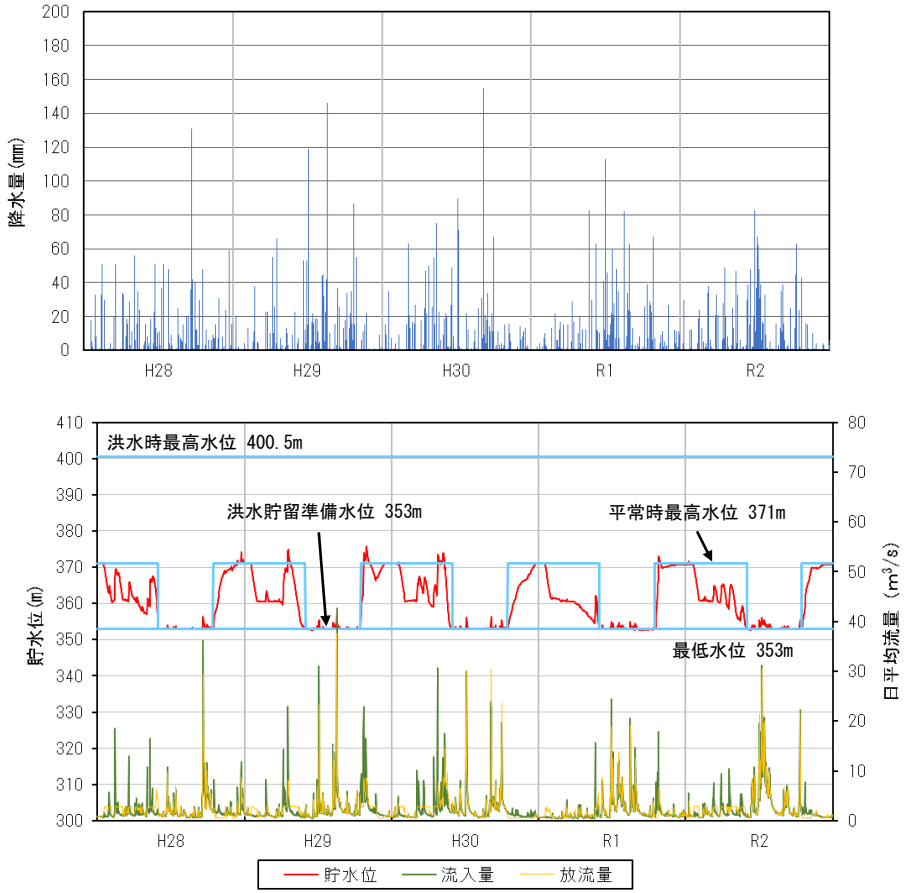
貯水池運用実績（平成28年～令和２年）



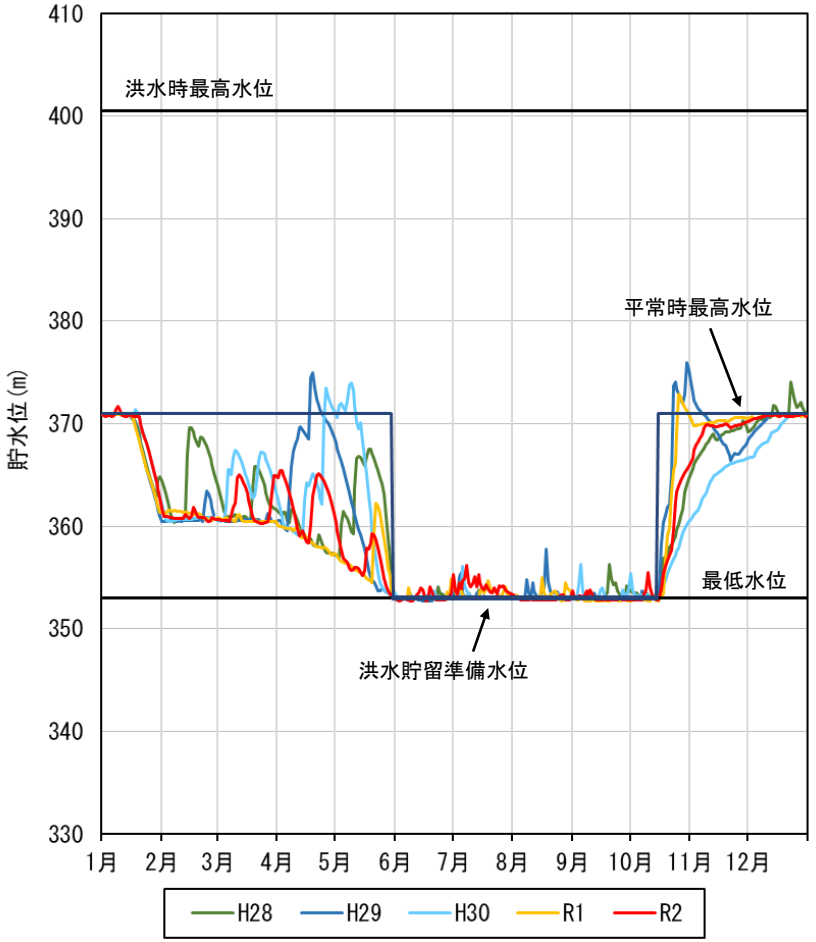
貯水位（平成28年～令和２年）

2．貯水池運用　小里川ダム

- 発電運用、洪水貯留準備水位及び平常時最高水位を考慮した運用が図られている。
- 貯水位は、7月の前線の影響により洪水貯留準備水位より高い値で推移している。



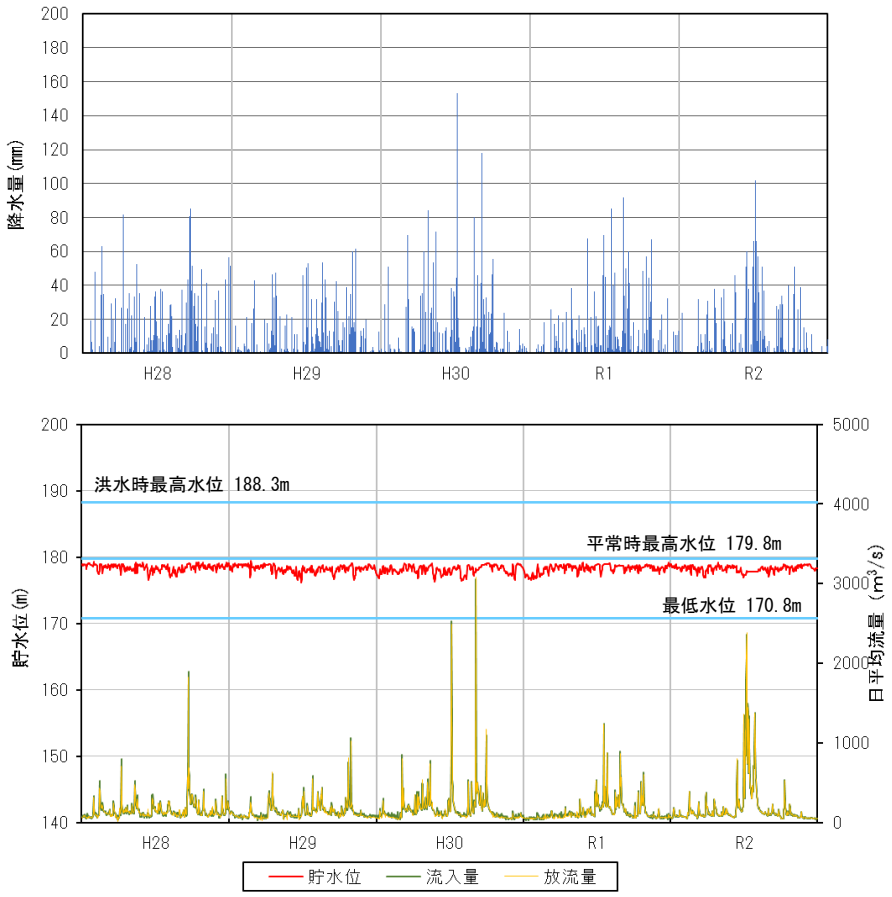
貯水池運用実績（平成28年～令和２年）



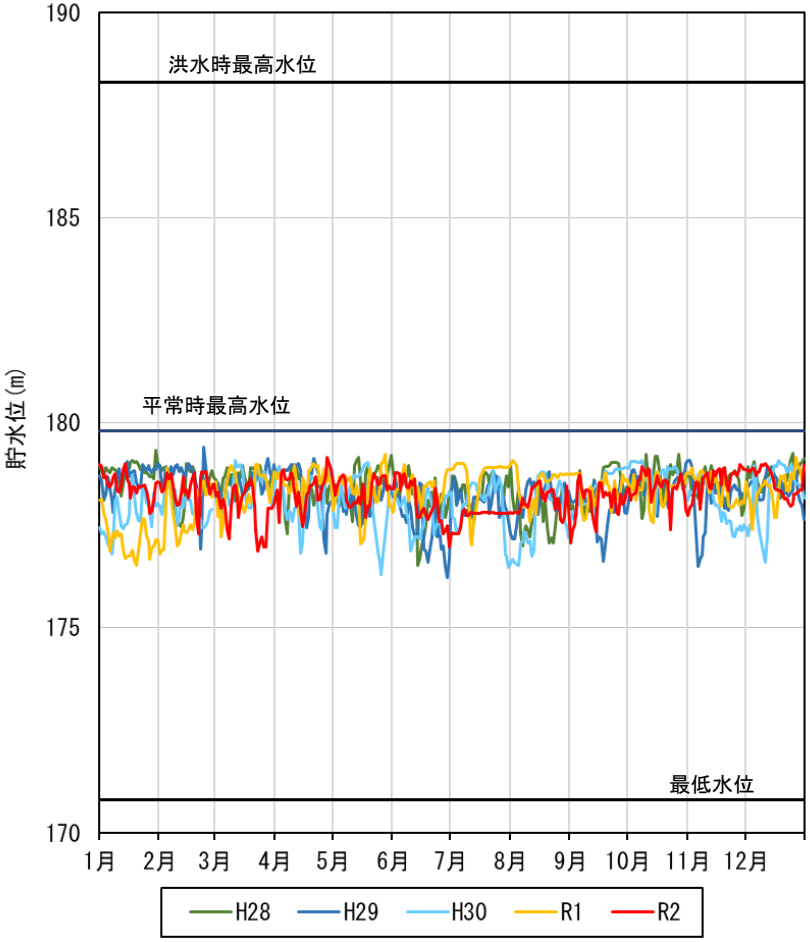
貯水位（平成28年～令和２年）

2．貯水池運用　丸山ダム

- 発電運用及び平常時最高水位を考慮した運用が図られている。
- 貯水位は、至近5ヵ年平均と概ね同様の傾向で変動している。



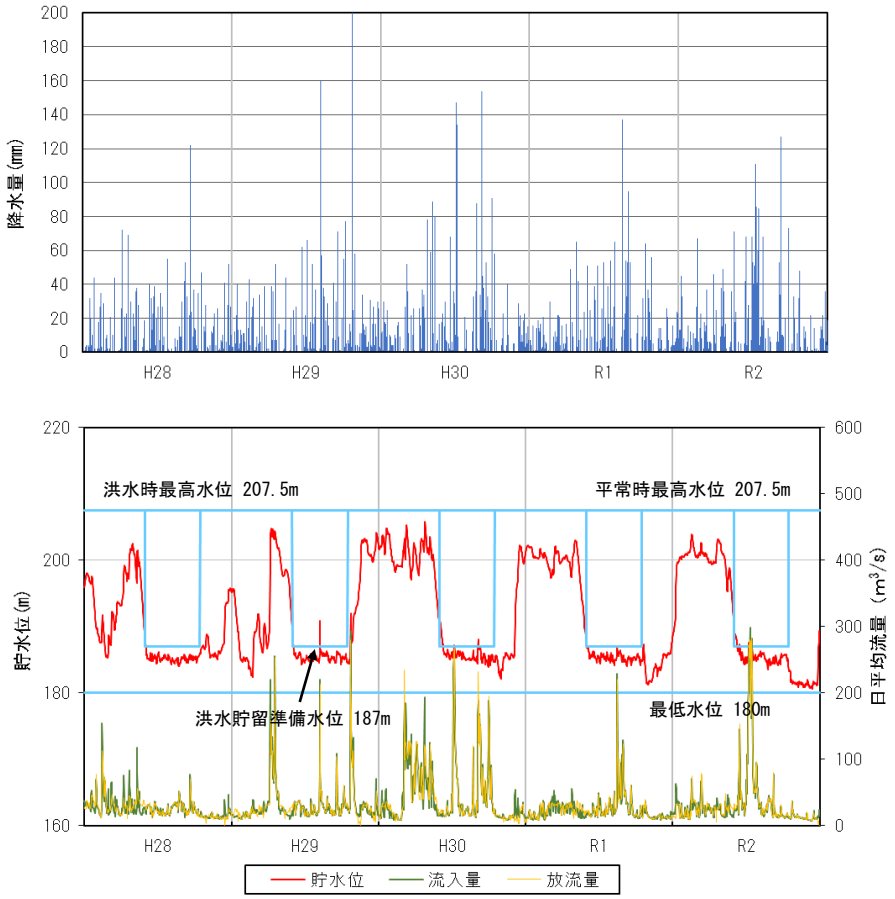
貯水池運用実績（平成28年～令和２年）



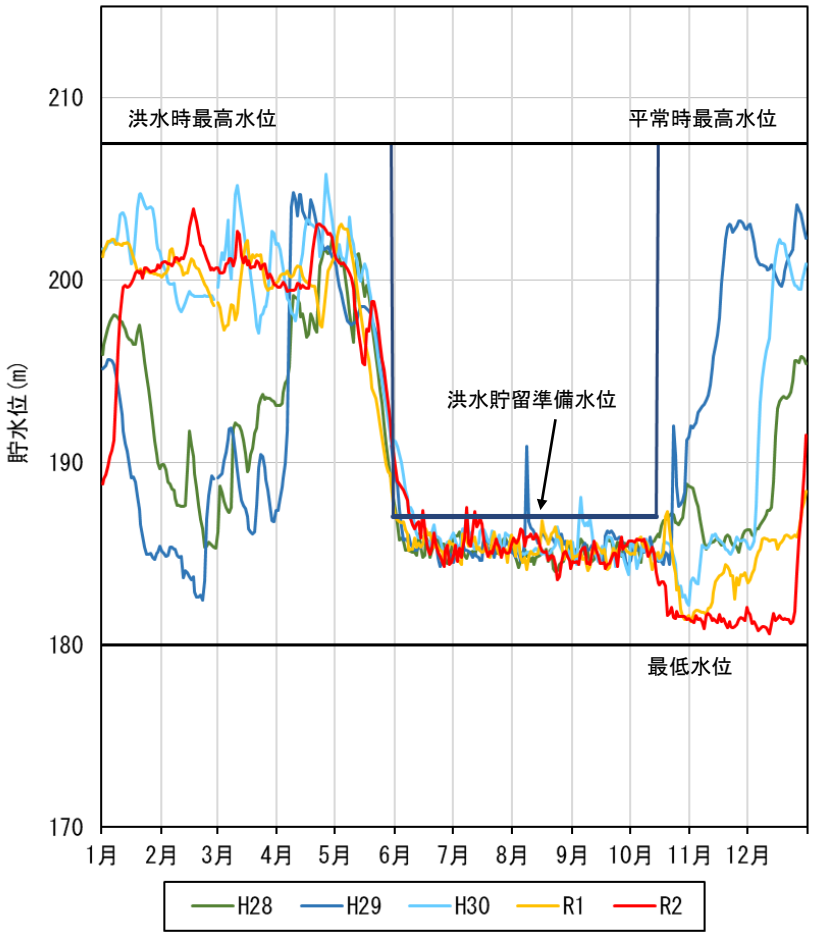
貯水位（平成28年～令和２年）

2．貯水池運用　横山ダム

- 発電運用、洪水貯留準備水位及び平常時最高水位を考慮した運用が図られている。
- 貯水位は、10月中旬以降において、例年より低い値で推移している。



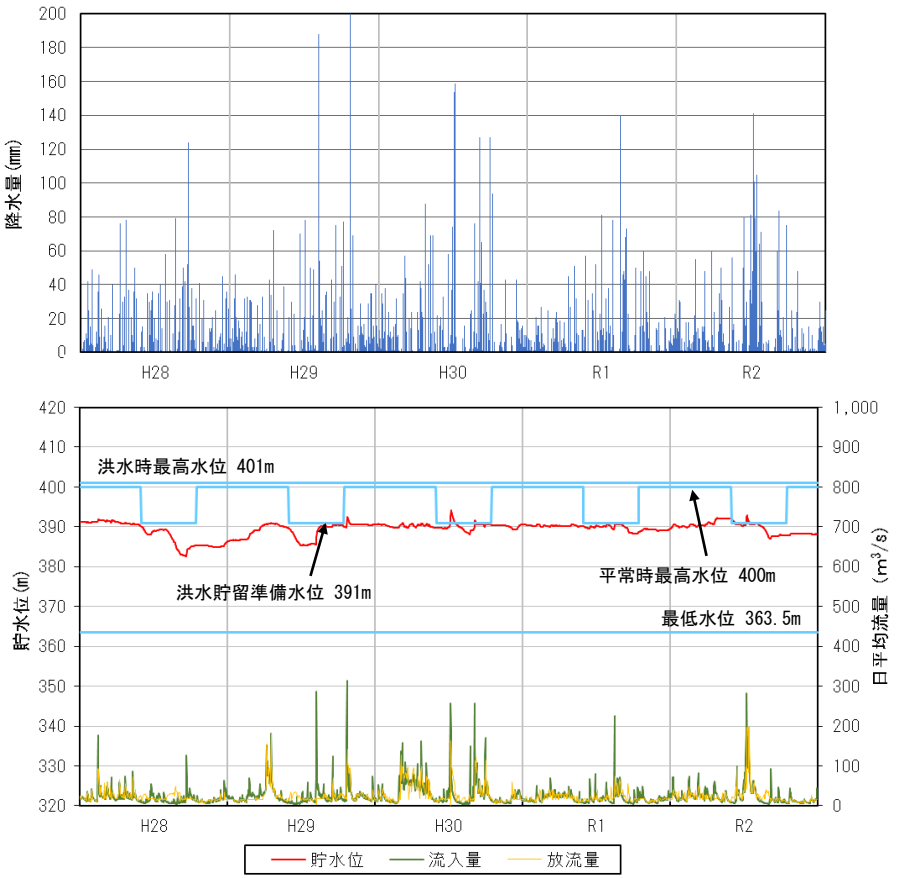
貯水池運用実績（平成28年～令和２年）



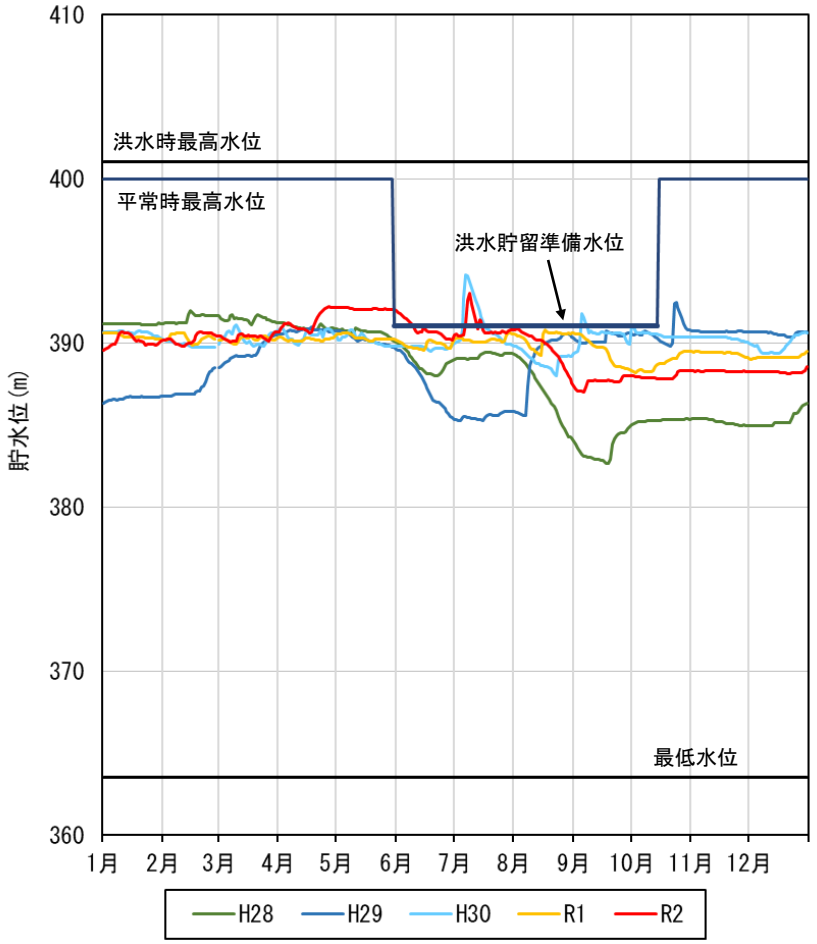
貯水位（平成28年～令和２年）

2．貯水池運用　徳山ダム

- 発電運用、洪水貯留準備水位及び平常時最高水位を考慮した運用が図られている。
- 非洪水期に関して、徳山発電所の運用前法定検査に伴い、検査における中間水位（396.00m）で管理した。



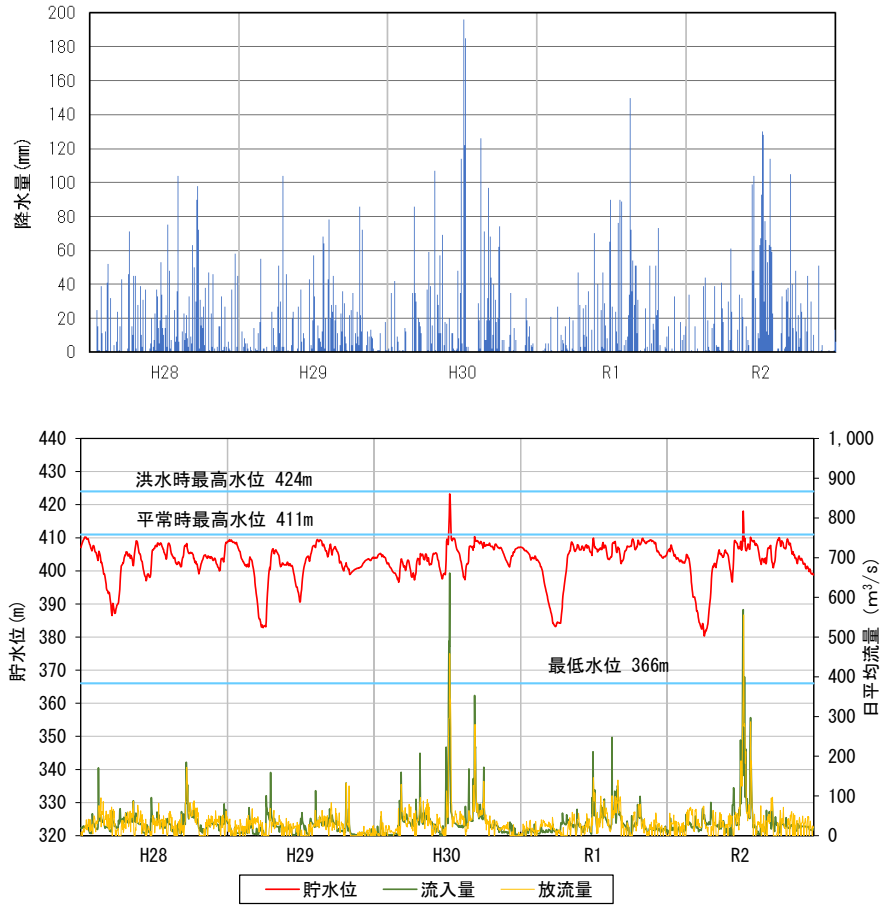
貯水池運用実績（平成28年～令和２年）



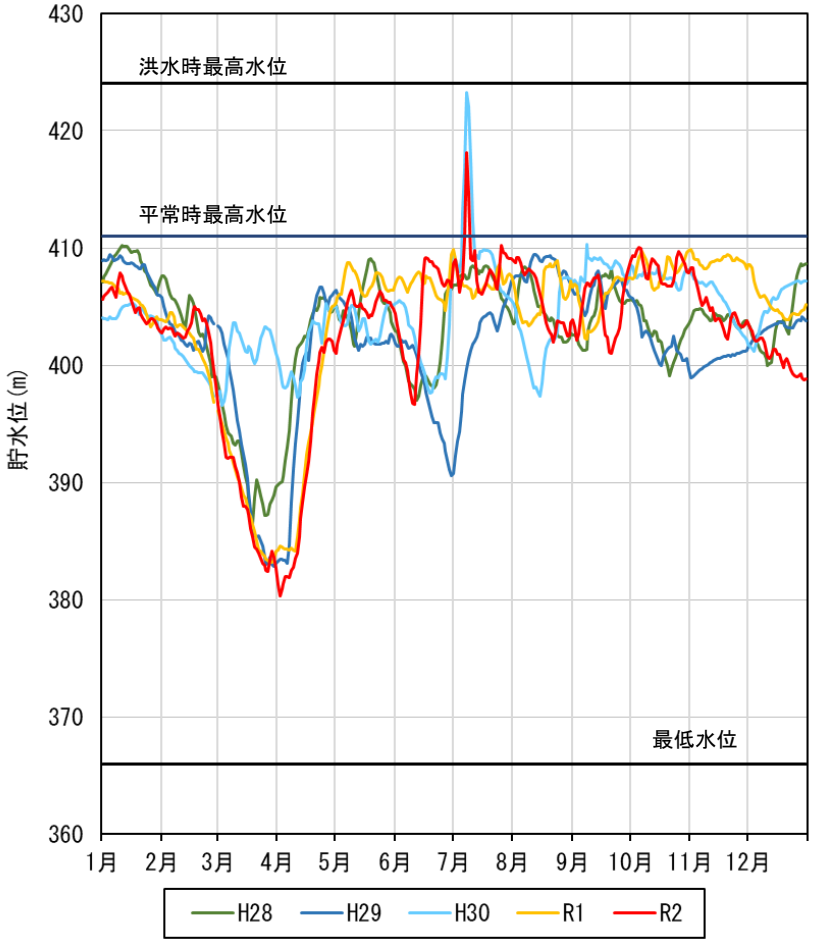
貯水位（平成28年～令和２年）

2．貯水池運用　岩屋ダム

- 発電運用及び平常時最高水位を考慮した運用が図られている。
- 貯水位は、7月の前線の影響により平常時最高水位より高い値で推移している。



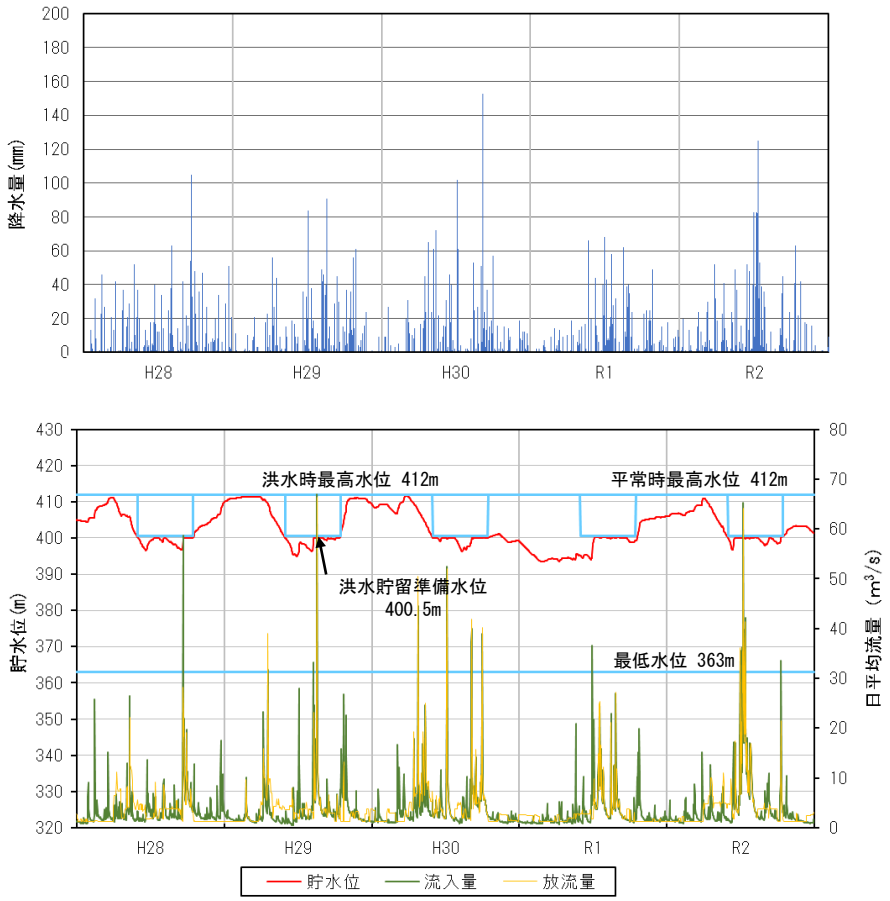
貯水池運用実績（平成28年～令和２年）



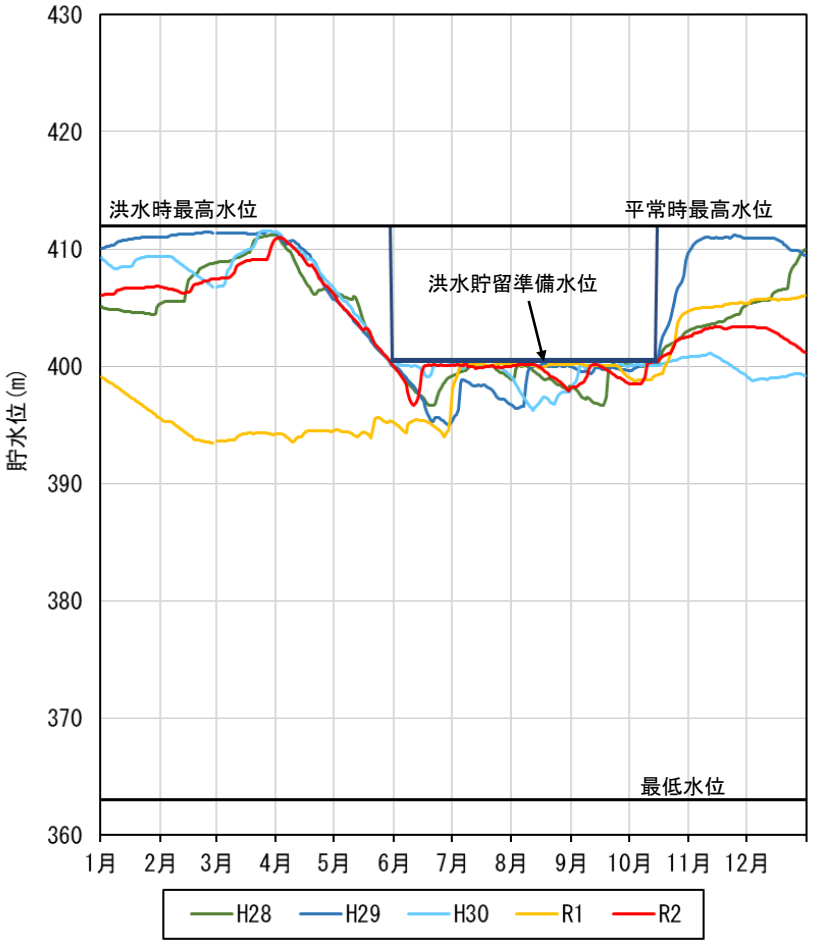
貯水位（平成28年～令和２年）

2．貯水池運用　阿木川ダム

■　洪水貯留準備水位及び平常時最高水位を考慮した運用が図られている。



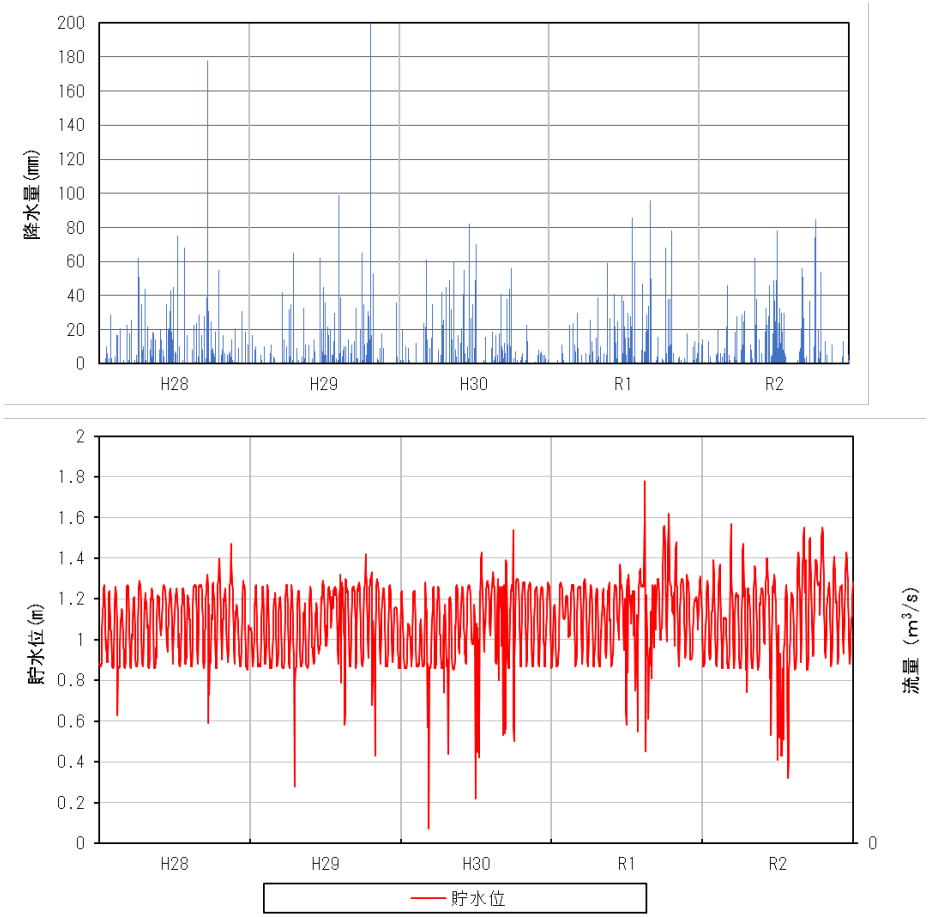
貯水池運用実績（平成28年～令和２年）



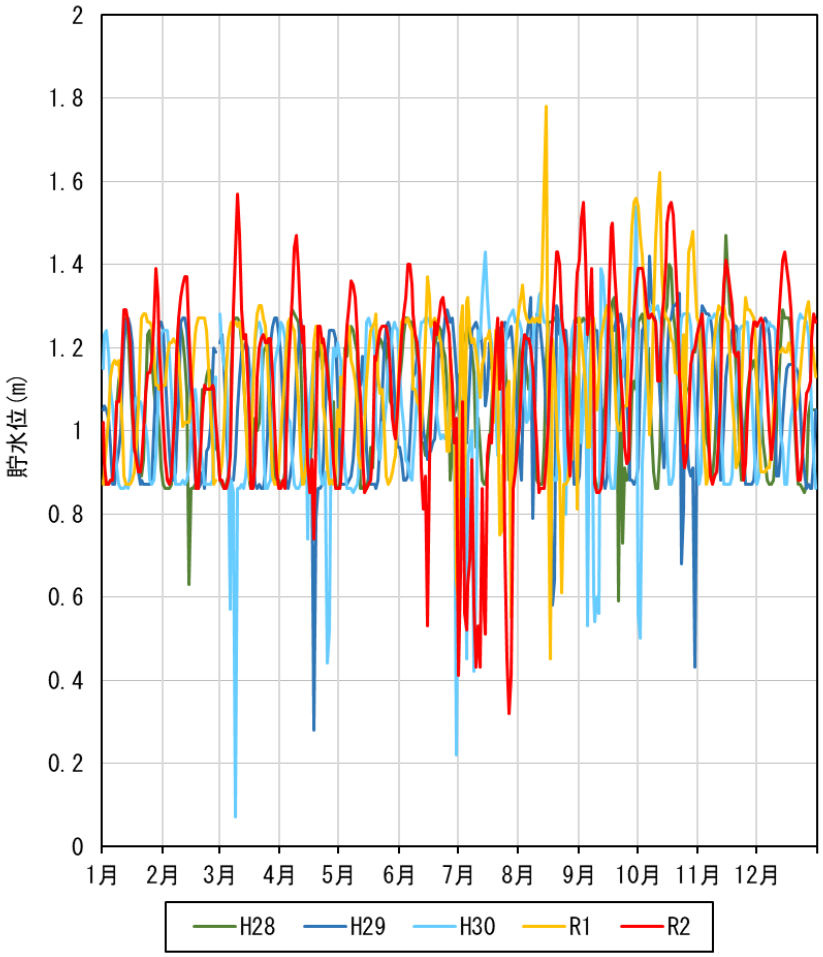
貯水位（平成28年～令和２年）

2．貯水池運用　長良川河口堰

■　H28～R2年の降水量・貯水位の状況は以下の通りである。



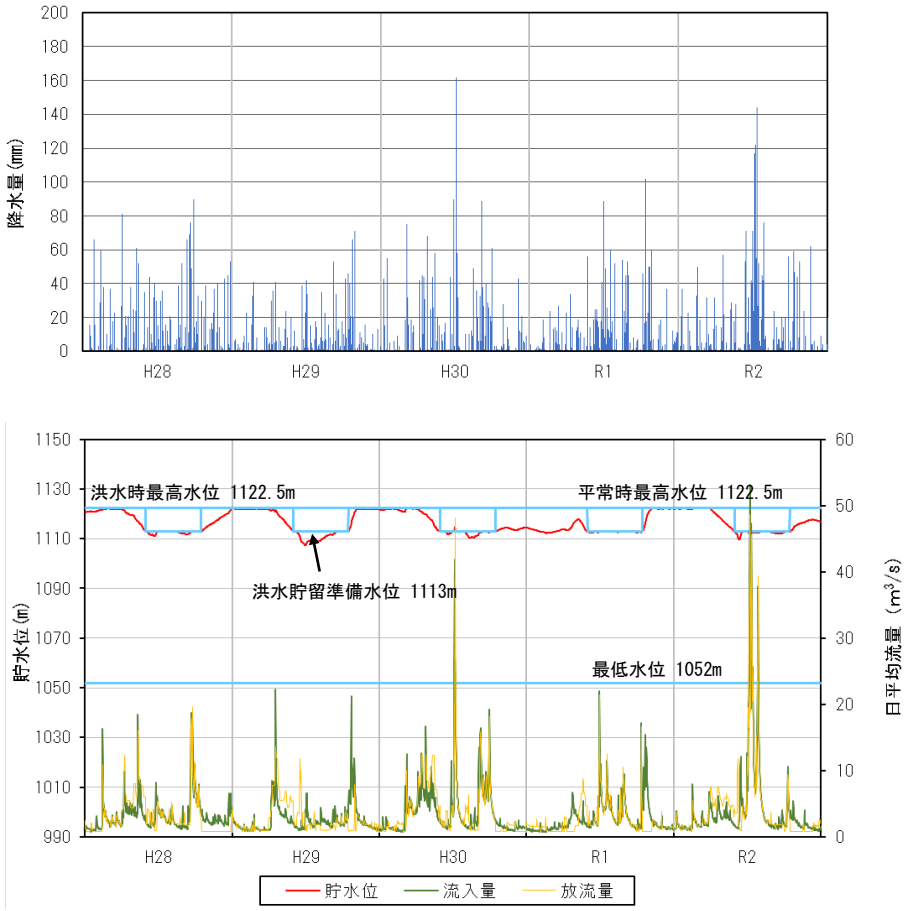
貯水池運用実績（平成28年～令和２年）



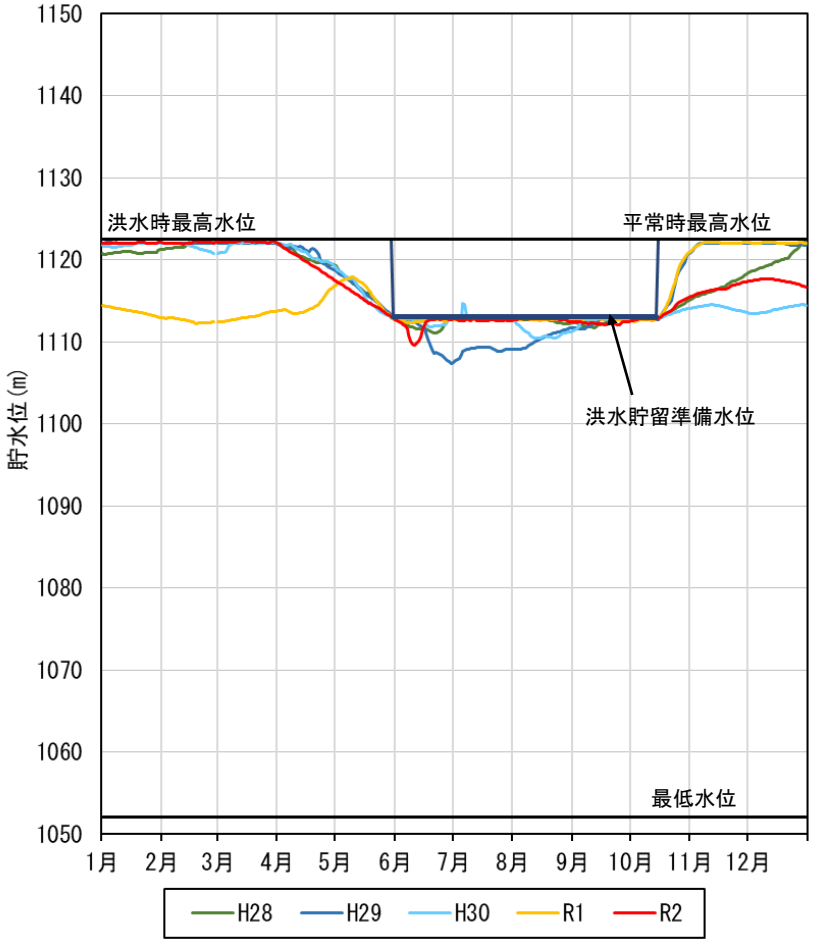
貯水位（平成28年～令和２年）

2．貯水池運用　味噌川ダム

■　発電運用、洪水貯留準備水位及び平常時最高水位を考慮した運用が図られている。



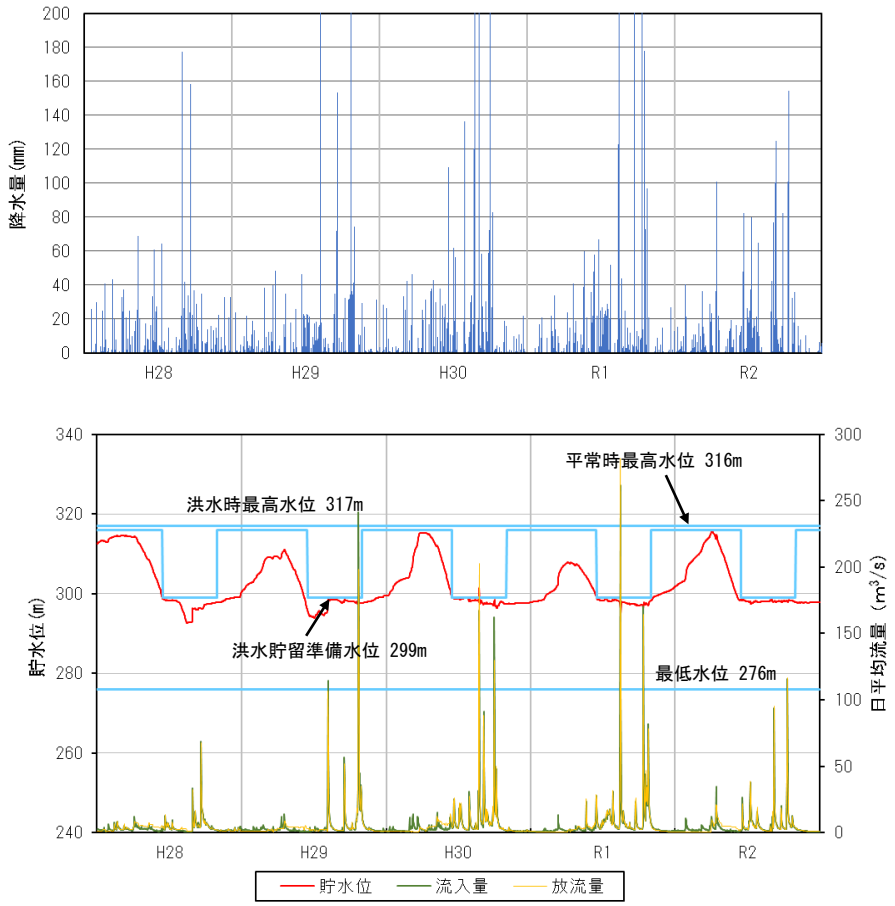
貯水池運用実績（平成28年～令和２年）



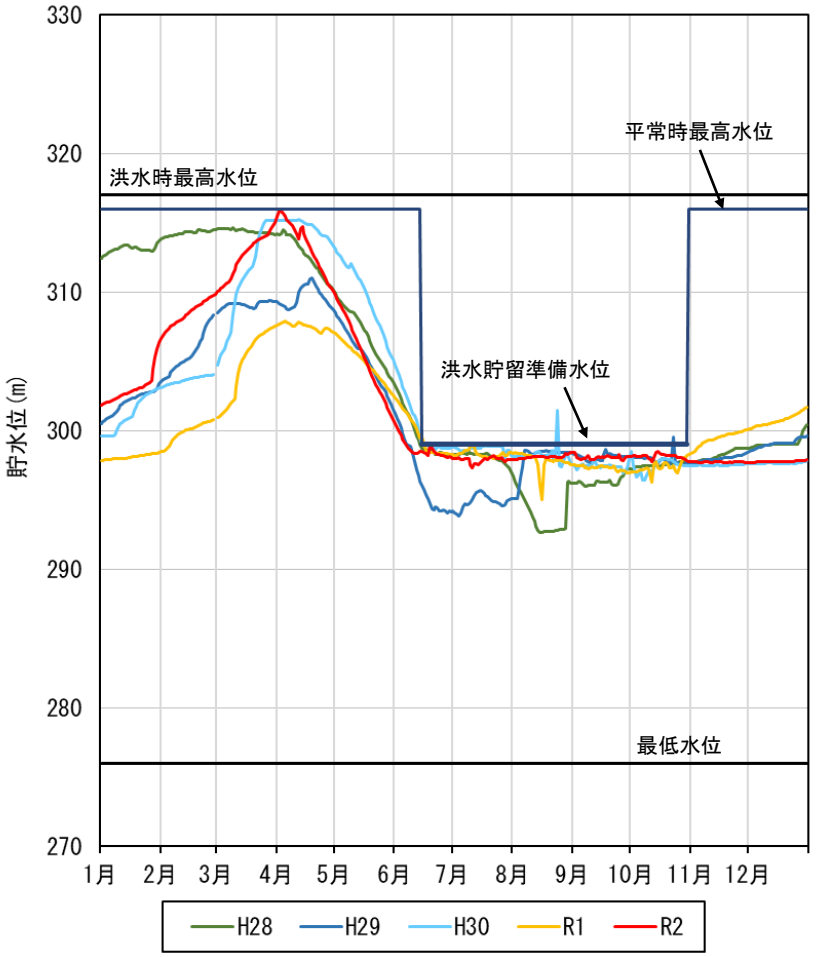
貯水位（平成28年～令和２年）

2．貯水池運用　蓮ダム

■　発電運用、洪水貯留準備水位及び平常時最高水位を考慮した運用が図られている。



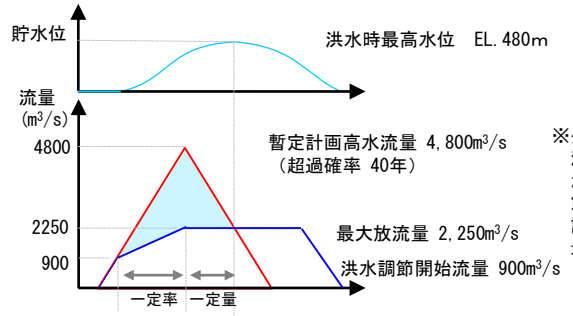
貯水池運用実績（平成28年～令和２年）



貯水位（平成28年～令和２年）

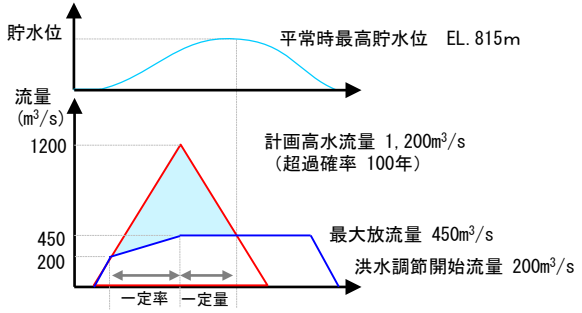
3. 防災操作 （1）洪水調節図（概念図）

長島ダム

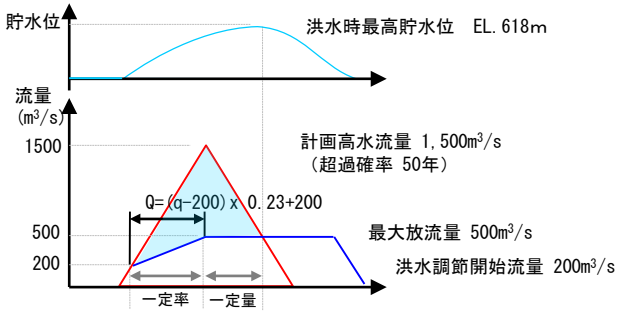


※長島ダムでは、ダム下流の河道整備が不十分であることから、暫定操作により洪水調節を行っている。
計画の高水流量は6,600m³/s、最大放流量は5,000m³/sである

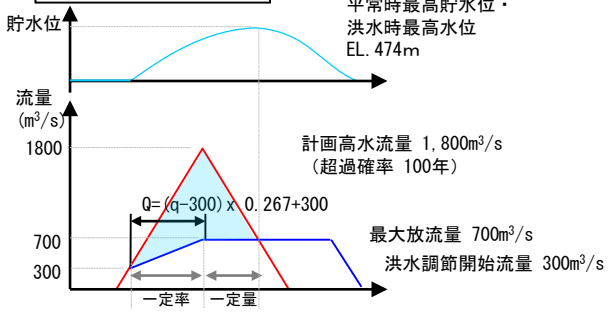
美和ダム



小渋ダム



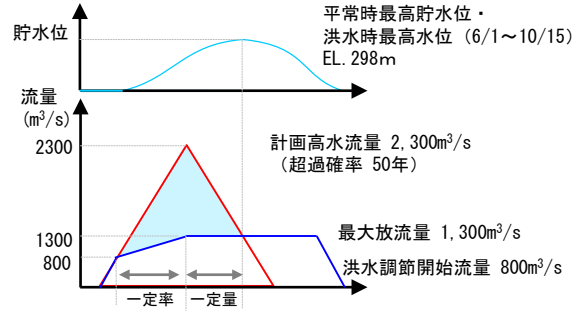
新豊根ダム



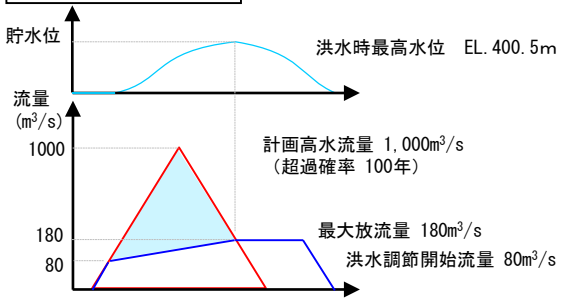
寒狭川堰

（洪水調節なし）

矢作ダム



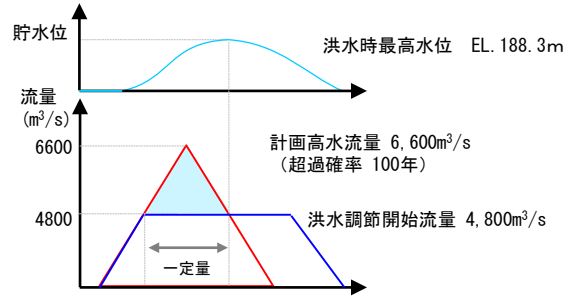
小里川ダム



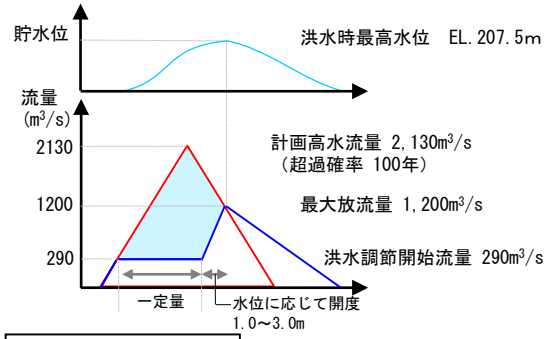
：流入量
：放流量
：貯水位

3. 防災操作 （1）洪水調節図（概念図）

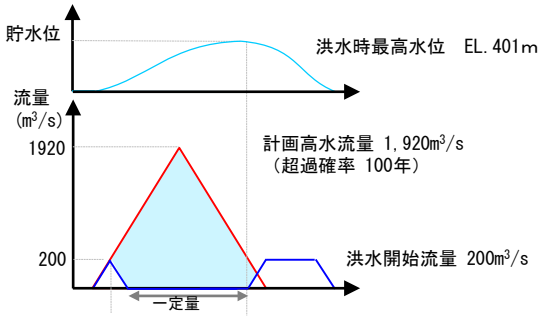
丸山ダム



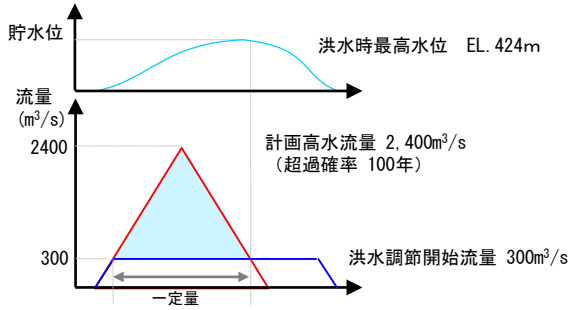
横山ダム



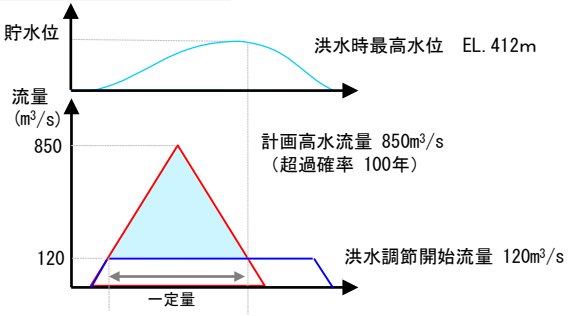
徳山ダム



岩屋ダム



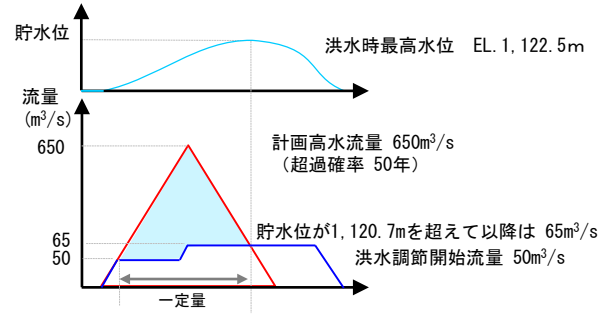
阿木川ダム



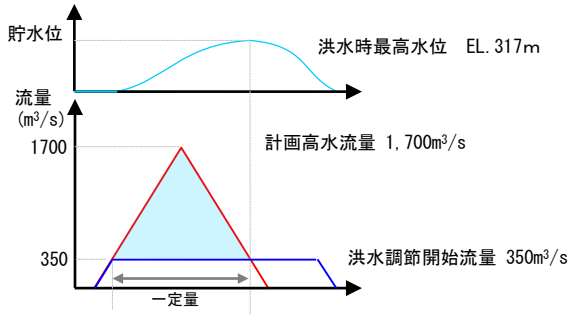
長良川河口堰

（洪水調節なし）

味噌川ダム



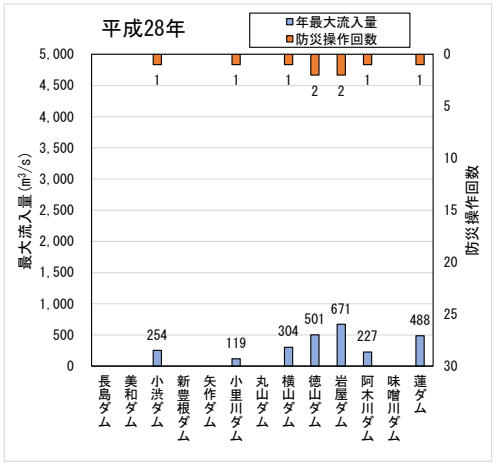
蓮ダム

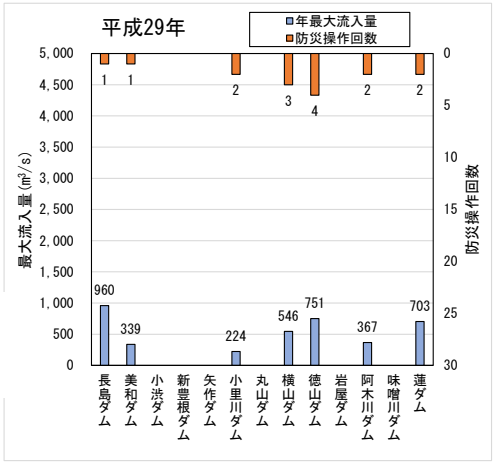


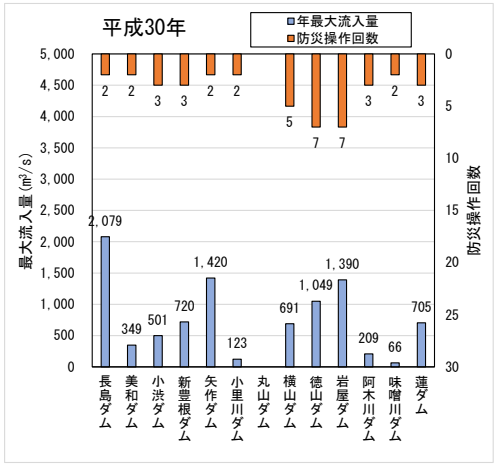
：流入量
：放流量
：貯水位

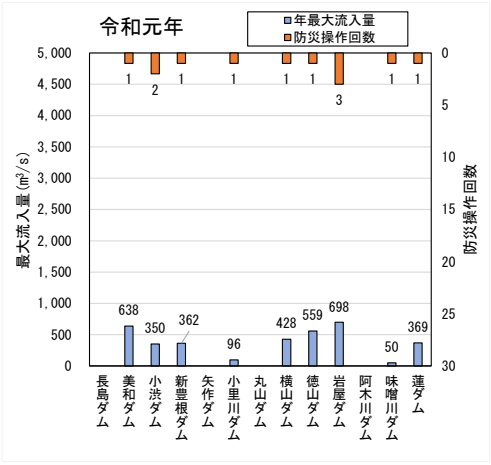
3．防災操作　（2）各ダムの防災操作

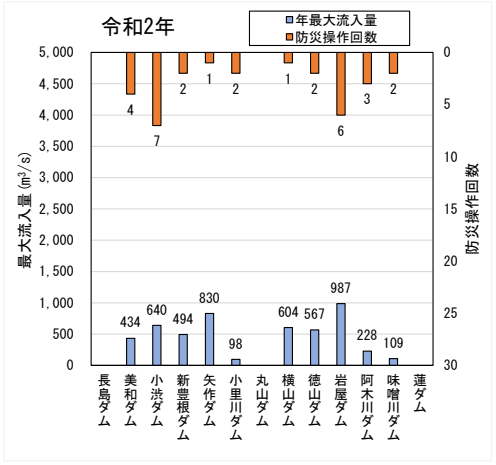
- 令和２年の防災操作は、計30回（美和ダム4回、小渋ダム7回、新豊根ダム2回、矢作ダム1回、小里川ダム2回、横山ダム1回、徳山ダム2回、岩屋ダム6回、阿木川ダム3回、味噌川ダム2回）であり、近年の平均的な回数を上回り、平成30年に次ぐ2番目に多い回数となった。
- 例年と同様に岩屋ダムで防災操作の回数が多かったが、美和ダム・小渋ダムでの防災操作は増加した。











各ダムの防災操作回数

	長島ダム	美和ダム	小渋ダム	新豊根ダム	矢作ダム	小里川ダム	丸山ダム
平成28年	0	0	1	0	0	1	0
平成29年	1	1	0	0	0	2	0
平成30年	2	2	3	3	2	2	0
令和元年	0	1	2	1	0	1	0
令和2年	0	4	7	2	1	2	0
平均	1	2	3	1	1	2	0
	横山ダム	徳山ダム	岩屋ダム	阿木川ダム	味噌川ダム	蓮ダム	合計
平成28年	1	2	2	1	0	1	9
平成29年	3	4	0	2	0	2	15
平成30年	5	7	7	3	2	3	41
令和元年	1	1	3	0	1	1	12
令和2年	1	2	6	3	2	0	30
平均	2	3	4	2	1	1	21

３．防災操作　（２）各ダムの防災操作

- 令和２年は、4水系、10ダムにおいて洪水調節を実施した。
- 洪水調節を実施した洪水の発生要因は、梅雨前線（令和2年7月豪雨）　、台風10号である。

水系名	ダム名	洪水調節開始流量 (m3／s)	洪水調節実施日	要因	総雨量 (mm)	最大流入量 (A) (m3/s)	最大放流量 (B) (m3/s)	最大流入時放流量（C) (m3/s)	調節量 (A-C) (m3/s)
矢作川	矢作	800	2020/7/1	梅雨前線	155.0	830.00	808.00	808.00	22.00
天竜川	美和	200	2020/6/30	梅雨前線	76.0	433.65	303.34	303.20	130.45
			2020/7/6	梅雨前線	43.0	347.68	266.05	265.81	81.87
			2020/7/8	梅雨前線	50.0	357.49	273.20	272.91	84.58
			2020/7/9	梅雨前線	105.0	230.12	194.30	194.25	35.87
	小渋	200	2020/6/30	梅雨前線	274.0	639.56	306.95	300.83	338.73
			2020/7/3	梅雨前線	113.0	208.66	200.06	195.84	12.82
			2020/7/5	梅雨前線	233.0	425.84	252.66	247.96	177.88
			2020/7/7	梅雨前線	124.0	468.30	261.57	252.37	215.93
			2020/7/11	梅雨前線	26.0	241.57	211.04	204.22	37.35
			2020/7/11	梅雨前線	100.0	534.51	280.01	276.11	258.40
			2020/7/24	梅雨前線	155.0	225.74	198.23	198.02	27.72
	新豊根ダム	300	2020/6/30	梅雨前線	262.0	494.00	0.00	0.00	494.00
			2020/7/4	梅雨前線	419.0	306.36	259.11	89.38	216.98
庄内川	小里川	80	2020/7/8	梅雨前線	71.0	94.80	55.50	31.29	63.51
			2020/7/11	梅雨前線	44.0	97.73	47.43	31.29	66.44
木曽川	横山	290	2020/7/6	梅雨前線	572.9	603.70	293.10	286.85	316.85
	味噌川	50	2020/7/8	梅雨前線	759.0	69.41	50.01	49.66	19.75
			2020/7/11	梅雨前線		109.04		49.74	59.30
	岩屋	300	2020/7/1	梅雨前線	132.0	318.35	100.95	100.78	217.57
			2020/7/6	梅雨前線	493.0	986.79	598.02	296.20	690.59
			2020/7/8	梅雨前線		345.77	595.87	546.88	-201.11
			2020/7/11	梅雨前線		617.31	298.48	296.16	321.15
			2020/7/14	梅雨前線、低気圧	103.0	333.15	269.86	229.24	103.91
			2020/7/25	梅雨前線	318.0	400.56	297.86	296.97	103.59
	阿木川	120	2020/7/1	梅雨前線	139.0	162.29	118.99	75.21	87.08
			2020/7/8	梅雨前線	192.0	210.65	119.51	42.72	167.93
			2020/7/11	梅雨前線	128.0	228.30	119.58	119.32	108.98
	徳山	200	2020/7/8	梅雨前線	639.0	567.10	199.58	0.00	567.10
			2020/9/7	台風10号	110.0	200.99	53.45	18.16	182.83

３．防災操作　（２）各ダムの防災操作（美和ダム）

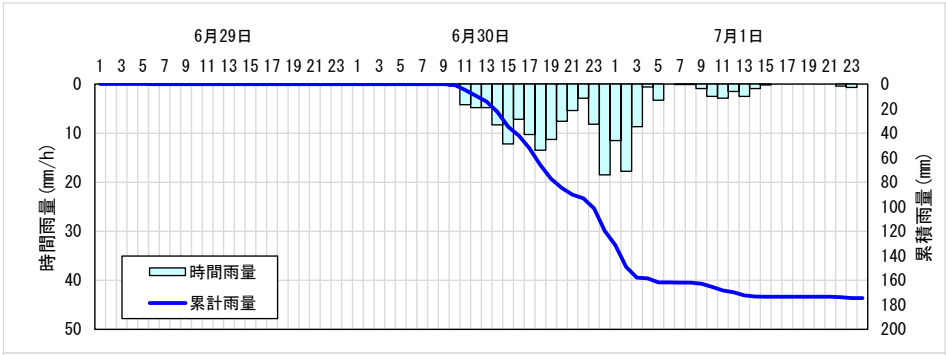
・令和２年は4回の防災操作を行い、最大流入量は433.65m³/sであった。
・防災操作実施により、約209万m³の水を貯留し、天竜川本川の沢渡において、約13cmの水位低減効果がみられた。

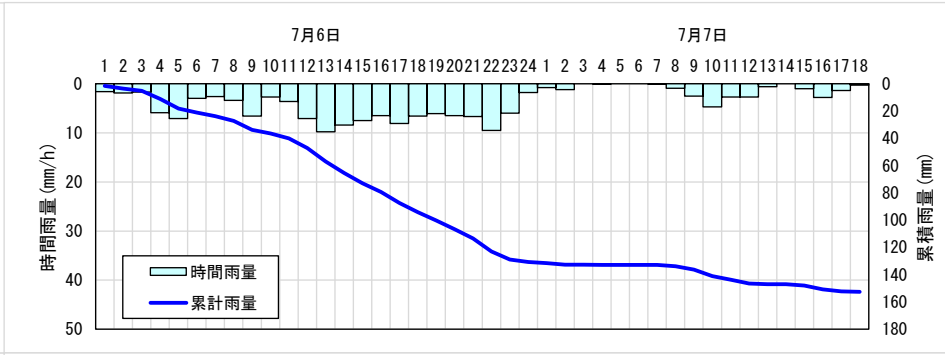
【洪水の原因となった気象概要】

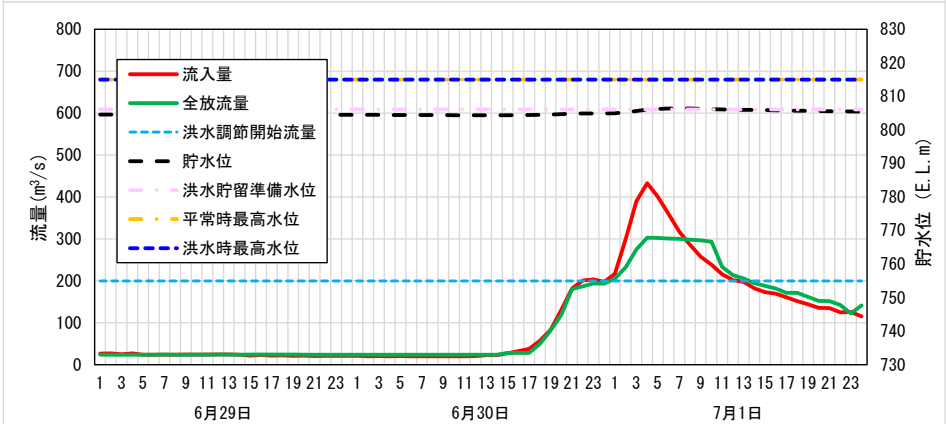
梅雨前線（令和2年7月豪雨）の影響により、ダム上流域では6月30日8時から7月1日15時までの30時間で173.2mmの降雨を観測した。

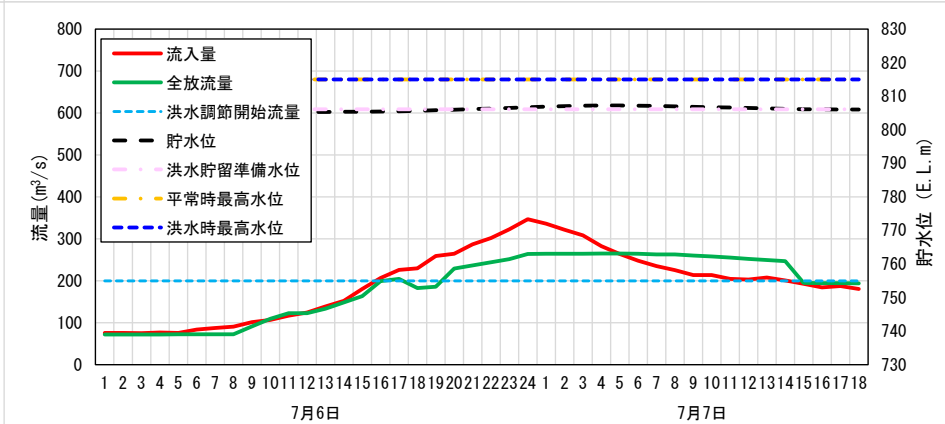
【洪水の原因となった気象概要】

梅雨前線（令和2年7月豪雨）の影響により、ダム上流域では7月6日1時から7月7日18時までの38時間で152.5mmの降雨を観測した。







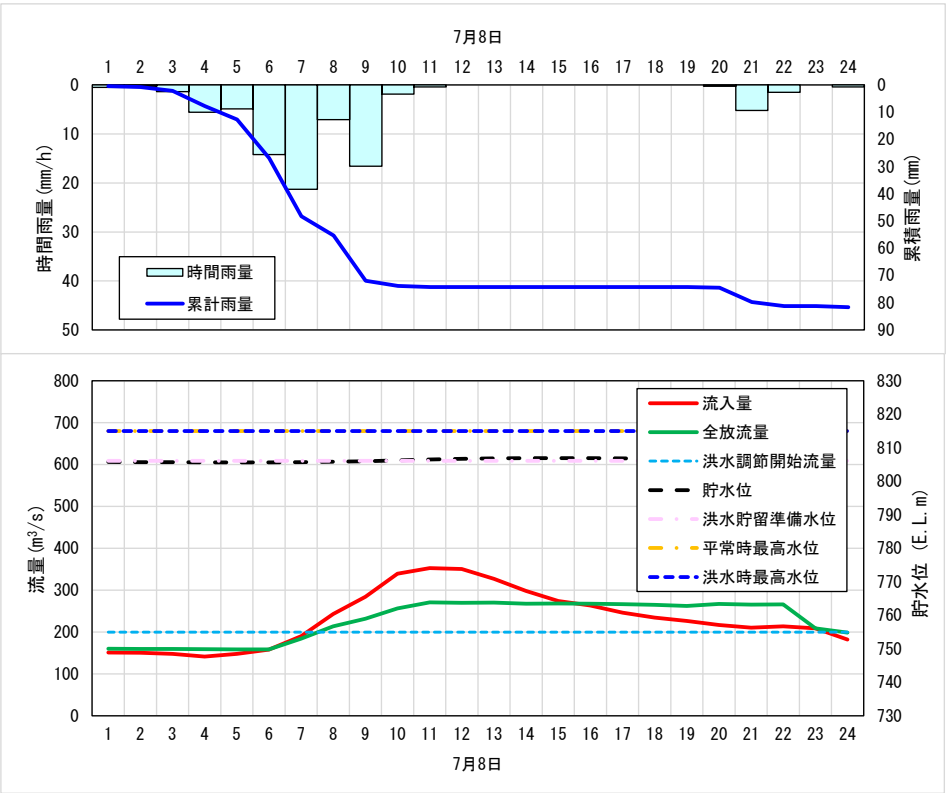


３．防災操作　（２）各ダムの防災操作（美和ダム）

・令和２年は4回の防災操作を行い、最大流入量は433.65m³/sであった。
・防災操作実施により、約209m³万の水を貯留し、天竜川本川の沢渡において、約13cmの水位低減効果がみられた。

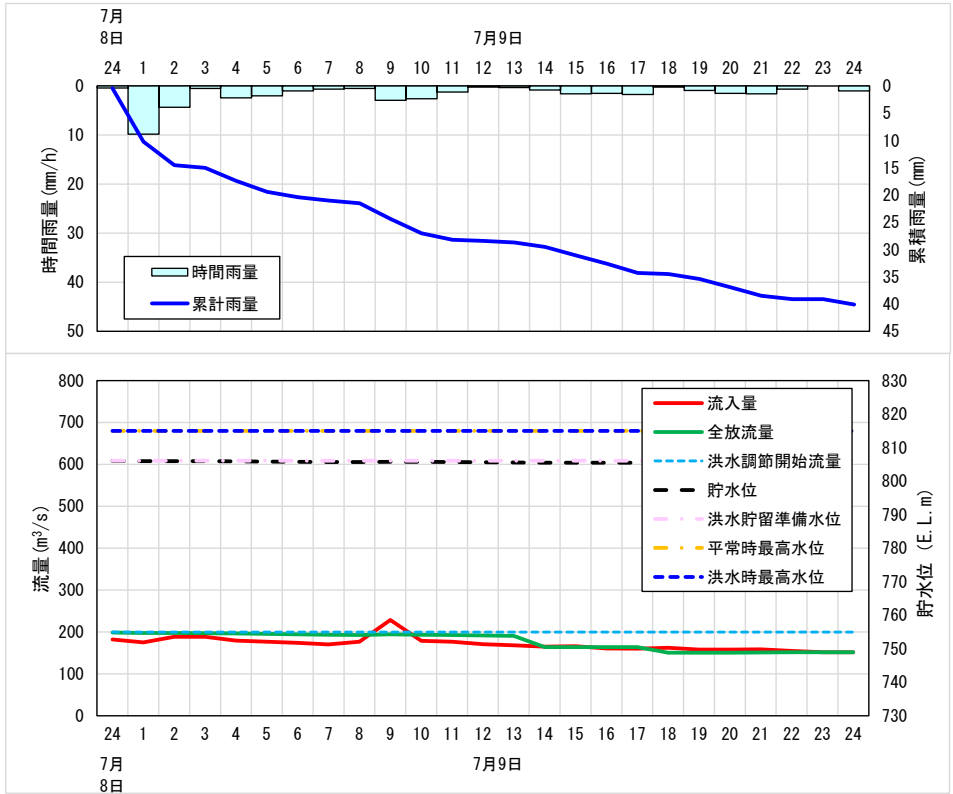
【洪水の原因となった気象概要】

梅雨前線（令和2年7月豪雨）の影響により、ダム上流域では7月8日1時から7月8日24時までの15時間で81.6mmの降雨を観測した。



【洪水の原因となった気象概要】

梅雨前線（令和2年7月豪雨）の影響により、ダム上流域では7月9日1時から7月9日24時までの23時間で39.7mmの降雨を観測した。

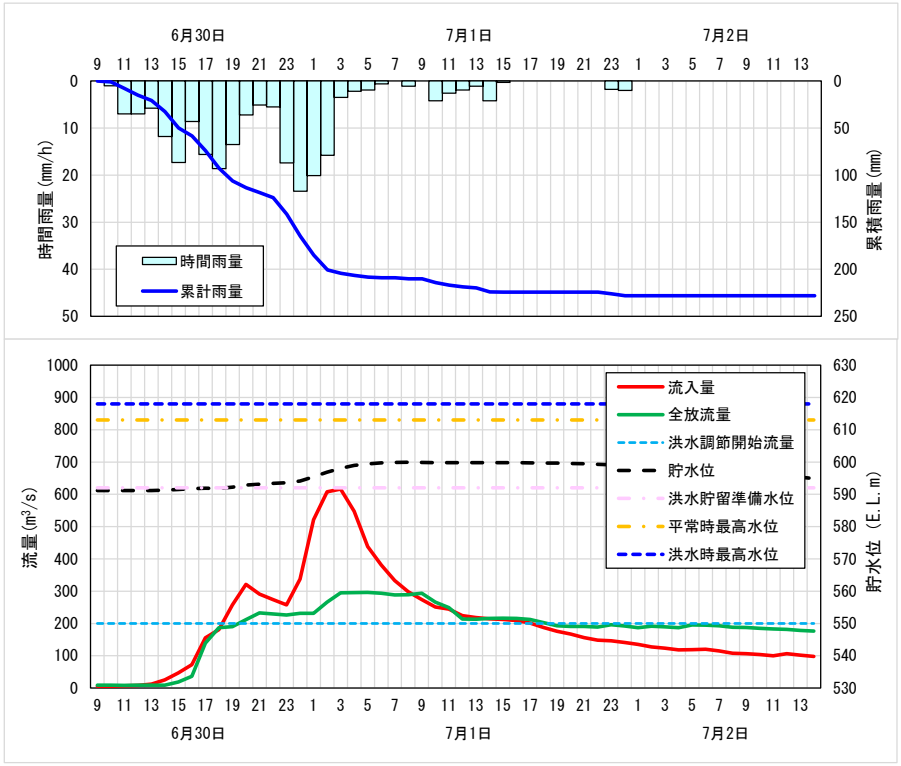


３．防災操作　（２）各ダムの防災操作（小渋ダム）

・令和２年は7回の防災操作を行い、最大流入量は約639.56m³/sであった。
・7月1日の出水は、小渋ダム管理開始以降（51年間）で2番目となる流入量約640m³/sを記録し、7月11日の出水は、5番目の流入量約540m³/sを記録した。
・防災操作実施により、天竜川本川の宮ケ瀬において、約48cmの水位低減効果がみられた。

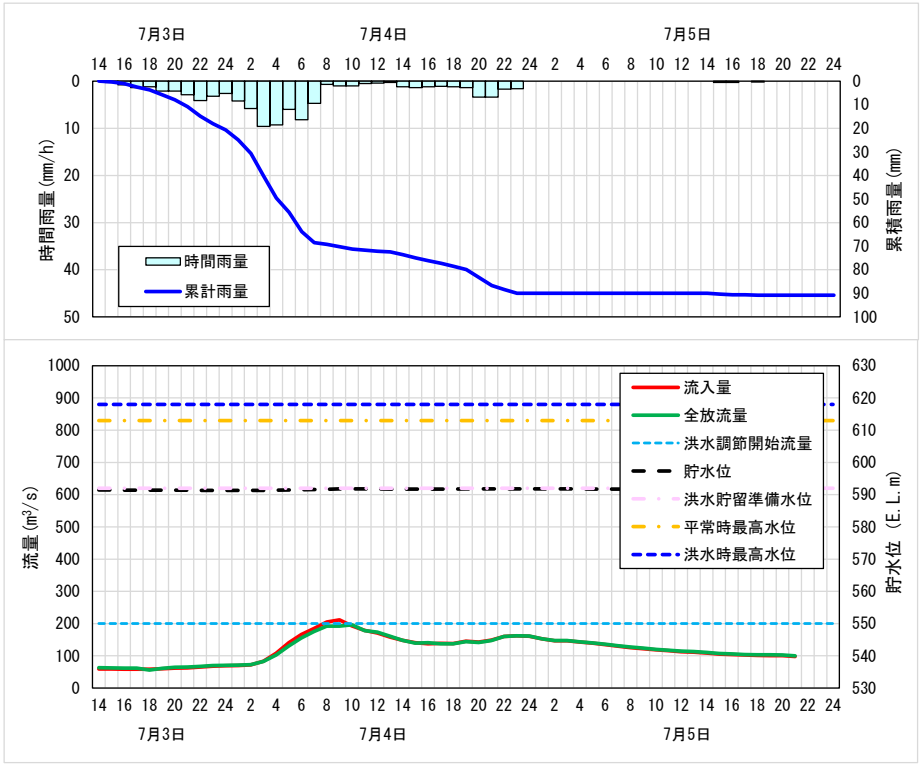
【洪水の原因となった気象概要】

梅雨前線（令和2年7月豪雨）の影響により、ダム上流域では6月30日10時から7月1日24時までの30時間で228.1mmの降雨を観測した。



【洪水の原因となった気象概要】

梅雨前線（令和2年7月豪雨）の影響により、ダム上流域では7月3日15時から7月4日23時までの33時間で90.0mmの降雨を観測した。

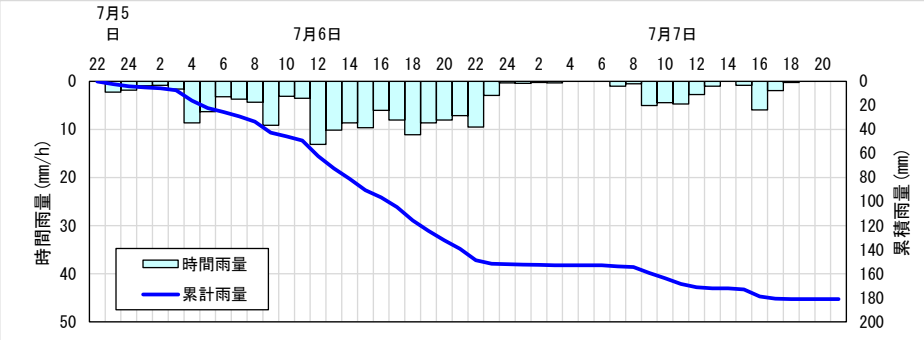


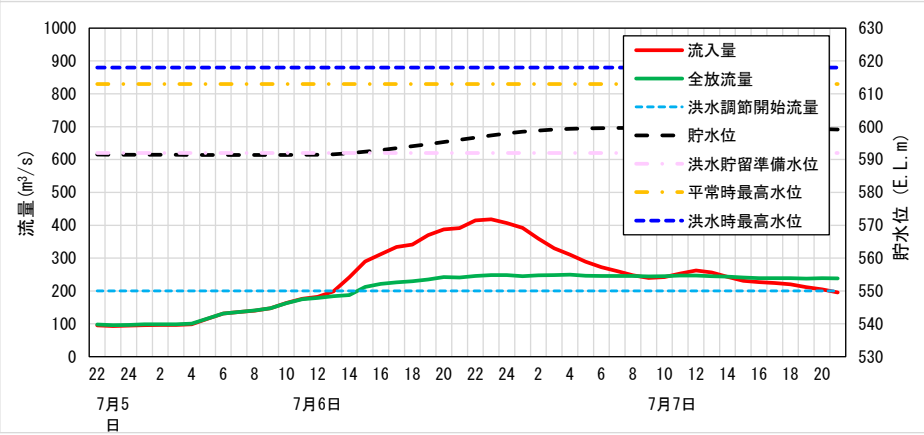
３．防災操作　（２）各ダムの防災操作（小渋ダム）

・令和２年は7回の防災操作を行い、最大流入量は約639.56m³/sであった。
・7月1日の出水は、小渋ダム管理開始以降（51年間）で2番目となる流入量約640m³/sを記録し、7月11日の出水は、5番目の流入量約540m³/sを記録した。
・防災操作実施により、天竜川本川の宮ケ瀬において、約48cmの水位低減効果がみられた。

【洪水の原因となった気象概要】

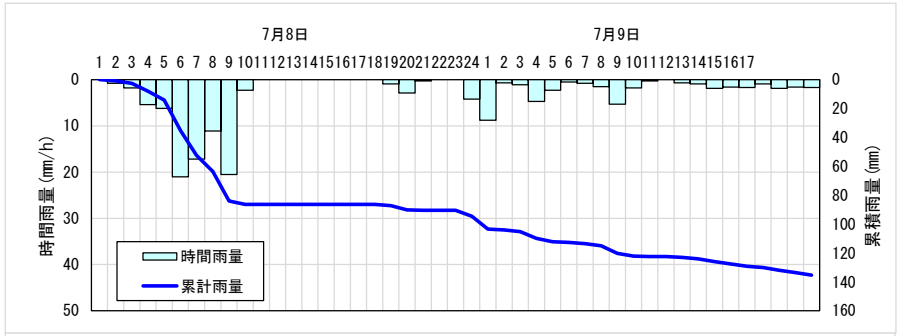
梅雨前線（令和2年7月豪雨）の影響により、ダム上流域では7月5日23時から7月7日18時までの40時間で181.0mmの降雨を観測した。

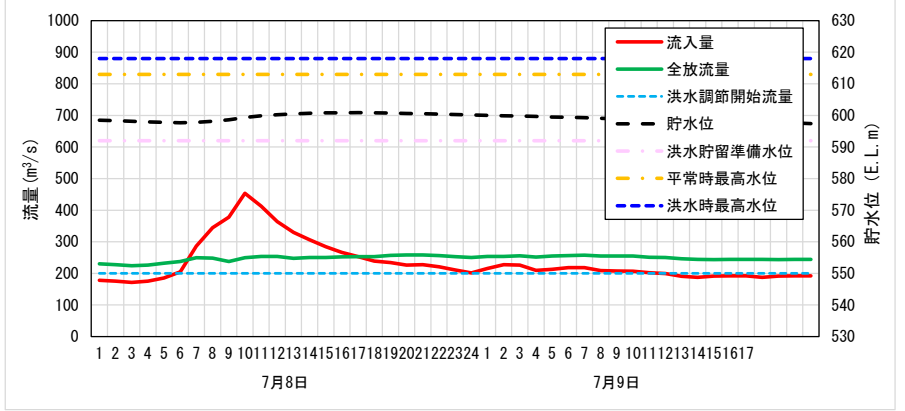




【洪水の原因となった気象概要】

梅雨前線（令和2年7月豪雨）の影響により、ダム上流域では7月8日2時から7月9日11時までの24時間で122.4mmの降雨を観測した。



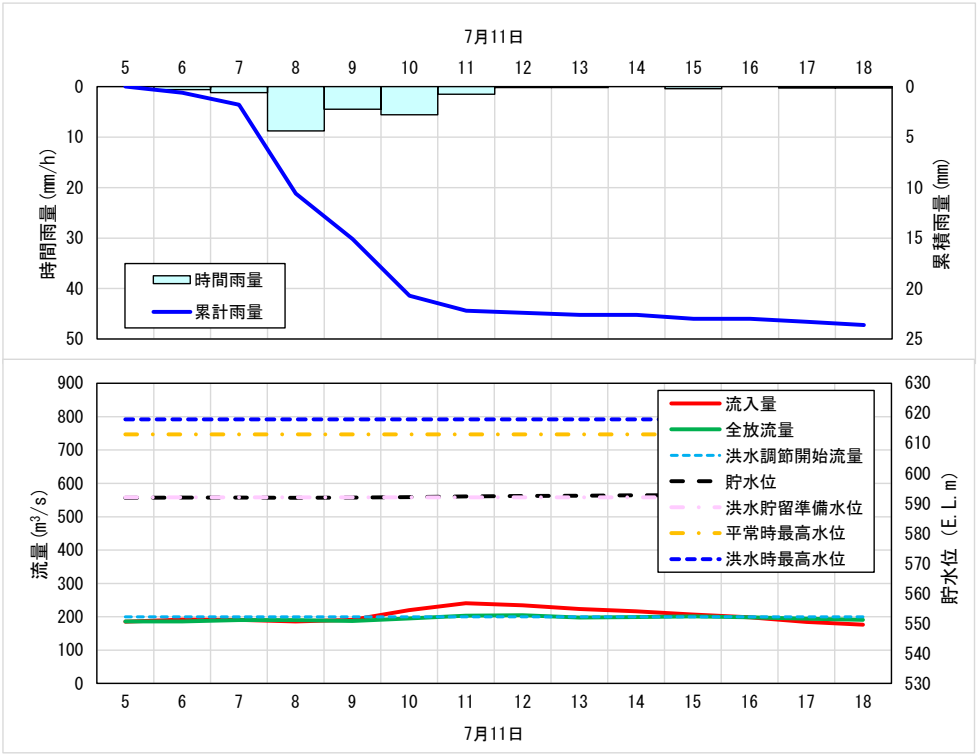


３．防災操作　（２）各ダムの防災操作（小渋ダム）

・令和２年は7回の防災操作を行い、最大流入量は約639.56m³/sであった。
・7月1日の出水は、小渋ダム管理開始以降（51年間）で2番目となる流入量約640m³/sを記録し、7月11日の出水は、5番目の流入量約540m³/sを記録した。
・防災操作実施により、天竜川本川の宮ケ瀬において、約48cmの水位低減効果がみられた。

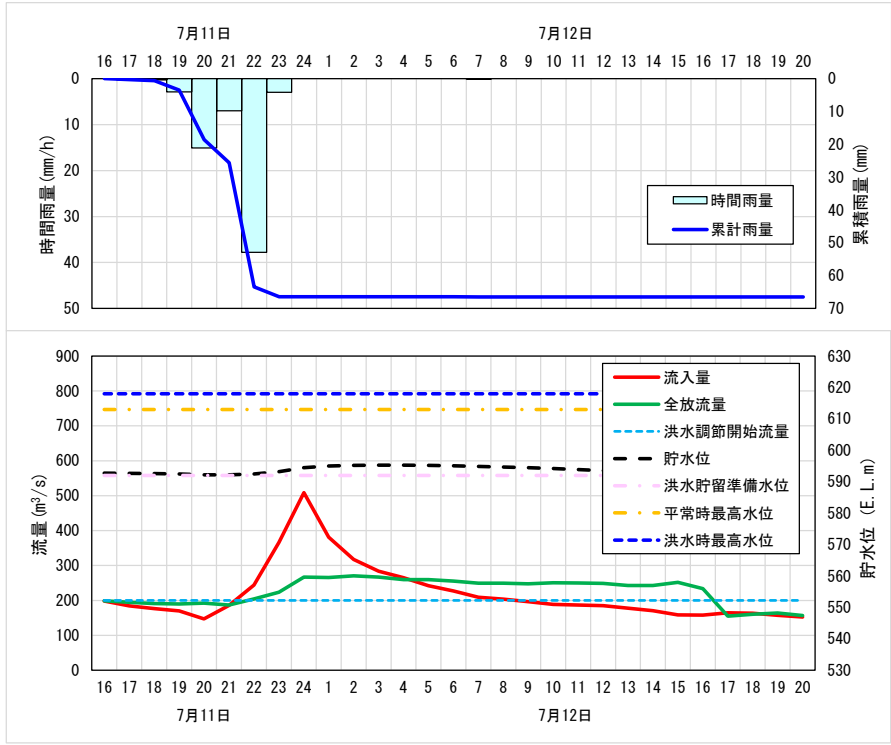
【洪水の原因となった気象概要】

梅雨前線（令和2年7月豪雨）の影響により、ダム上流域では7月11日6時から7月11日15時までの11時間で23.0mmの降雨を観測した。



【洪水の原因となった気象概要】

梅雨前線（令和2年7月豪雨）の影響により、ダム上流域では7月11日17時から7月11日23時までの7時間で66.4mmの降雨を観測した。

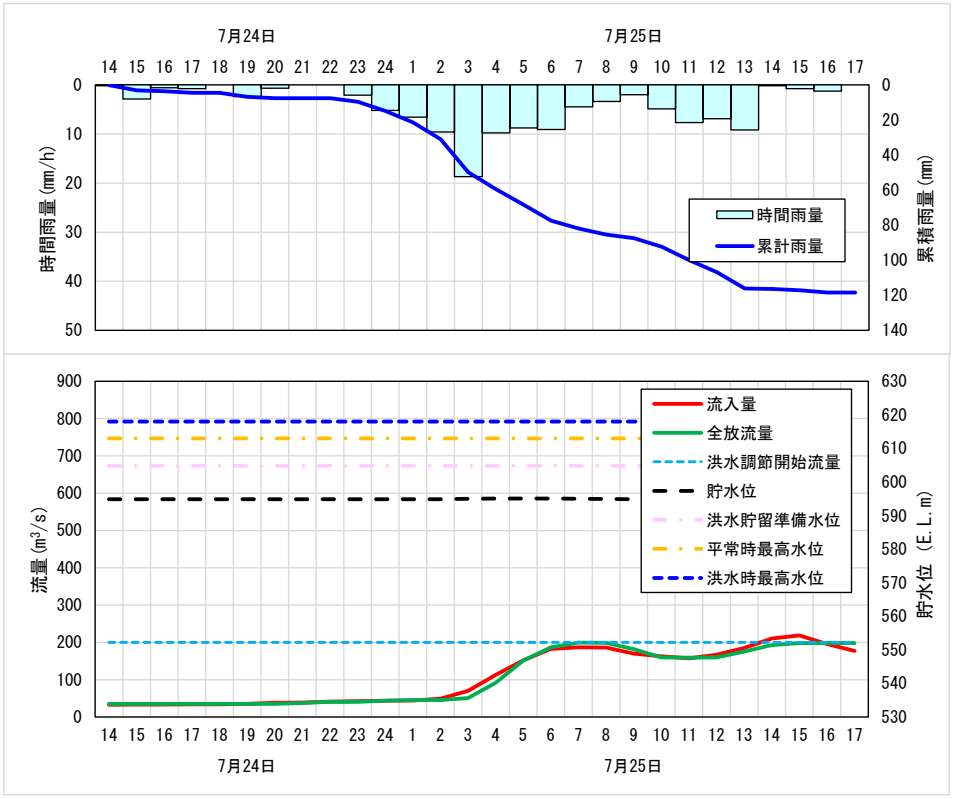


３．防災操作　（２）各ダムの防災操作（小渋ダム）

・令和２年は7回の防災操作を行い、最大流入量は約639.56m³/sであった。

【洪水の原因となった気象概要】

梅雨前線の影響により、ダム上流域では7月24日14時から7月25日16時までの24時間で118.4mmの降雨を観測した。

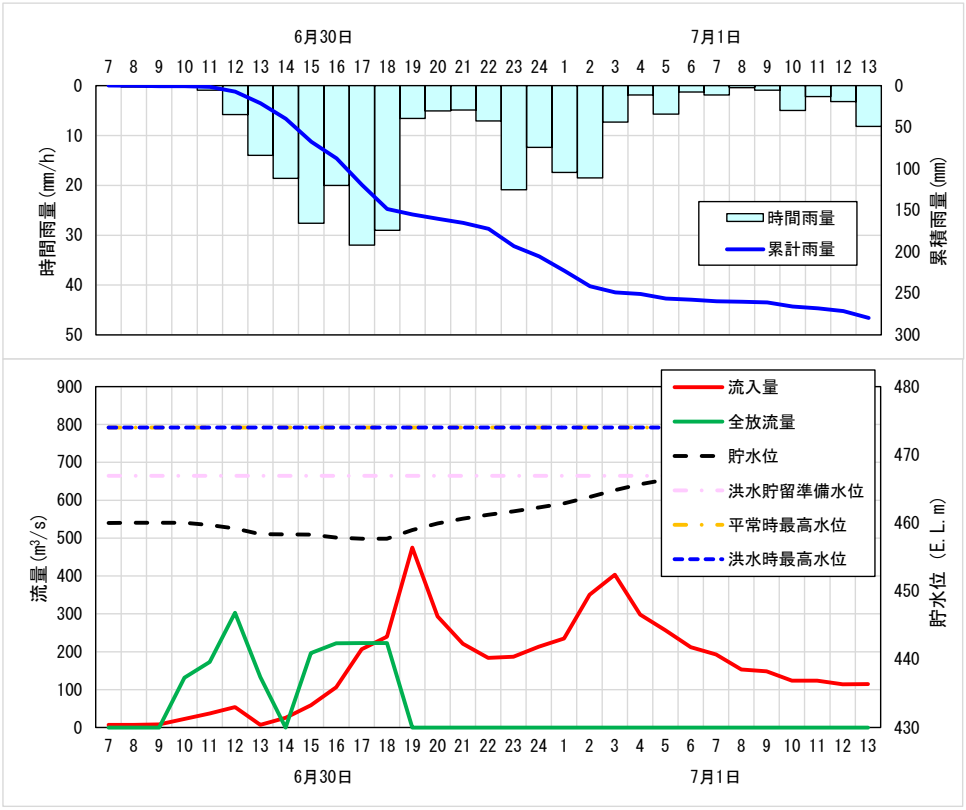


３．防災操作　（２）各ダムの防災操作（新豊根ダム）

・令和２年は2回の防災操作を行い、最大流入量は494.00m³/sであった。

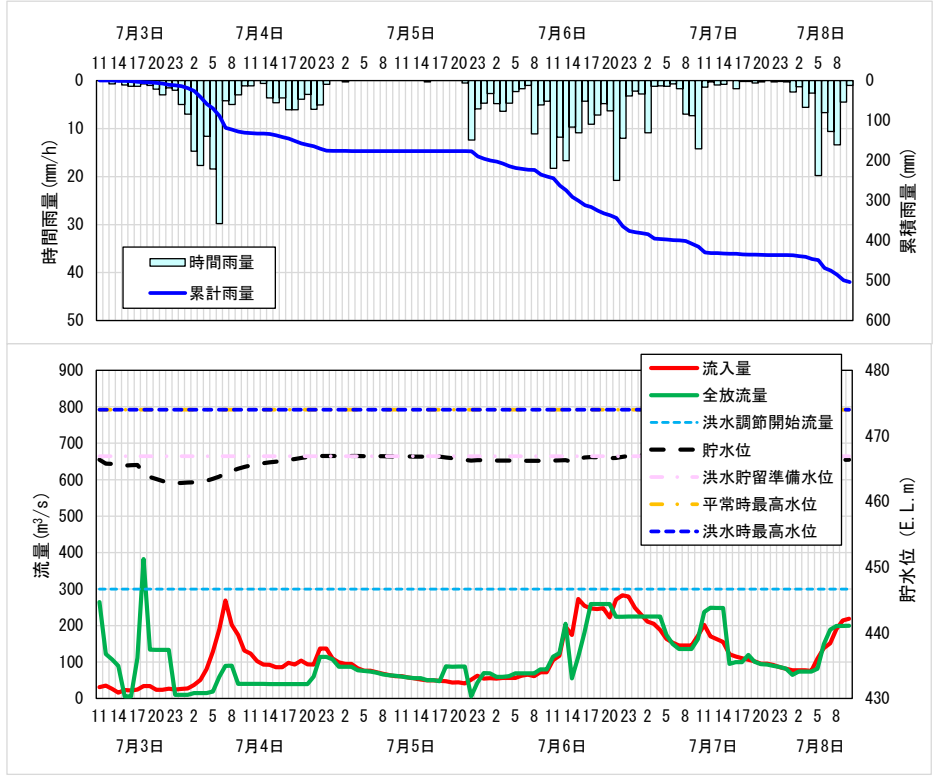
【洪水の原因となった気象概要】

梅雨前線（令和2年7月豪雨）の影響により、ダム上流域では6月30日8時から7月1日13時までの30時間で279.4mmの降雨を観測した。



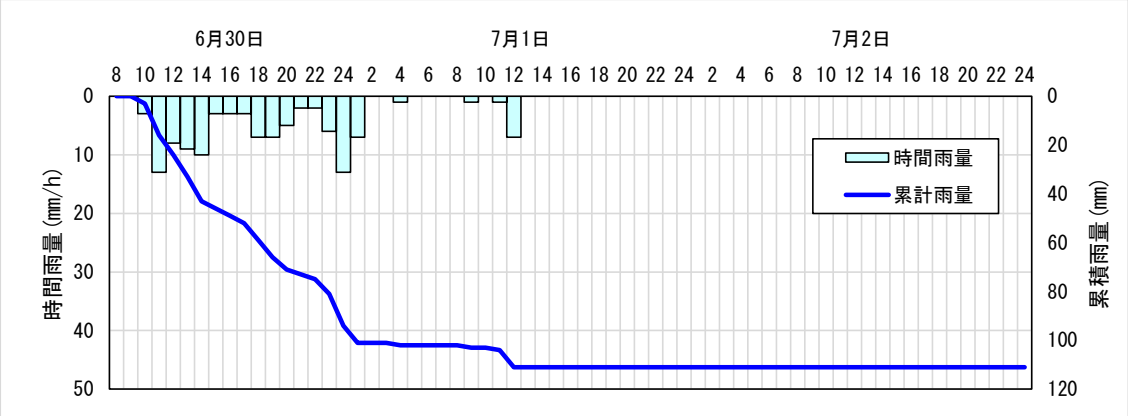
【洪水の原因となった気象概要】

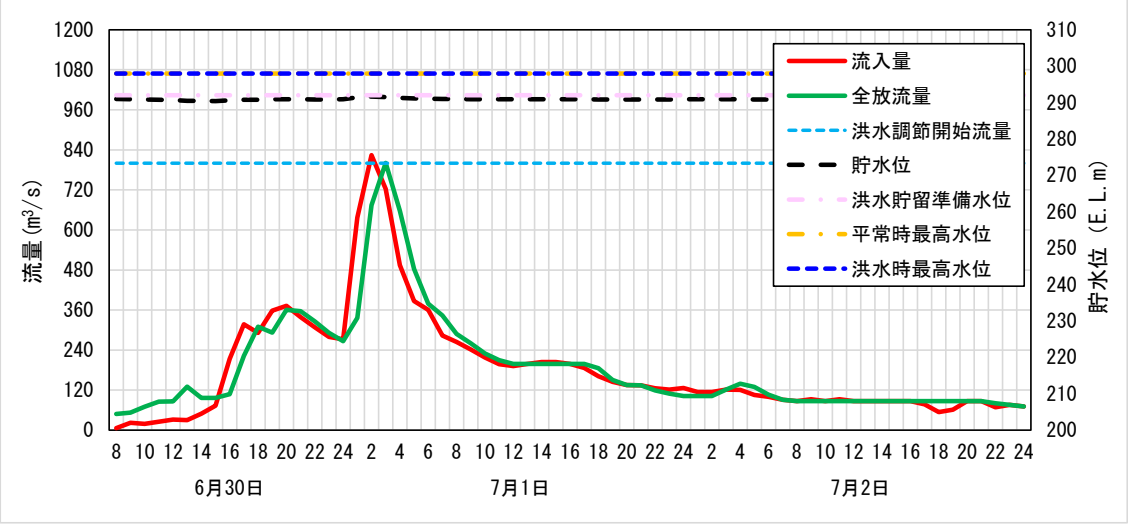
梅雨前線（令和2年7月豪雨）の影響により、ダム上流域では7月3日13時から7月8日10時までの118時間で504.6mmの降雨を観測した。



３．防災操作　（２）各ダムの防災操作（矢作ダム）

・令和２年は1回の防災操作を行い、最大流入量は830.00m3/sであった。
・矢作ダムでは6月30日12:00からゲート放流を開始し、その後、流入量が洪水量（800m3/s）を超過した7月1日 1時34分から2時43分において洪水調節を実施した。





【洪水の原因となった気象概要】

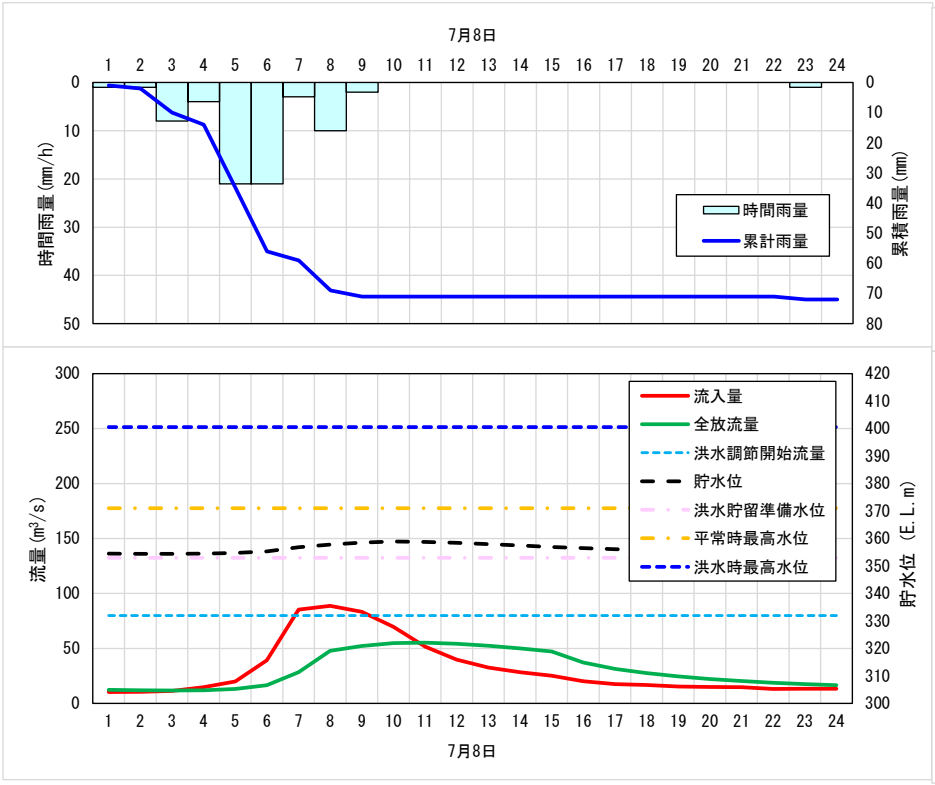
梅雨前線（令和2年7月豪雨）の影響により、ダム上流域では6月30日10時から7月1日12時までの27時間で111.0mmの降雨を観測した。

３．防災操作　（２）各ダムの防災操作（小里川ダム）

・令和２年は2回の防災操作を行い、最大流入量は97.73m³/sであった。

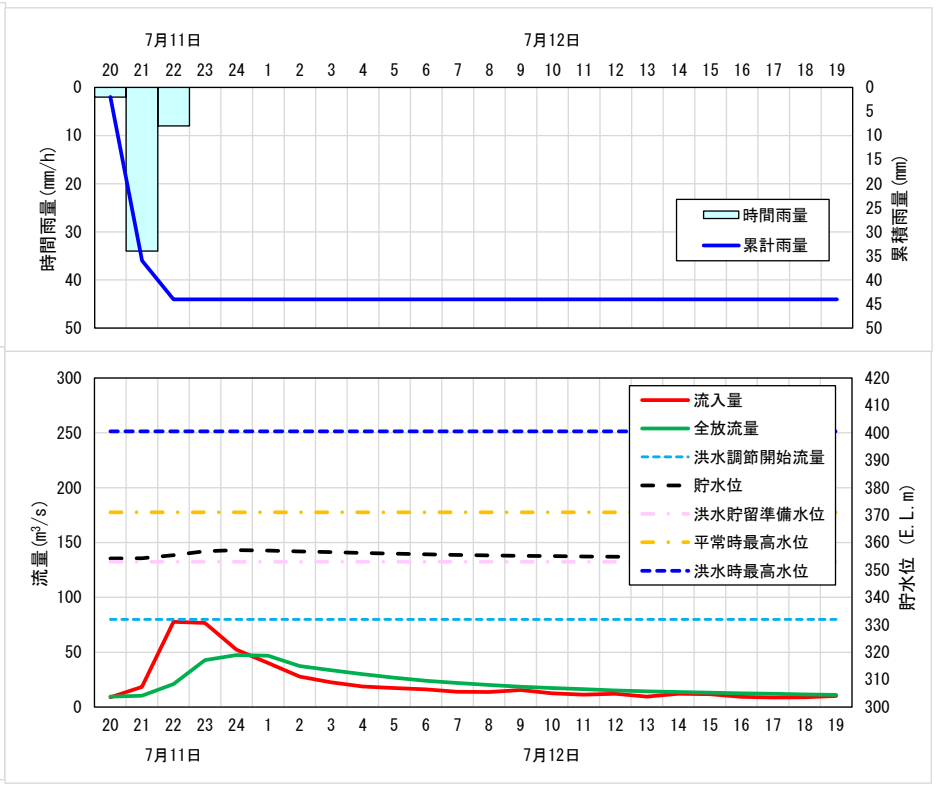
【洪水の原因となった気象概要】

梅雨前線（令和2年7月豪雨）の影響により、ダム上流域では7月8日1時から7月8日9時までの9時間で71.0mmの降雨を観測した。



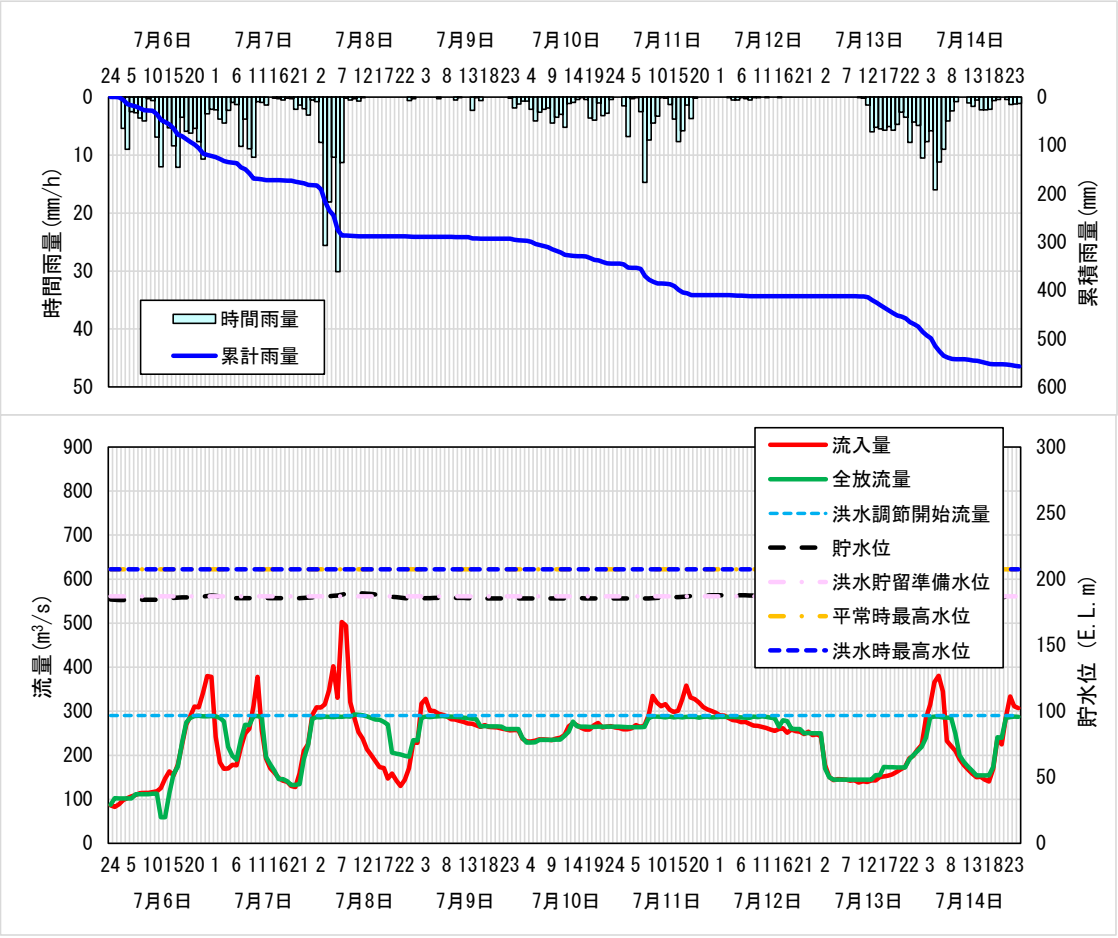
【洪水の原因となった気象概要】

梅雨前線（令和2年7月豪雨）の影響により、ダム上流域では7月11日20時から7月11日22時までの3時間で44.0mmの降雨を観測した。



3. 防災操作　（2）各ダムの防災操作（横山ダム）

・令和２年は1回の防災操作を行い、最大流入量は603.70m³/sであった。
・梅雨前線による出水には、横山ダム・徳山ダムの連携した防災操作により、横山ダムの下流基準地点（万石地点）において、約0.5mの水位低減効果がみられた。



【洪水の原因となった気象概要】

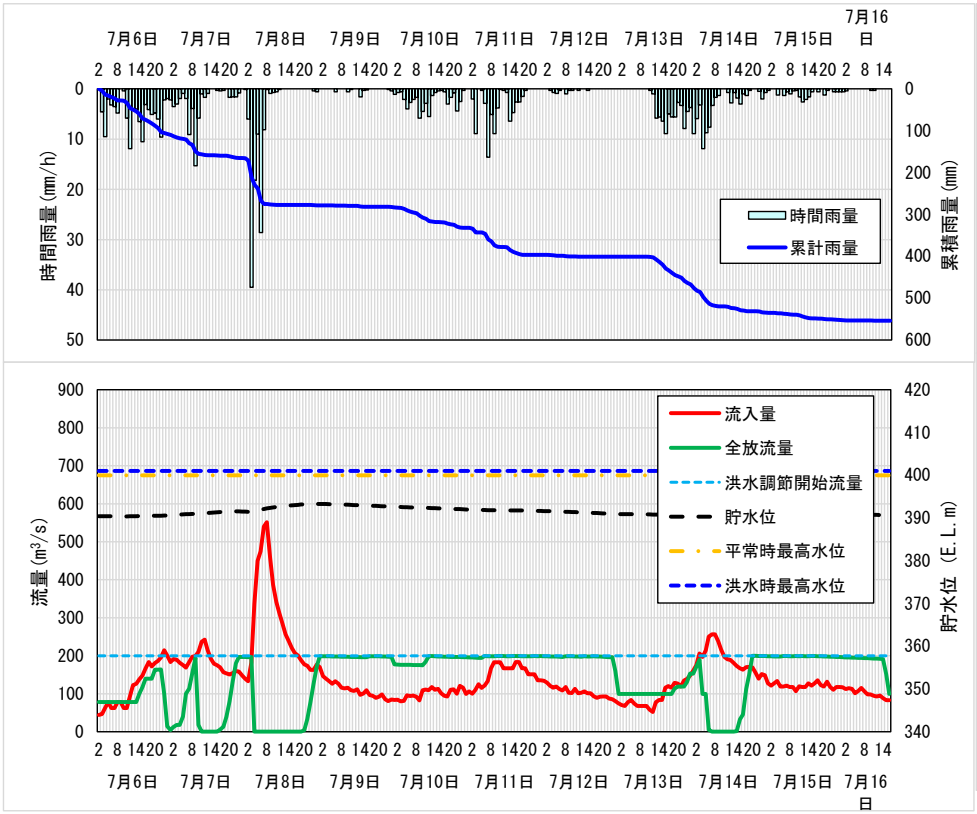
梅雨前線（令和2年7月豪雨）の影響により、ダム上流域では7月6日2時から7月14日24時までの215時間で557.1mmの降雨を観測した。

３．防災操作　（２）各ダムの防災操作（徳山ダム）

・令和２年は2回の防災操作を行い、最大流入量は567.10m³/sであった。
・梅雨前線による出水には、横山ダム・徳山ダムの連携した防災操作により、横山ダムの下流基準地点（万石地点）において、約0.5mの水位低減効果がみられた。

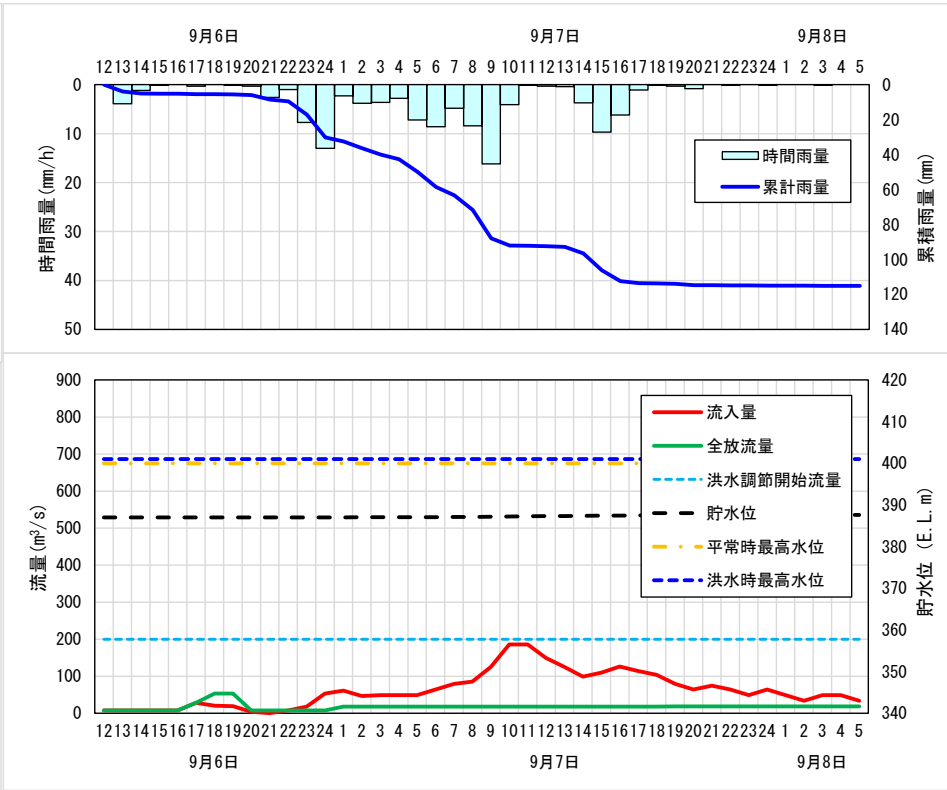
【洪水の原因となった気象概要】

梅雨前線（令和2年7月豪雨）の影響により、ダム上流域では7月6日2時から7月16日11時までの249時間で553.6mmの降雨を観測した。



【洪水の原因となった気象概要】

台風10号の影響により、ダム上流域では9月6日12時から9月8日3時までの39時間で115.0mmの降雨を観測した。



3. 防災操作　（2）各ダムの防災操作（岩屋ダム）

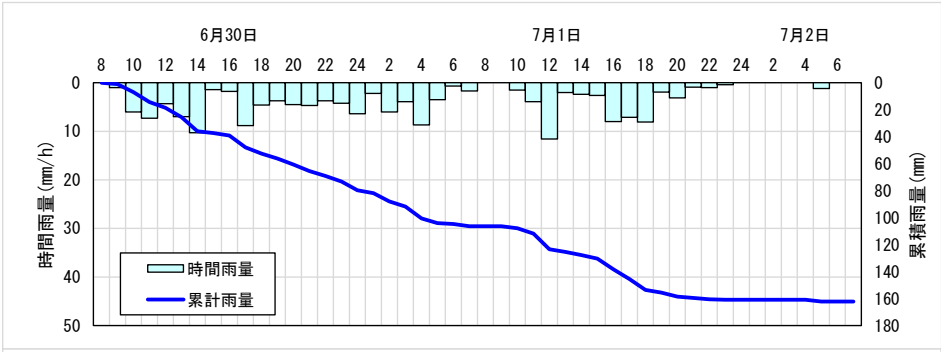
・令和２年は6回の防災操作を行い、最大流入量は986.79m³/sであった。
・梅雨前線による出水では、ダム下流部の馬瀬川東沓部地点において、約1.45mの水位低減効果がみられた。

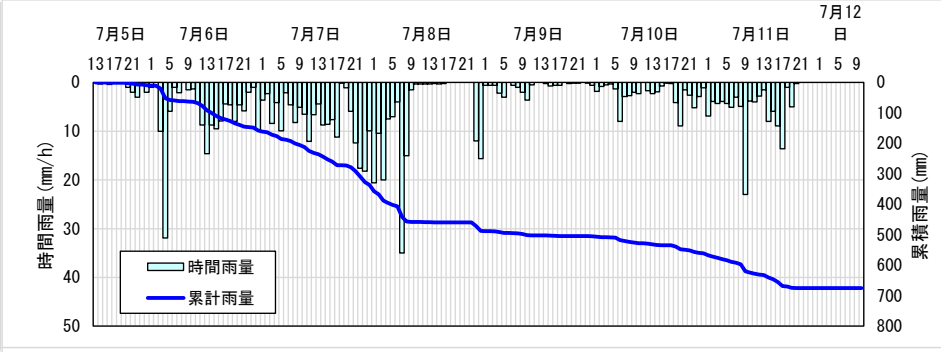
【洪水の原因となった気象概要】

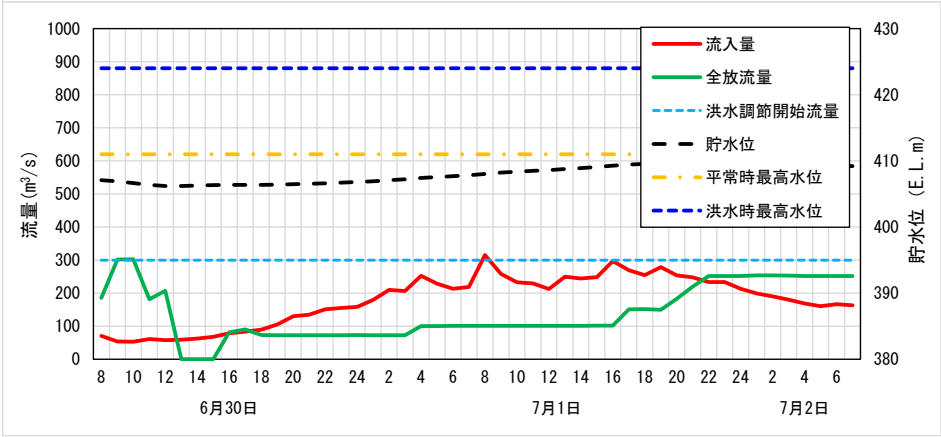
梅雨前線（令和2年7月豪雨）の影響により、ダム上流域では6月30日8時から7月2日5時までの45時間で162.1mmの降雨を観測した。

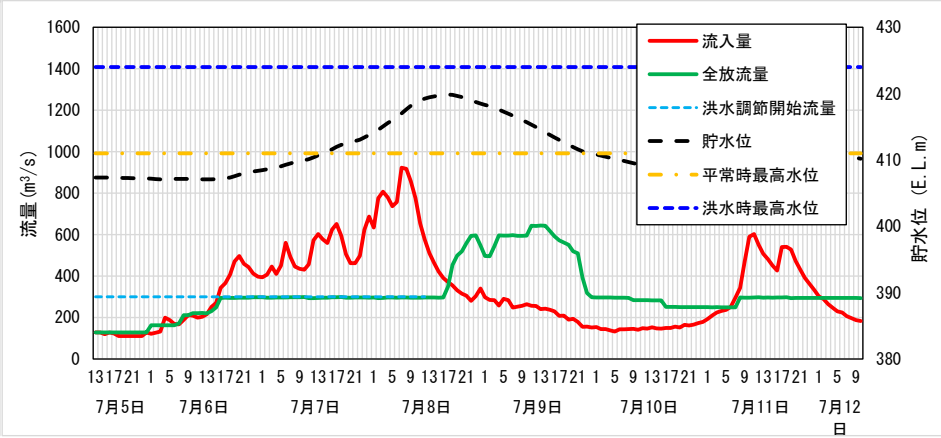
【洪水の原因となった気象概要】

梅雨前線（令和2年7月豪雨）の影響により、ダム上流域では7月5日13時から7月11日20時までの151時間で674.8mmの降雨を観測した。









3. 防災操作　（2）各ダムの防災操作（岩屋ダム）

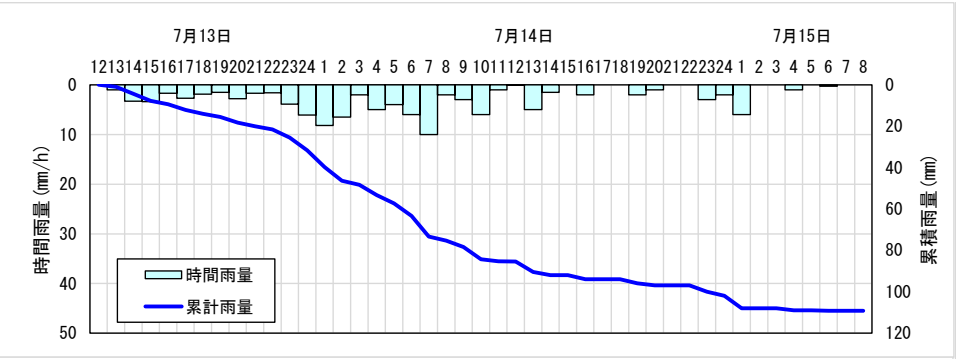
・令和２年は6回の防災操作を行い、最大流入量は986.79m³/sであった。
・7月25日の出水では、ダム下流部の馬瀬川東沓地点において、約0.59mの水位低減効果がみられた。

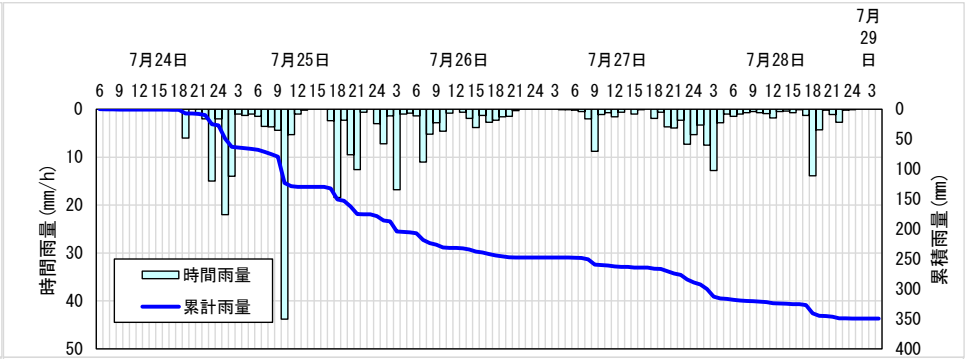
【洪水の原因となった気象概要】

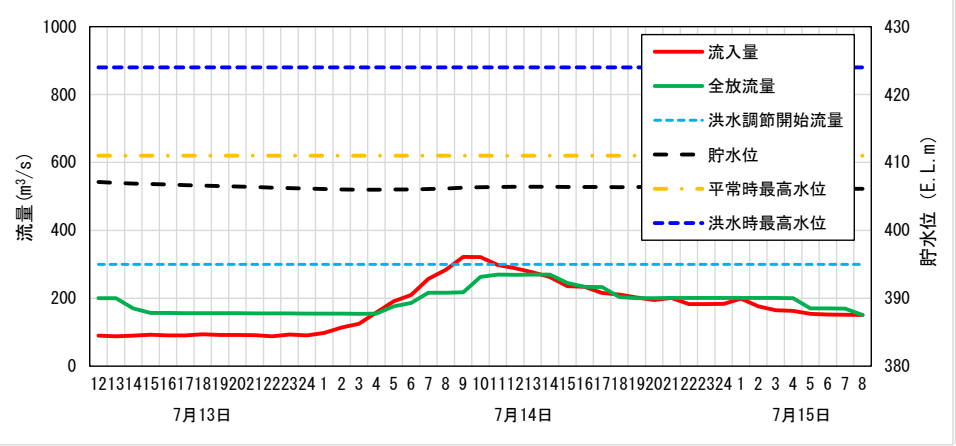
梅雨前線の影響により、ダム上流域では7月13日12時から7月15日6時までの42時間で109.2mmの降雨を観測した。

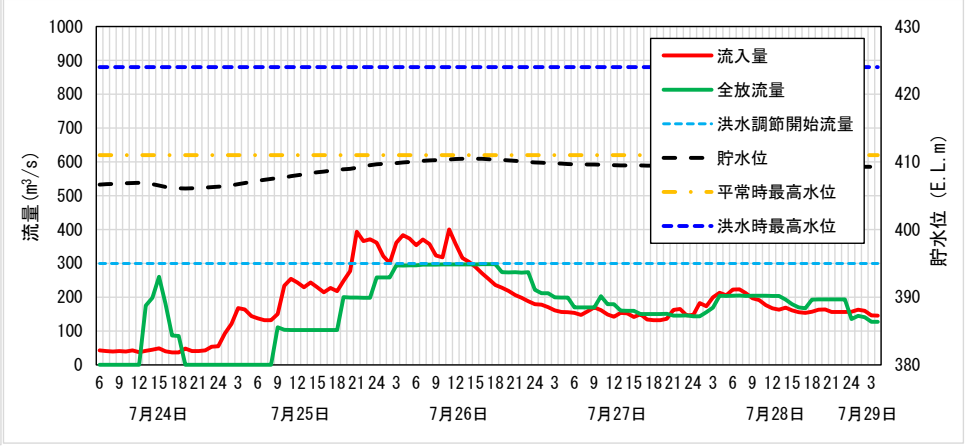
【洪水の原因となった気象概要】

梅雨前線の影響により、ダム上流域では7月24日6時から7月28日24時までの114時間で349.3mmの降雨を観測した。







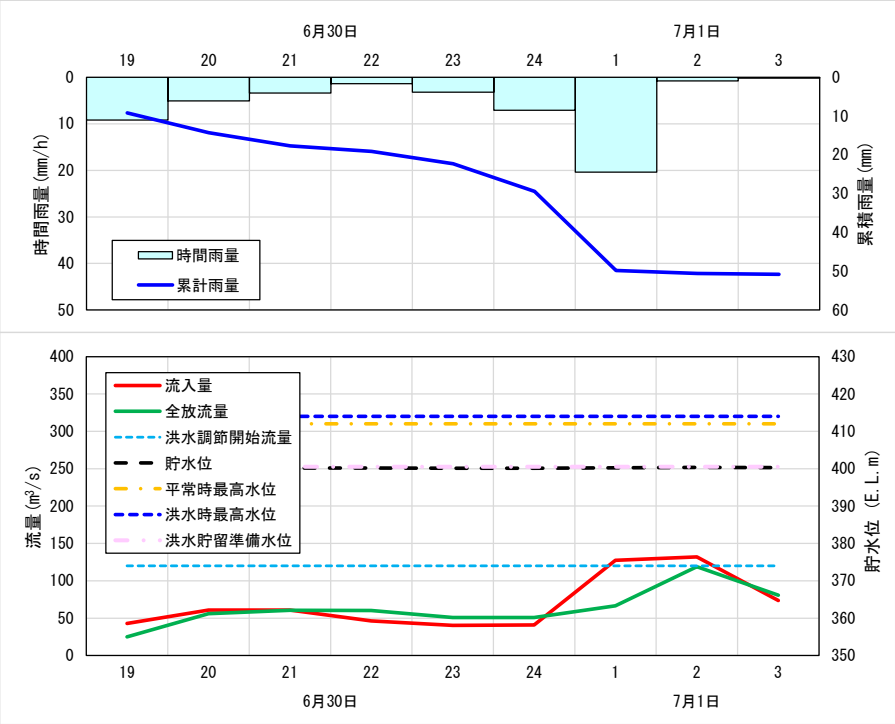


3. 防災操作　（2）各ダムの防災操作（阿木川ダム）

・令和２年は3回の防災操作を行い、最大流入量は228.30m³/sであった。

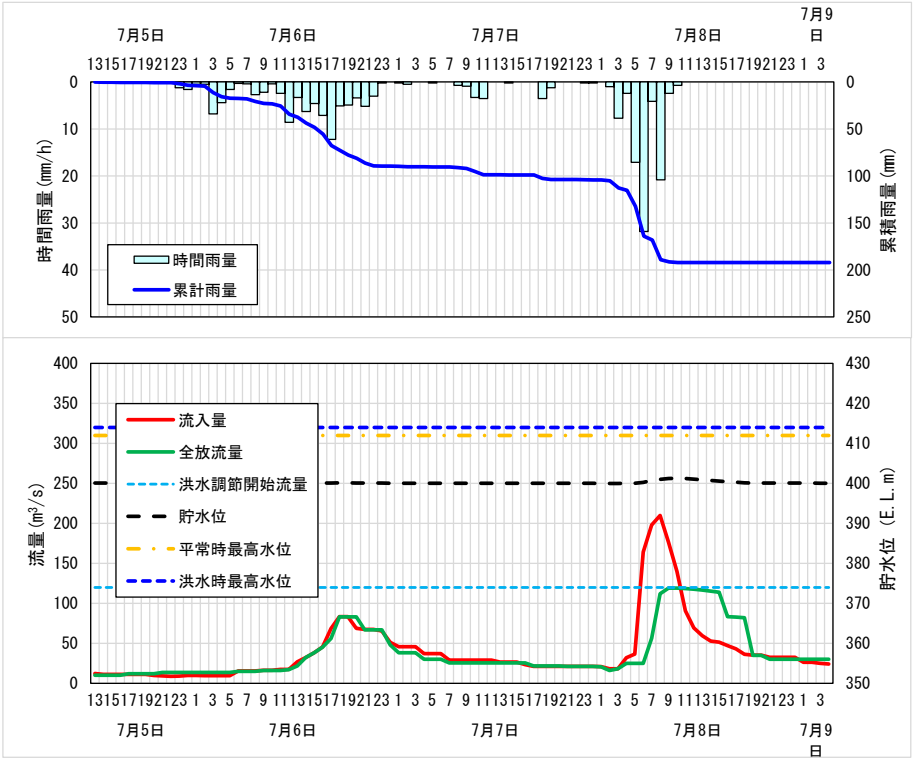
【洪水の原因となった気象概要】

梅雨前線（令和2年7月豪雨）の影響により、ダム上流域では6月30日9時から7月1日3時までの18時間で97.6mmの降雨を観測した。



【洪水の原因となった気象概要】

梅雨前線（令和2年7月豪雨）の影響により、ダム上流域では7月5日14時から7月8日10時までの69時間で192.1mmの降雨を観測した。

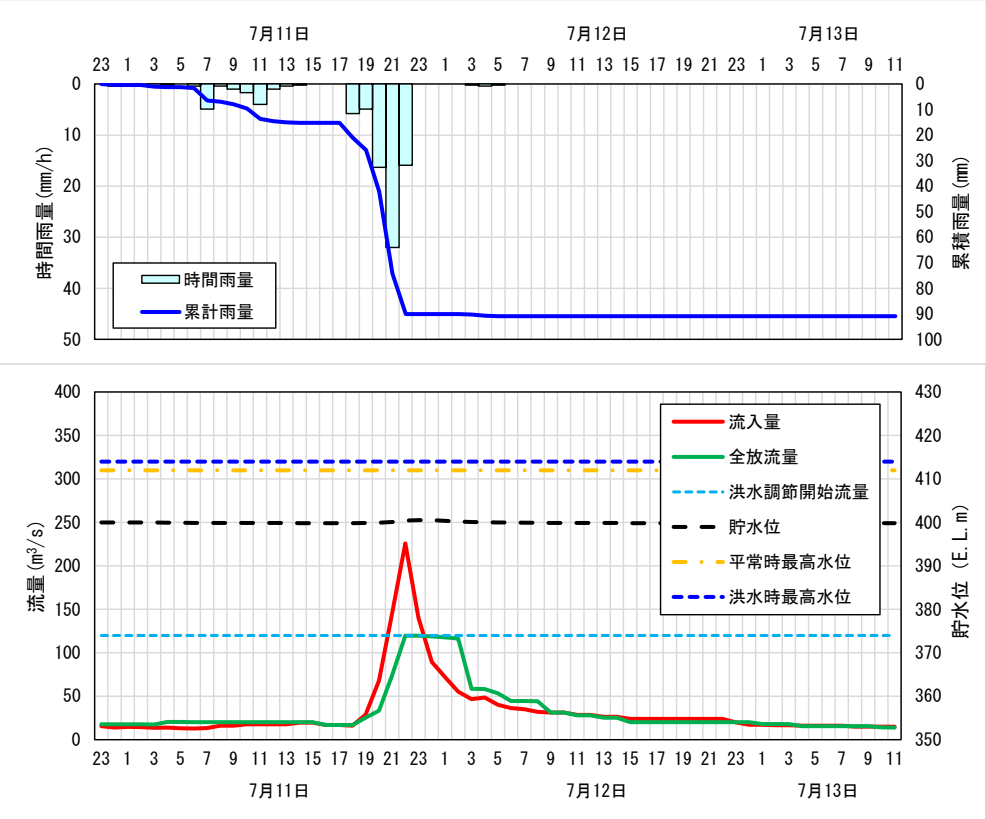


３．防災操作　（２）各ダムの防災操作（阿木川ダム）

・令和２年は3回の防災操作を行い、最大流入量は228.30m³/sであった。
・7月11日の出水では、約838千m3の水を貯留し、大門地点において約0.24mの水位低減効果がみられた。

【洪水の原因となった気象概要】

梅雨前線（令和2年7月豪雨）の影響により、ダム上流域では7月10日23時から7月12日5時までの30時間で90.9mmの降雨を観測した。

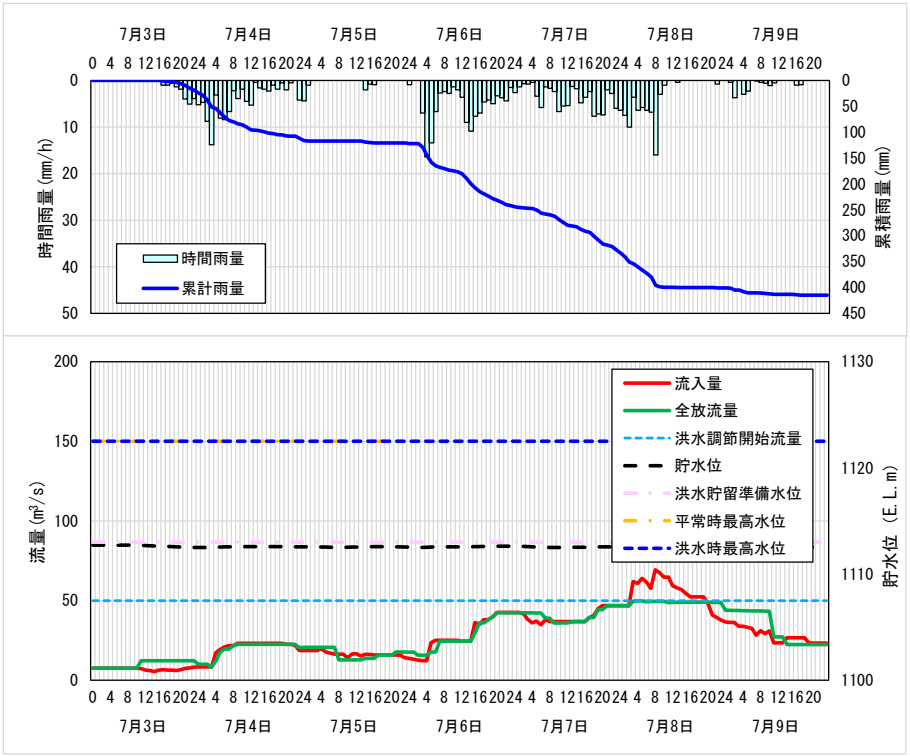


3. 防災操作　（2）各ダムの防災操作（味噌川ダム）

・令和２年は2回の防災操作を行い、最大流入量は109.04m³/sであった。
・防災操作実施により、木曽川本川の大手橋において、7月8日の出水で約0.10m、7月11日の出水で0.35mの水位低減効果がみられた。

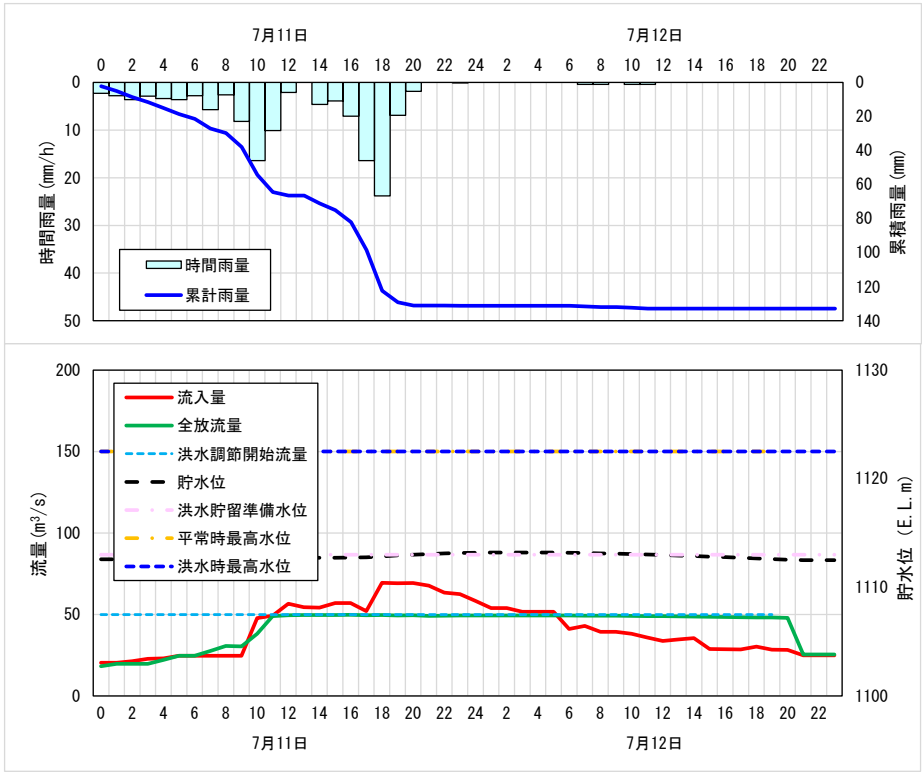
【洪水の原因となった気象概要】

梅雨前線（令和2年7月豪雨）の影響により、ダム上流域では7月3日15時から7月9日17時までの146時間で414.8mmの降雨を観測した。



【洪水の原因となった気象概要】

梅雨前線（令和2年7月豪雨）の影響により、ダム上流域では7月10日23時から7月12日11時までの36時間で132.8mmの降雨を観測した。



4. 利水　（１）各ダムの貯水容量

利水関係　諸元一覧表（1）

ダム名	長島ダム	美和ダム	小渋ダム	新豊根ダム	寒狭川堰	矢作ダム	小里川ダム
水系名及び河川名	大井川水系 大井川	天竜川水系 三峰川	天竜川水系 小渋川	天竜川水系 大入川	豊川水系 豊川	矢作川水系 矢作川	庄内川水系 小里川
集水面積 (km^2)	534.3	311.1	288	136.3	300	504.5	55
総貯水容量 (万m^3)	7,800	2,995.2	5,800	5,350	8.8	8,000	1,510
有効貯水容量 (万m^3)	6,800	2,074.5	3,710	4,040	6.4	6,500	1,290
非洪水期 利水容量 (万m^3)	4,800	2,074.5	2,910	4,040	6.4	6,500	300
洪水期 利水容量 (万m^3)	2,100	1,035.3	梅雨期：1,750 台風期：320	3,430	6.4	5,000	0
利水の目的	・流水の正常な機能の維持 ・特定かんがい ・上水 ・工水	・発電 ・特定かんがい	・特定かんがい ・発電	・発電	・流水の正常な機能の維持 ・特定かんがい ・上水	・流水の正常な機能の維持 ・特定かんがい ・上水 ・工水 ・発電	・流水の正常な機能の維持 ・発電

4. 利水　（１）各ダムの貯水容量

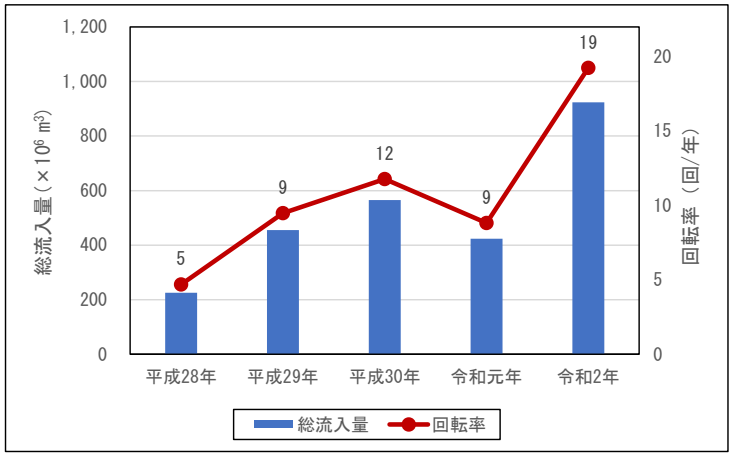
利水関係　諸元一覧表（2）

ダム名	丸山ダム	横山ダム	徳山ダム	岩屋ダム	阿木川ダム	長良川河口堰	味噌川ダム	蓮ダム
水系名及び河川名	木曽川水系 木曽川	木曽川水系 揖斐川	木曽川水系 揖斐川	木曽川水系 馬瀬川	木曽川水系 阿木川	木曽川水系 長良川	木曽川水系 木曽川	櫛田川水系 蓮川
集水面積 (km^2)	2,409	471	254.5	1,034.90	81.8	1,985	55.1	80.9
総貯水容量 (万m^3)	7,952	4,000	66,000	17,350	4,800	–	6,100	3,260
有効貯水容量 (万m^3)	3,839	3,000	38,040	15,000	4,400	–	5,500	2,940
非洪水期 利水容量 (万m^3)	1,822	3,000	36,640	10,000	4,400	–	5,500	2,840
洪水期 利水容量 (万m^3)	1,822	340	25,740	10,000	2,800	–	4,300	1,240
利水の目的	・発電	・発電	・流水の正常な 機能の維持 ・上水 ・工水 ・発電	・特定かんがい ・上水 ・工水 ・発電	・流水の正常な 機能の維持 ・上水 ・工水	・上水 ・工水	・流水の正常な 機能の維持 ・上水 ・工水 ・発電	・流水の正常な 機能の維持 ・上水 ・発電

4. 利水　（２）各ダムの回転率

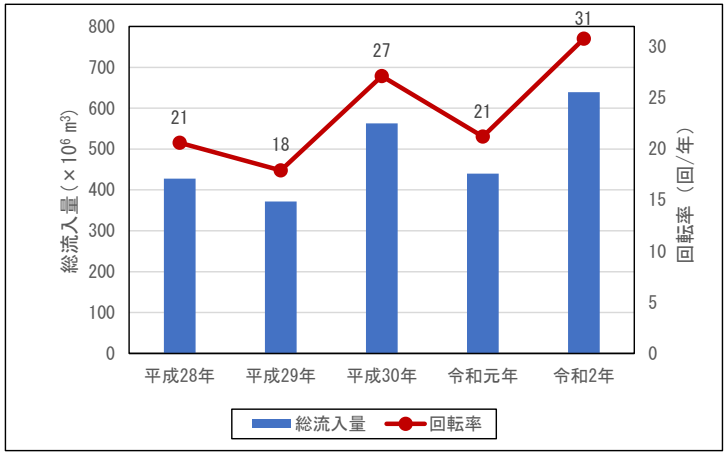
※ 回転率（回/年） ＝ 総流入量(m³) ÷ 非洪水期利水容量(m³)

長島ダムの令和２年の回転率は19回／年である。



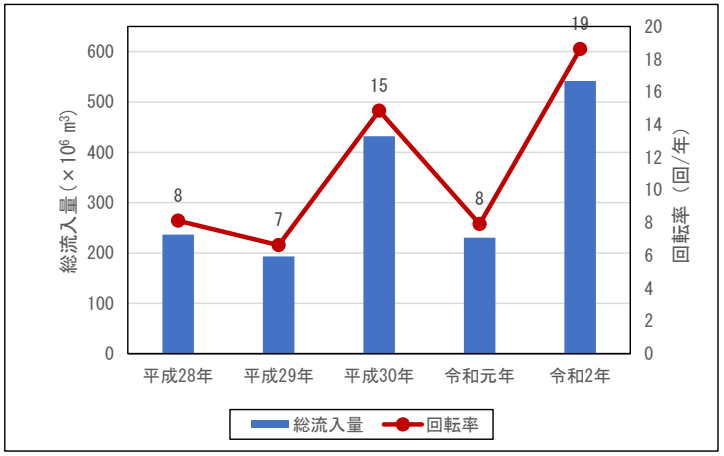
長島ダムの総流入量と回転率(H28～R2年)

美和ダムの令和２年の回転率は31回／年である。



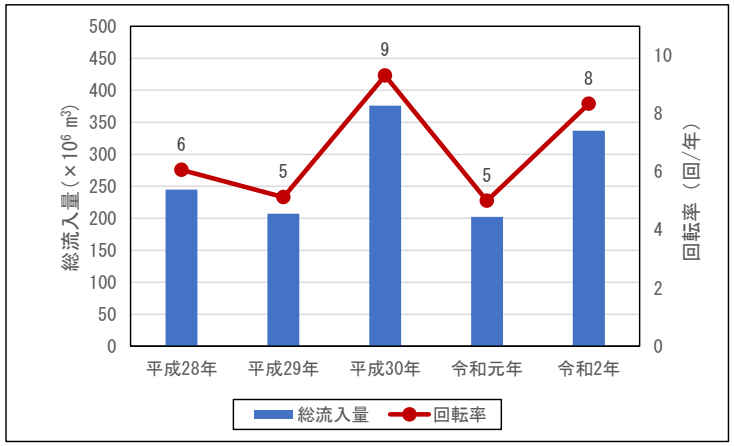
美和ダムの総流入量と回転率(H28～R2年)

小渋ダムの令和２年の回転率は19回／年である。



小渋ダムの総流入量と回転率(H28～R2年)

新豊根ダムの令和２年の回転率8回／年である。

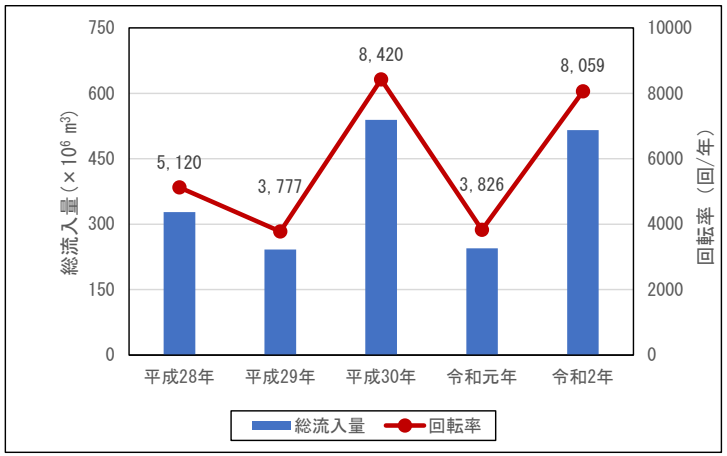


新豊根ダムの総流入量と回転率(H28～R2年)

4. 利水　（２）各ダムの回転率

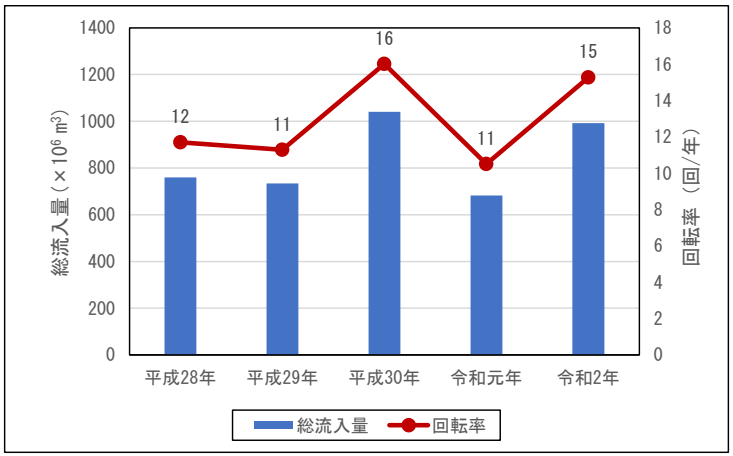
※ 回転率（回/年） ＝ 総流入量(m³) ÷ 非洪水期利水容量(m³)

寒狭川堰の令和２年の回転率は8059回／年である。



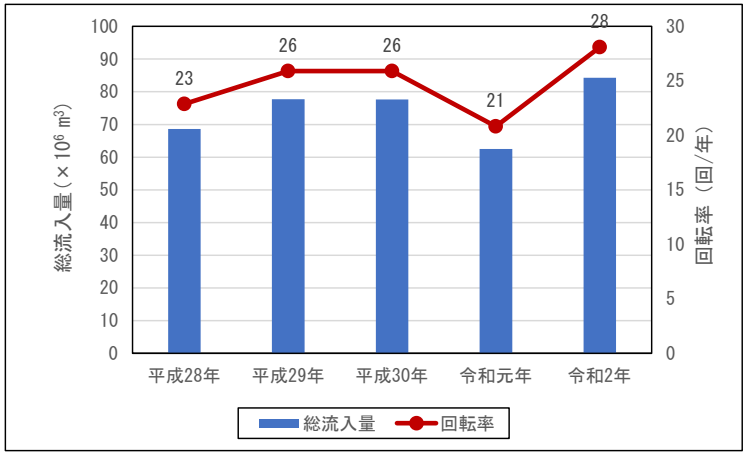
寒狭川堰の総流入量と回転率(H28～R2年)

矢作ダムの令和２年の回転率は15回／年である。



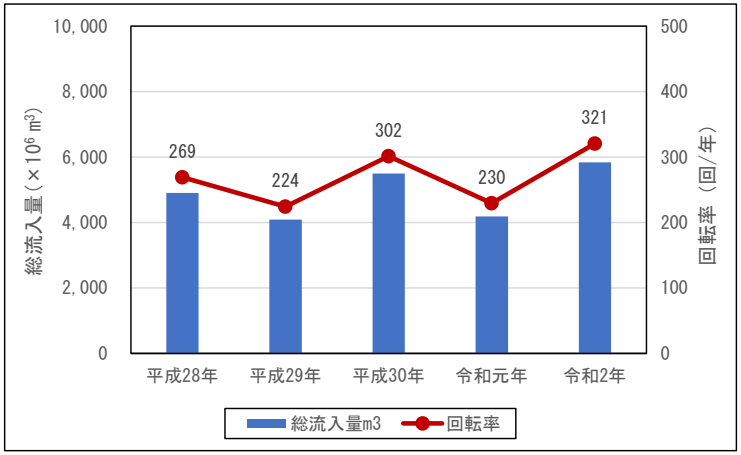
矢作ダムの総流入量と回転率(H28～R2年)

小里川ダムの令和２年の回転率は28回／年である。



小里川ダムの総流入量と回転率(H28～R2年)

丸山ダムの令和２年の回転率は321回／年である。

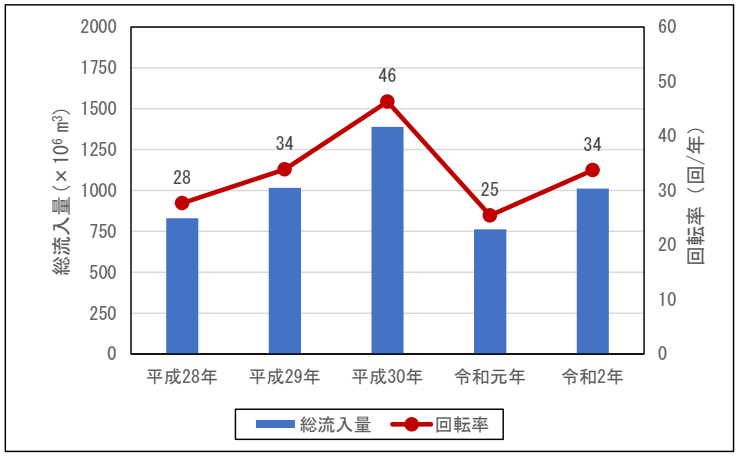


丸山ダムの総流入量と回転率(H28～R2年)

4. 利水　（２）各ダムの回転率

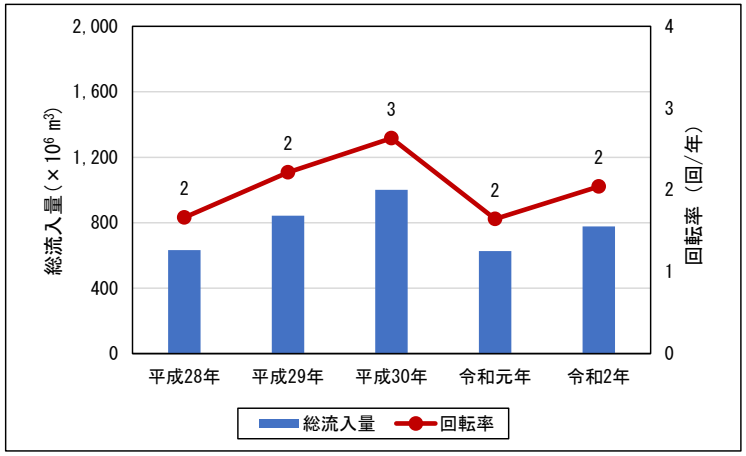
※ 回転率（回/年） ＝ 総流入量(m^3) ÷ 非洪水期利水容量(m^3)

横山ダムの令和２年の回転率は34回／年である。



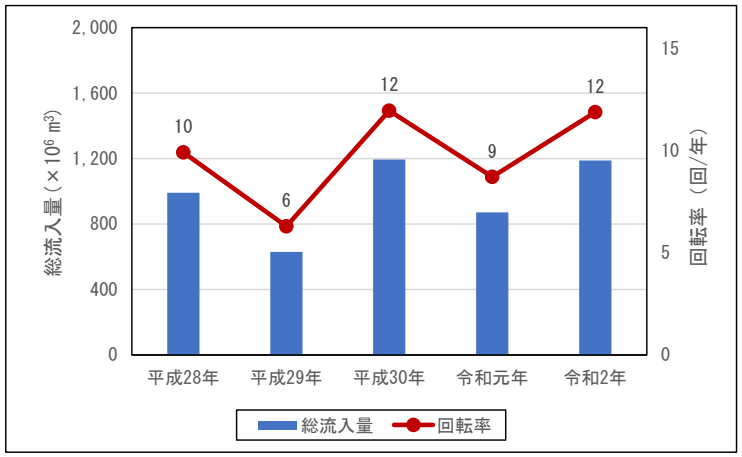
横山ダムの総流入量と回転率(H28～R2年)

徳山ダムの令和２年の回転率は2回／年である。



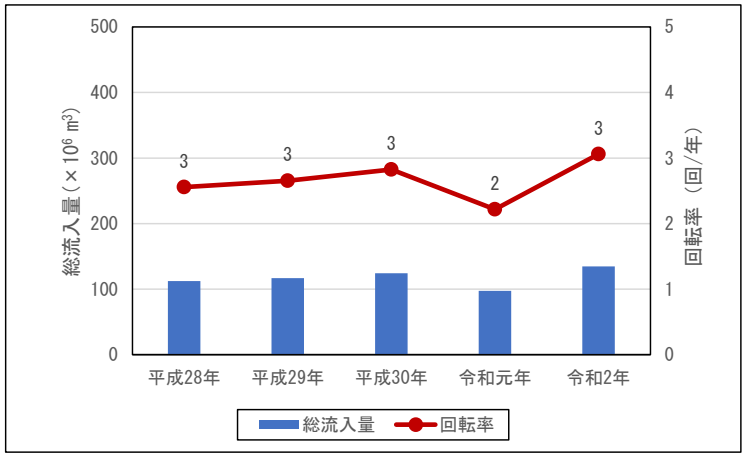
徳山ダムの総流入量と回転率(H28～R2年)

岩屋ダムの令和２年の回転率は12回／年である。



岩屋ダムの総流入量と回転率(H28～R2年)

阿木川ダムの令和２年の回転率は3回／年である。

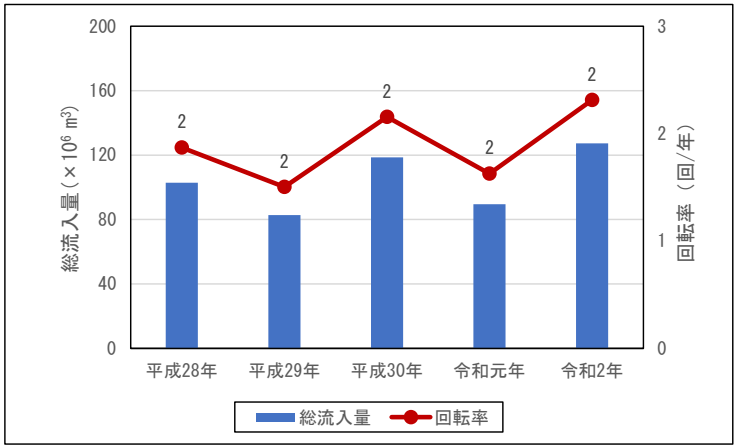


阿木川ダムの総流入量と回転率(H28～R2年)

4. 利水　（２）各ダムの回転率

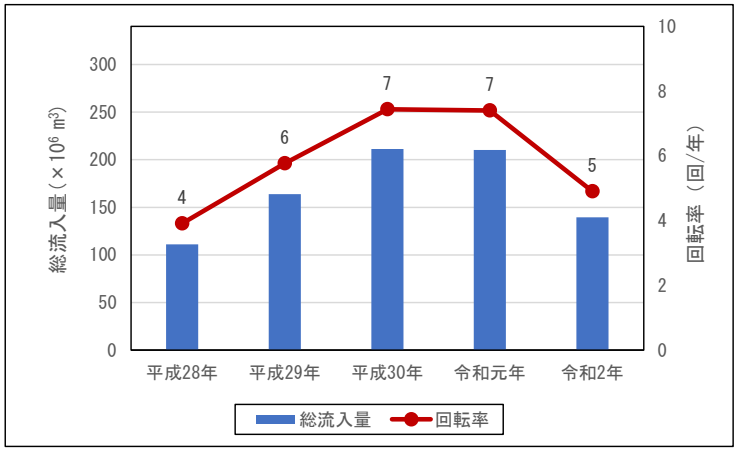
※ 回転率（回/年） ＝ 総流入量(m³) ÷ 非洪水期利水容量(m³)

味噌川ダムの令和２年の回転率は2回／年である。



味噌川ダムの総流入量と回転率(H28～R2年)

蓮ダムの令和２年の回転率は5回／年である。



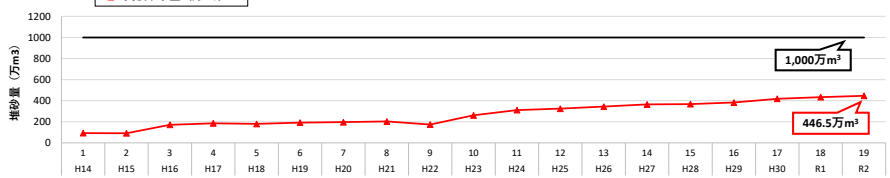
蓮ダムの総流入量と回転率(H28～R2年)

5. 堆砂　（１）堆砂状況　①各ダムの経年堆砂状況

- 令和元年～令和２年は、美和ダム、小渋ダム、新豊根ダム、丸山ダムにおいて、計画年間堆砂量を大きく上回った堆砂量の増加が見られたが、他のダムは大きな増加は見られなかった。

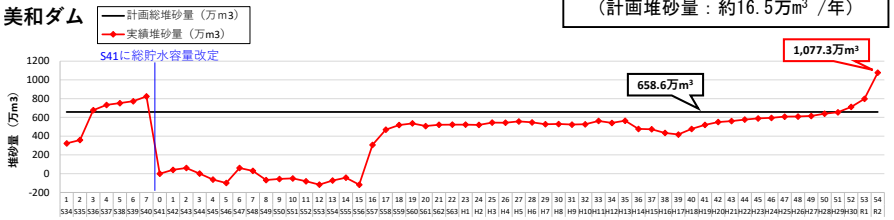
長島ダム

R1→R2　約13万m³増
（計画堆砂量：10万m³/年）



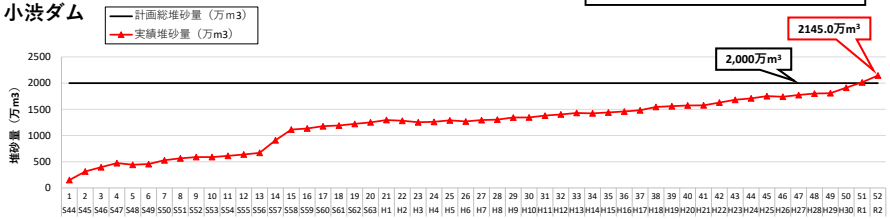
美和ダム

R1→R2　約279万m³増
（計画堆砂量：約16.5万m³ /年）



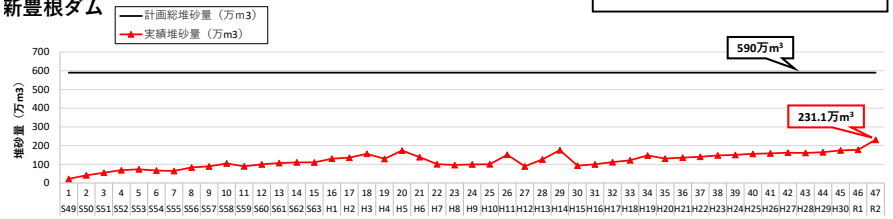
小渋ダム

R1→R2　約131万m³増
（計画堆砂量：40万m³ /年）



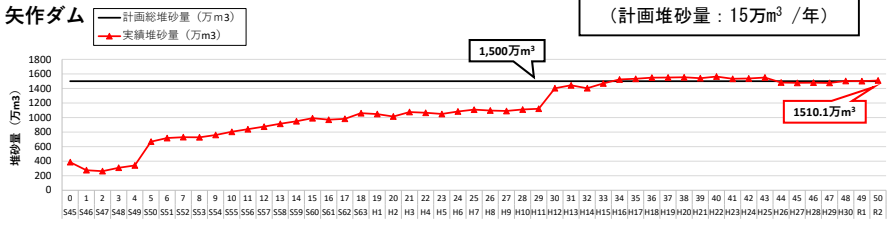
新豊根ダム

R1→R2　約53万m³増
（計画堆砂量：約6万m³ /年）



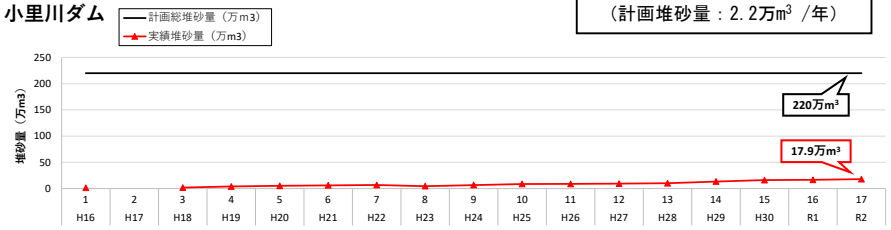
矢作ダム

R1→R2　約9万m³減
（計画堆砂量：15万m³ /年）



小里川ダム

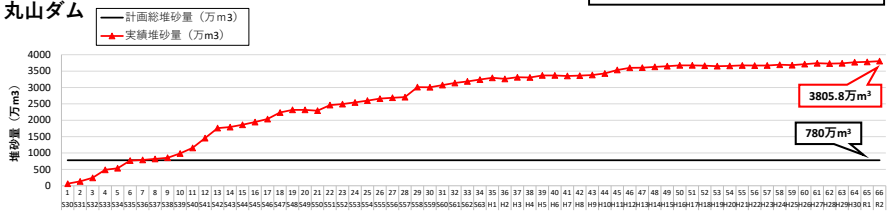
R1→R2　約1.3万m³増
（計画堆砂量：2.2万m³ /年）



5. 堆砂　（1）堆砂状況　①各ダムの経年堆砂状況

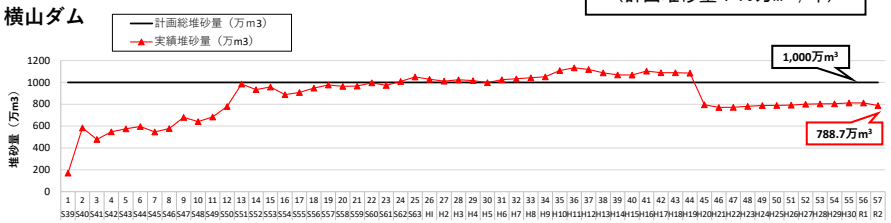
R1→R2　約22万m³増
（計画堆砂量：約8万m³ /年）

丸山ダム



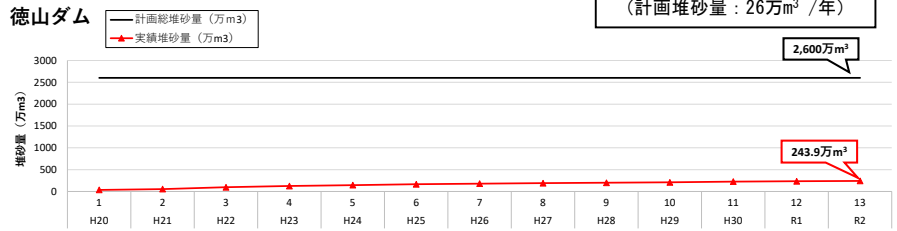
R1→R2　約23万m³減
（計画堆砂量：10万m³ /年）

横山ダム



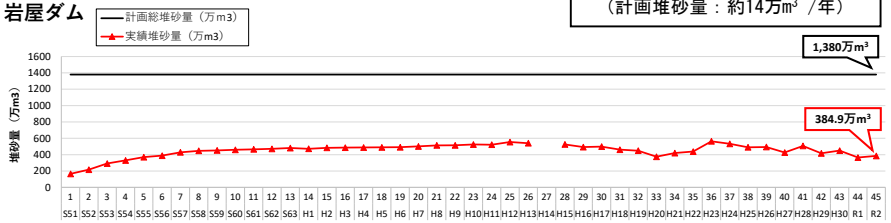
R1→R2　約9万m³増
（計画堆砂量：26万m³ /年）

徳山ダム



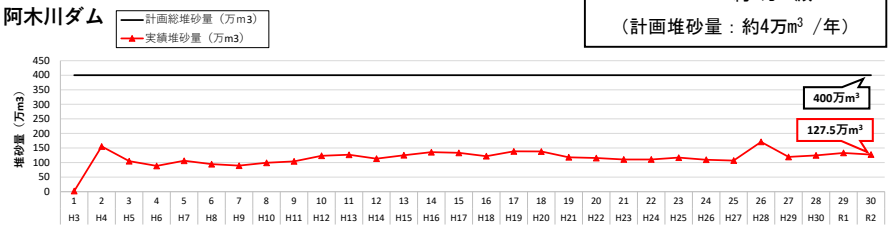
R1→R2　約20万m³増
（計画堆砂量：約14万m³ /年）

岩屋ダム



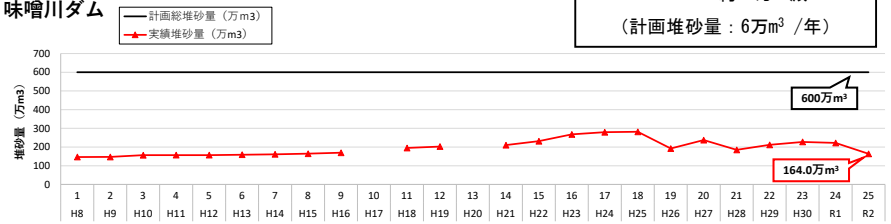
R1→R2　約6万m³減
（計画堆砂量：約4万m³ /年）

阿木川ダム



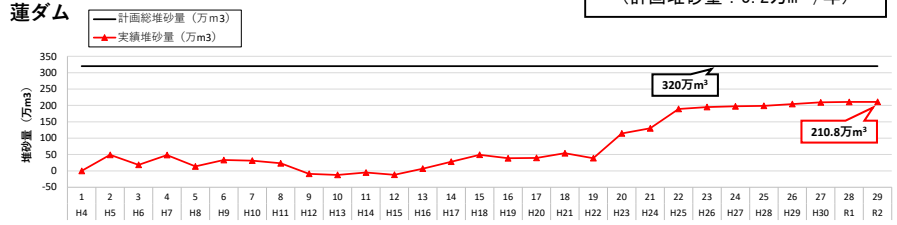
R1→R2　約58万m³減
（計画堆砂量：6万m³ /年）

味噌川ダム



R1→R2　約0.1万m³増
（計画堆砂量：3.2万m³ /年）

蓮ダム



５．堆砂　（２）堆砂対策

令和２年の堆砂対策実施ダム

- 長島ダム：土砂掘削 10,000m3
- 美和ダム：土砂掘削 131,000m^3
- 小渋ダム：砂利掘削・土砂掘削 53,000m^3
- 新豊根ダム：実施なし
- 寒狭川堰：実施なし
- 矢作ダム：土砂掘削 41,000m^3
- 小里川ダム：実施なし
- 丸山ダム：実施なし
- 横山ダム：土砂掘削 14,000m^3
- 徳山ダム：実施なし
- 岩屋ダム：土砂掘削 5,000㎥（馬瀬川貯砂ダム）
- 阿木川ダム：土砂掘削 6,000㎥（阿木川貯留ダム）
- 長良川河口堰：実施無し
- 味噌川ダム：実施無し
- 蓮ダム：砂利掘削・土砂掘削 6,000m^3(蓮貯砂ダム)

阿木川ダムにおける土砂掘削の様子

6. 水質　（1）水質の現況

・環境基準が設定されている項目は、令和２年において概ね基準値を満足していたが、大腸菌群数は基準値を超過するダムが多かった。

ダム名	類型指定		貯水池の水質								
			表層pH	表層DO（mg/L）	表層SS（mg/L）	BOD 表層（mg/L）	COD 表層（mg/L）	T-N 表層（mg/L）	T-P 表層（mg/L）	表層大腸菌群数（MPN/100mL）	表層クロロフィルa（μg/L）
長島ダム	河川AA	最大値	8.0	50.0	11.5	0.9	2.1	0.23	0.201	490	5.0
		平均値	7.8	9.7	5.8	0.7	1.1	0.12	0.029	99	1.7
		最小値	7.4	1.0	8.0	0.5	0.6	0.07	0.005	5	1.0
	基準値		6.5～8.5	7.5mg/L以上	25mg/L以下	1mg/L以下	－	－	－	50MPN/100mL以下	－
美和ダム	河川A	最大値	8.2	12.4	157.0	0.6	2.0	0.43	0.123	1100	1.0
		平均値	8.1	10.5	39.3	0.5	1.0	0.28	0.035	331	1.0
		最小値	7.9	9.1	2.0	0.5	0.5	0.16	0.007	7.8	1.0
	基準値		6.5～8.5	7.5mg/L以上	25mg/L以下	2mg/L以下	－	－	－	1,000MPN/100mL以下	－
小渋ダム	河川AA	最大値	9.2	12.0	159.0	1.9	2.9	0.52	0.100	7000	20.0
		平均値	8.1	9.8	35.0	0.8	2.0	0.31	0.034	984	4.2
		最小値	7.7	7.8	4.0	0.5	1.0	0.17	0.015	5	1.0
	基準値		6.5～8.5	7.5mg/L以上	25mg/L以下	1mg/L以下	－	－	－	50MPN/100mL以下	－
新豊根ダム	－	最大値	7.9	11.8	3.0	1.8	1.9	0.69	0.026	13000	11.0
		平均値	7.7	9.7	2.0	0.9	1.7	0.48	0.015	1702	2.8
		最小値	7.5	6.6	1.0	0.5	0.9	0.15	0.009	23	1.0
	基準値		－	－	－	－	－	－	－	－	－
寒狭川堰	河川AA	最大値	7.7	13.0	2.0	1.2	2.2	0.53	0.018	7000	1.0
		平均値	7.4	10.9	1.1	0.8	1.9	0.37	0.012	1808	1.0
		最小値	6.8	9.1	1.0	0.5	1.0	0.29	0.006	70	1.0
	基準値		6.5～8.5	7.5mg/L以上	25mg/L以下	1mg/L以下	－	－	－	50MPN/100mL以下	－
矢作ダム	河川AA	最大値	7.3	11.7	7.0	0.8	3.0	0.79	0.021	6600	3.0
		平均値	7.1	9.6	2.7	0.3	1.8	0.37	0.015	914	1.1
		最小値	6.8	5.4	1.0	0.0	1.2	0.24	0.009	0	0.3
	基準値		6.5～8.5	7.5mg/L以上	25mg/L以下	1mg/L以下	－	－	－	50MPN/100mL以下	－
小里川ダム	河川B	最大値	8.6	14.3	12.0	2.2	6.8	0.68	0.075	17000	24.0
		平均値	7.3	10.4	3.8	1.2	4.2	0.46	0.035	2365	6.1
		最小値	6.7	7.3	1.0	0.5	2.4	0.22	0.022	5	1.0
	基準値		6.5～8.5	5mg/L以上	25mg/L以下	3mg/L以下	－	－	－	5,000MPN/100mL以下	－
丸山ダム	河川A	最大値	7.4	12.7	430.0	1.1	18.0	0.85	0.130	49000	10.0
		平均値	7.2	10.9	37.3	0.7	2.8	0.37	0.021	4932	1.3
		最小値	7.0	8.4	1.0	0.5	1.0	0.25	0.008	49	1.0
	基準値		6.5～8.5	7.5mg/L以上	25mg/L以下	2mg/L以下	－	－	－	1,000MPN/100mL以下	－

※新豊根ダムは環境基準が指定されていない。
※BOD及びCODの平均値欄には75%値を示している。

：基準値を満たしている項目
：基準値を超過している項目

6. 水質　（1）水質の現況

・環境基準が設定されている項目は、令和２年において概ね基準値を満足していたが、大腸菌群数は基準値を超過するダムが多かった。

ダム名	類型指定		貯水池の水質								
			表層pH	表層DO（mg/L）	表層SS（mg/L）	BOD 表層（mg/L）	COD 表層（mg/L）	T-N 表層（mg/L）	T-P 表層（mg/L）	表層大腸菌群数（MPN/100mL）	表層クロロフィルa（μg/L）
横山ダム	河川AA 湖沼AⅢ	最大値	7.8	11.9	7.0	1.9	2.1	0.53	0.020	1100	18.0
		平均値	7.5	10.2	2.4	0.8	1.2	0.33	0.013	236	3.7
		最小値	7.3	9.1	1.0	0.5	0.6	0.22	0.006	2	1.0
	基準値		6.5～8.5	7.5mg/L以上	5mg/L以下	－	3mg/L以下	－	0.03mg/L以下	1,000MPN/100mL以下	－
徳山ダム	河川AA	最大値	8.3	11.6	6.0	1.8	2.7	0.30	0.013	33000	23.5
		平均値	7.7	9.7	1.4	0.8	1.6	0.23	0.005	2963	5.2
		最小値	7.2	7.8	1.0	0.3	0.8	0.14	0.003	2	0.6
	基準値		6.5～8.5	7.5mg/L以上	25mg/L以下	1mg/L以下	－	－	－	50MPN/100mL以下	－
岩屋ダム	河川AA	最大値	7.7	11.7	6.4	1.0	1.6	0.32	0.017	7900	2.7
		平均値	7.4	10.1	1.4	0.4	1.3	0.22	0.009	1443	1.1
		最小値	7.1	9.0	0.2	0.0	1.0	0.17	0.004	0	0.4
	基準値		6.5～8.5	7.5mg/L以上	25mg/L以下	1mg/L以下	－	－	－	50MPN/100mL以下	－
阿木川ダム	河川A	最大値	7.4	11.7	3.0	0.9	2.9	0.55	0.035	14000	7.2
		平均値	7.2	9.7	2.0	0.6	2.3	0.48	0.017	2200	2.9
		最小値	6.8	8.1	0.9	0.1	1.9	0.43	0.009	13	0.7
	基準値		6.5～8.5	7.5mg/L以上	25mg/L以下	2mg/L以下	－	－	－	1,000MPN/100mL以下	－
長良川河口堰	河川A	最大値	8.4	13.9	8.0	4.4	4.4	1.20	0.100	13000	45.5
		平均値	7.6	10.1	2.6	1.0	1.8	0.85	0.062	2300	5.5
		最小値	7.2	7.4	1.0	0.5	0.8	0.40	0.000	8	0.8
	基準値		6.5～8.5	7.5mg/L以上	25mg/L以下	2mg/L以下	－	－	－	1,000MPN/100mL以下	－
味噌川ダム	湖沼AⅡ	最大値	8.0	10.9	10.5	0.9	1.8	0.48	0.049	1700	2.6
		平均値	7.7	9.8	1.4	0.6	1.4	0.22	0.016	170	1.2
		最小値	7.4	8.6	0.3	0.2	0.6	0.07	0.004	2	0.4
	基準値		6.5～8.5	7.5mg/L以上	5mg/L以下	－	3mg/L以下	－	0.01mg/L以下	1,000MPN/100mL以下	－
蓮ダム	－	最大値	8.7	12.7	2.0	1.1	1.9	0.36	0.012	7900	7.0
		平均値	7.6	10.2	1.0	0.8	1.7	0.21	0.008	1135.8	3.6
		最小値	7.1	8.9	1.0	0.5	0.8	0.13	0.005	7.8	1.0
	基準値		－	－	－	－	－	－	－	－	－

：基準値を満たしている項目
：基準値を超過している項目

※蓮ダムは環境基準が指定されていない。
※BOD及びCODの平均値欄には75%値を示している。

6. 水質　（2）水質変化現象

・全てのダムにおいて、管理上問題となる水質障害は発生していない。

ダム名	水質障害				
	冷温水現象	濁水長期化現象	低層DO低下現象	富栄養化現象	その他
長島ダム	―	―	―	―	―
美和ダム	―	―	―	―	―
小渋ダム	―	―	―	―	―
新豊根ダム	―	―	―	―	―
寒狭川堰	―	―	―	―	―
矢作ダム	―	―	―	―	―
小里川ダム	―	―	―	―	着色現象発生※1 （5月～9月）
丸山ダム	―	―	―	―	―
横山ダム	―	―	―	―	―
徳山ダム	―	―	―	―	藍藻類の 部分的集積を確認※2 （9/24～11/24）
岩屋ダム	―	―	―	―	―
阿木川ダム	―	―	―	―	―
長良川河口堰	―	―	―	―	―
味噌川ダム	―	―	―	―	―
蓮ダム	―	―	―	―	淡水赤潮発生※3 （6月末）

※1：苦情や魚の斃死等富栄養化に関わる障害は生じていない。
※2：発生箇所は、9／24シッペ谷付近及びヒン谷付近に発生、10／2西谷付近に発生。
※3：発生箇所は、蓮川フェンス付近。

7. 生物　（1）調査実施状況

河川水辺の国勢調査【ダム湖版】等の生物調査の実施状況（1/3）

ダム名 項目	長島	美和	小渋	新豊根	寒狭川堰	矢作	小里川	丸山	横山	徳山	岩屋	阿木川	長良川河口堰	味噌川	蓮
魚類	H16, H21, H26, R2	H06, H10, H14, H19, H24, H29,	H05, H10, H14, H15, H19, H24, H29,	H05, H10, H15, H16, H19, H24, H29,	H15から毎年	H03, H05, H10, H13, H15, H21, H26, R2	H18, H24, H29,	H07, H10, H15, H20, H26,	H08, H13, H20, H26,	H24, H26,	H02, H05, H08, H13, H20, H26,	H03, H05, H08, H13, H20, H26,	H12, H16, H20, H26,	H12, H17, H20, H26,	H04, H05, H08, H09, H14, H18, H23, H28,
底生動物	H16, H21, H26,	H05, H09, H14, H19, H24, H29,	H05, H06, H07, H10, H14, H15, H19, H24, H29,	H06, H10, H15, H16, H19, H24, H29,	H15から毎年	H05, H10, H15, H22, H27, R01	H18, H24, H29,	H07, H10, H15, H21, H27, R01	H04, H10, H15, H21, H27, R01	H27, R01	H07, H12, H17, H21, H27, R01	H07, H12, H17, H21, H27, R01	H12, H16, H20, H27, R01	H12, H17, H21, H27, R01	H06, H08, H14, H18, H24, H29,
動植物ﾌﾟﾗﾝｸﾄﾝ	H16, H21, H26,	H06, H11, H17, H22, H27,	H05, H11, H15, H22, H27,	H06, H17, H22, H27, R2	H15から毎年	H05, H11, H14, H19, H28, H29,	H17, H18, H19, H20,	H11, H16, H21, R2	H04, H10, H13, H21, H27, R2	H27,	H07, H12, H17, H21, H27,	H07, H12, H17, H21,	H12から毎年	H12, H17, H21,	H11, H17, H22,

※植物プランクトンは水質の項目で考察する。

※長良川河口堰は木曽川下流長良川の調査実施年

7. 生物　（1）調査実施状況

河川水辺の国勢調査【ダム湖版】等の生物調査の実施状況（2/3）

ダム名 項目	長島	美和	小渋	新豊根	寒狭川堰	矢作	小里川	丸山	横山	徳山	岩屋	阿木川	長良川河口堰	味噌川	蓮
植物	H18,	H05, H07, H08, H14, H18, H28,	H04, H06, H07, H09, H16, H18, H28,	H05, H14, H15, H18, H28,	（実施していない）	H06, H09, H13, H25,	H22, R2	H07, H09, H14, H23,	H04, H09, H14, H23,	H25,	H05, H09, H15, H23,	H09, H10, H15, H23,	H14, H19, H23	H13, H23,	H05, H09, H15, H25,
環境基図	H18, H25,	H05, H07, H08, H14, H18, H23, H28,	H04, H06, H07, H09, H16, H18, H23, H28,	H05, H14, H18, H23, H28,	（実施していない）	H06, H09, H13, H25	H18, H22, H27, R2	H07, H09, H14, H19, H24, H29,	H04, H09, H14, H19, H24, H29,	H29,	H05, H09, H15, H19, H24, H29,	H10, H15, H19, H24, H29,	H14, H19, H24, H29	H13, H19, H24, H29,	H05, H09, H15, H21, H26, R01
鳥類	H18, H29,	H05, H08, H14, H27,	H05, H06, H07, H09, H14, H27,	H05, H09, H14, H15, H16, H27,	（実施していない）	H05, H09, H13, H14, H23,	H20, H25,	H07, H09, H14, H22, R2	H04, H09, H14, H22,	H23, R2	H06, H11, H16, H22, R2	H06, H11, H16, H22, R2	H12, H17, H22, R2	H11, H16, H22, R2	H05, H10, H13, H20,

※長良川河口堰は木曽川下流長良川の調査実施年

7. 生物　（1）調査実施状況

河川水辺の国勢調査【ダム湖版】等の生物調査の実施状況（3/3）

ダム名 項目	長島	美和	小渋	新豊根	寒狭川堰	矢作	小里川	丸山	横山	徳山	岩屋	阿木川	長良川河口堰	味噌川	蓮
両生類・爬虫類・哺乳類	H18, H28,	H05, H08, H14, H21, R01	H05, H06, H07, H10, H14, H21, R1	H06, H15, H16, H21, R01	（実施していない）	H05, H10, H16, H18, H28,	H21, R01	H07, H10, H15, H25,	H07, H10, H15, H25,	H25,	H06, H11, H16, H25,	H06, H11, H16, H25,	H15, H25	H15, H25,	H05, H10, H16, H19, H29,
陸上昆虫類等	H17, H22,	H05, H08, H09, H16, H20,	H06, H07, H09, H14, H20,	H05, H09, H14, H15, H20,	（実施していない）	H06, H09, H13, H14, H25,	H17, H19, H29,	H07, H09, H14, H18, H28,	H08, H13, H18, H28,	H23, H28,	H05, H09, H14, H18, H28,	H09, H14, H18, H28,	H13, H18 H28	H14, H18, H28,	H06, H10, H16, H22, R2

※長良川河口堰は木曽川下流長良川の調査実施年

7. 生物　（２）重要種・外来種の選定基準

【重要種】

〇文化財保護法：「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)等
　　特天：特別天然記念物、天：天然記念物、県天：県天然記念物

〇種の保存法：「絶滅のおそれのある野生生物の種の保存に関する法律」(平成4年法律第75号)
　　国内：国内希少野生動植物種　緊急：緊急指定種

〇環境省RL：「環境省報道発表資料 第4次レッドリストの公表について」(環境省 平成25年2月)
　　EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧IA類、EN：絶滅危惧IB類、 VU：絶滅危惧Ⅱ類、
　　NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：地域個体群

〇県RDB：各県で制定しているレッドデータブックに記載の種
　　EX＋EW：絶滅、A：絶滅危惧I類、B：絶滅危惧II類、C：準絶滅危惧、D：希少、 N：注意、
　　NE：未評価　　（※県RDBのカテゴリ分類は県ごとに異なるため、一般的な分類を記載）

【外来種】

〇特定外来生物：「特定外来生物による生態系に係わる被害の防止に関する法律(平成16年法律第78号)

〇生態系防止被害：生態系被害防止外来種のうち、国外由来の外来種：「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(環境省 平成27年3月)
　定着：定着予防外来種（国内に未定着のもの。定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、導入の予防や水際での監視、野外への逸出・定着の防止、発見した場合の早期防除が必要な外来種）
　総合：総合対策外来種（国内に定着が確認されているもの。生態系等への被害のおそれがあるため、国、地方公共団体、国民など各主体がそれぞれの役割において、防除（野外での取り除き、分布拡大の防止等）、遺棄・導入・逸出防止等のための普及啓発など総合的に対策が必要な外来種）
　産業：産業管理外来種（産業又は公益的役割において重要であり、現状では生態系等への影響がより小さく、同等程度の社会経済的効果が得られるというような代替性がないため、利用において逸出等の防止のための適切な管理に重点を置いた対策が必要な外来種）

7. 生物　（3）調査結果の概要

動植物プランクトン

ダム名	調査結果	調査日
新豊根ダム	○確認種数：動物プランクトン4綱6目13科21種、植物プランクトン8綱12 目25 科41種	4月から3月までの12回実施

魚類

ダム名	調査結果	調査日
矢作ダム	○確認種数：5 目12 科35 種 ○重要種：8種(スナヤツメ類、ゼゼラ、イトモロコ、ドジョウ、ニシシマドジョウ等) ○外来種：10種(コイ（飼育型）、ワタカ、ハス、ホンモロコ、オオガタスギシマドジョウ等)	春季：R2/6/15-19 秋季：R2/10/13-16
長島ダム	○確認種数：4 目7 科17 種 ○重要種：3種(アカザ、サツキマス、カワヨシノボリ) ○外来種：(該当種なし)	春季：R2/5/18-21 夏季：R2/8/17-21 秋季：R2/11/9-13

注）外来種（下線）は特定外来生物

7. 生物　（3）調査結果の概要

陸上昆虫類

ダム名	調査結果	調査日
蓮ダム	○確認種数：17 目223 科1123 種 ○重要種：10種(オニグモ、コガネグモ、カワベコモリグモ、グンバイトンボ、アキアカネ等) ○外来種：4種(アオマツムシ、アワダチソウグンバイ、アズキマメゾウムシ、オオタコゾウムシ) ○土砂投入モニタリング調査（藻類調査、底生動物調査、魚類調査）	春季：R2/5/20-22 夏季：R2/7/20-22 秋季：R2/10/12-14

植物

ダム名	調査結果	調査日
小里川ダム	○確認種数：125 科613 種 ○重要種：4 種(キンラン、カキラン、フモトミズナラ、ヒメナミキ) ○外来種：2種(アレチウリ、オオキンケイギク)	春季 秋季

注）外来種（下線）は特定外来生物

7. 生物　（3）調査結果の概要

鳥類

ダム名	調査結果	調査日
徳山ダム	○確認種数：15目37科84種 ○重要種：23種（ヤマドリ、オシドリ、カイツブリ、アオバト、ヨタカ、ミサゴ等） ○外来種：1種(ソウシチョウ)	繁殖期：R2/6/4-7 越冬期：R2/12/7-10
阿木川ダム	○確認種数：14 目34 科74 種 ○重要種：12種(ヤマドリ、カイツブリ、アオバト、ミサゴ、ハチクマ、オオタカ等) ○外来種：2種(コジュケイ、カワラバト(ドバト))	繁殖期：R2/6/1-2 越冬期：R3/1/21-22
味噌川ダム	○確認種数：鳥類13 目30 科68 種 ○重要種：9種(オシドリ、カンムリカツブリ、ヨタカ、ミサゴ、オオタカ、クマタカ等) ○外来種：1種(コジュケイ)	繁殖期：R2/6/17,18,20 越冬期： R3/1/18,19,20,21
岩屋ダム	○確認種数：13 目31 科62 種 ○重要種：15種(ヤマドリ、カイツブリ、アオバト、ヨタカ、ミサゴ、ハイタカ、オオタカ等) ○外来種：1種(コジュケイ)	繁殖期：R2/6/27 越冬期：R3/1/18,19
丸山ダム	○確認種数：16 目39 科91 種 ○重要種：24種(ヤマドリ、オシドリ、カイツブリ、カンムリカツブリ、アオバト等) ○外来種：2種(ソウシチョウ、コジュケイ)	繁殖期：R2/6/8-10 越冬期：R3/1/12-14
横山ダム	○確認種数：10 目29 科63 種 ○重要種：12種(オシドリ、アオバト、ヨタカ、ミサゴ、ハイタカ、オオタカ、サシバ等) ○外来種：(該当種なし)	繁殖期：R2/6/8-10 越冬期：R2/12/21-23

注）外来種（下線）は特定外来生物

7. 生物　（3）調査結果の概要

環境基図

ダム名	調査結果	調査日
蓮ダム	○群落及び土地利用区分：43区分(面積最大：アカマツ群落) ○重要種群落：(該当種なし) ○外来種群落：7群落(オオオナモミ群落、オオブタクサ群落、セイタカアワダチソウ群落等)	―

フォローアップ調査

ダム名	調査結果	調査日
寒狭川堰	【魚類】 ○確認種数：7目12科29種 ○重要種：8種(スナヤツメ類、ニホンウナギ、ドジョウ、ニシシマドジョウ、アカザ等) ○外来種：4種(イチモンジタナゴ、ビワヒガイ、ギギ、オオクチバス) 【底生動物】 ○確認種数：9綱24目96科261種 ○重要種：9種(ヒラマキミズマイマイ、キイロヤマトンボ、オオアメンボ、ナベブタムシ等) ○外来種：4種(サカマキガイ、カワヒバリガイ、フロリダマミズヨコエビ、アメリカザリガニ) 【付着藻類】 ○確認種数：4綱12目19科83種 ○重要種・外来種：(該当種なし) 【動植物プランクトン】 ○確認種数：植物プランクトン6綱10目22科94種 動物プランクトン5門11綱17目30科56種 ○重要種・外来種：(該当種なし)	春季：R2/6/1-4 夏季：R2/8/11-14 秋季：R2/10/26-29 冬季：R3/1/5-8
長良川河口堰	【鳥類】 ○確認種数：14 目33 科65 種 ○重要種：8種(カイツブリ、カワアイサ、バン、ケリ、オオセグロカモメ、コアジサシ、ミサゴ、ハイイロチュウヒ) ○外来種：(該当種なし) ○魚道等及び堰上流における回遊性魚類等の遡上・降下の状況調査を実施	繁殖期：R2/6/5,6,7,9 越冬期：R3/1/13,14, 15, 18, 20, 21

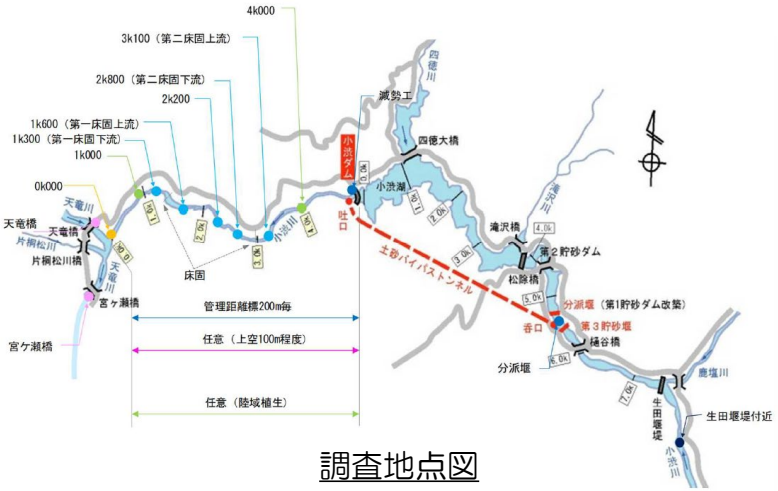
注）外来種（下線）は特定外来生物

7. 生物 （4）環境保全対策の実施状況　小渋ダム

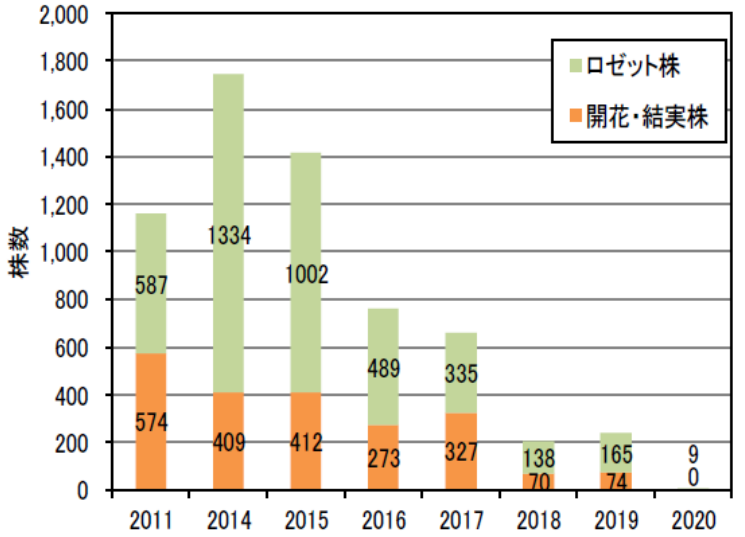
ツツザキヤマジノギクの保全活動について

- 小渋川のツツザキヤマジノギクの生育株数は、経年で減少傾向であるが、この減少傾向は天竜川流域全体に及んでいる。
- 生育株数の減少の主な要因は、近年の出水に伴い生育場に土砂が堆積したことに起因する。
- 令和元年に河岸に生育していた個体については河岸侵食が発生し消失した物と考えられる。
- 本種は、出水時に攪乱の影響が大きい砂礫河原を生育環境とするため、出水に起因する減少は一時的なものである可能性が高い。
- また、本種については、松川町や中川村等の地域を中心とした保全活動も盛んな状況である。
- 今後も、有識者の助言を得ながら、ダムの管理・運用の中で継続的にモニタリングを進めるとともに、地域の保全活動に協力していく。

■ツツザキヤマジノギクの確認株　（令和2年調査時）



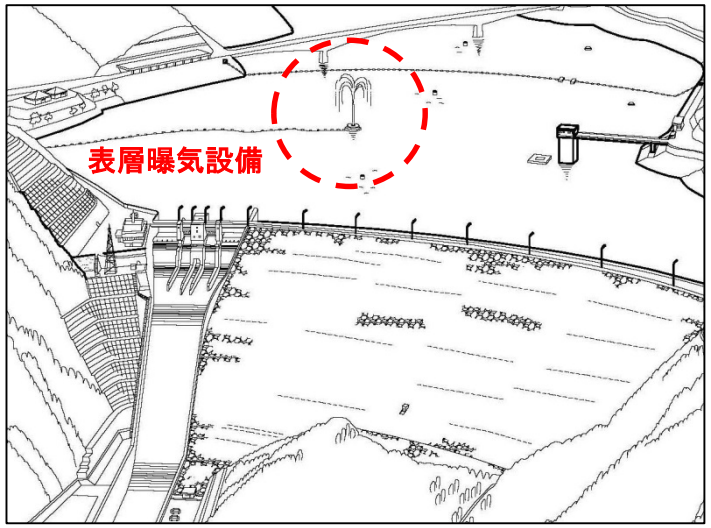
調査地点図



ツツザキヤマジノギクの株数変化

7．生物　（４）環境保全対策の実施状況　阿木川ダム

☆表層曝気設備（噴水）ケーブルにカワウが営巣し、コロニー化
☆施設への糞害が懸念されるだけでなく、陸封アユの食害等の心配により、地元漁協から駆除を要望され、繁殖の抑制対策を実施



関係機関との打合せ結果

★巣を撤去しても場所を移動し営巣する。⇒個体数抑制対策として、卵のみを採取し繁殖期終了後、巣の撤去を実施した方が良い。（岐阜県水産研究所）
★『鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律』に基づき、許可申請が必要（岐阜県・環境課）
★岐阜県・環境課と調整して対策を進めていただきたい（恵那市・林政課）

鳥獣の捕獲等および鳥類の卵の採取等

令和元年度

許可申請：
令和元年6月13日
許　可：
令和元年6月17日

採取日	採取個数
6月17日	11
6月25日	10
7月2日	12
7月10日	11
7月17日	14
合計	58

令和２年度

許可申請：令和2年4月17日
許　　可：令和2年4月21日

カワウ卵の処分数量

採取日	卵	
	採取個数	処分個数
4月21日	19	19
5月7日	81	81
5月13日	23	23
5月20日	46	46
5月27日	85	85
6月3日	66	66
6月10日	84	84
合　計	404	404

8. 水源地域動態 （１） ダム湖利用状況

ダム湖利用状況①

ダム名	利用形態	令和元年度（最新の調査結果）の利用状況（長島ダムのみ令和2年度の調査結果）
美和ダム	スポーツ 釣り ボート 散策 野外活動 施設利用 その他	年間利用者数は3.5万人と推計され、利用形態別の利用状況は、「スポーツ」が最も多く64.3%、次いで「散策」が21.3%でした。 利用場所は湖畔の利用が最も多く、67.4%となっています。
小渋ダム	スポーツ 釣り ボート 散策 野外活動 施設利用 その他	年間利用者数は3.1万人と推計され、利用形態別の利用状況は、「施設利用」が最も多く71.3%、次いで「釣り」の12.4%でした。 利用場所は湖畔の利用が最も多く、76.9%となっています。
新豊根ダム	スポーツ 釣り ボート 散策 野外活動 施設利用 その他	年間利用者数は1.6万人と推計され、利用形態別の利用状況は、ダム見学やダムカード収集を目的とした「その他」が31%、次いで「散策」が31.0%でした。 利用場所は湖畔の利用が最も多く、66.0%となっています。
寒狭川堰	該当なし	該当なし
矢作ダム	スポーツ 釣り ボート 散策 野外活動 施設利用 その他	年間利用者数は4.0万人と推計され、利用形態別の利用状況は、「散策」が最も多く35.7%、次いで「施設利用」の34.7%でした。 利用場所は湖畔の利用が最も多く、58.6%となっています。
小里川ダム	スポーツ 釣り ボート 散策 野外活動 施設利用 その他	年間利用者数は6.9万人と推計され、利用形態別の利用状況は、「散策」が最も多く71.6%、次いで「施設利用」が23.2%でした。 利用場所はダム本体の利用が最も多く、95.7%となっています。
長島ダム	スポーツ 散策 野外活動 施設利用 その他	年間利用者数は6.9万人と推計され、利用形態別の利用状況は、「散策」が最も多く52.2%、次いでは「施設利用」が26.5%でした。 利用場所は貯水池中央部の利用が最も多く、95.7%となっています。

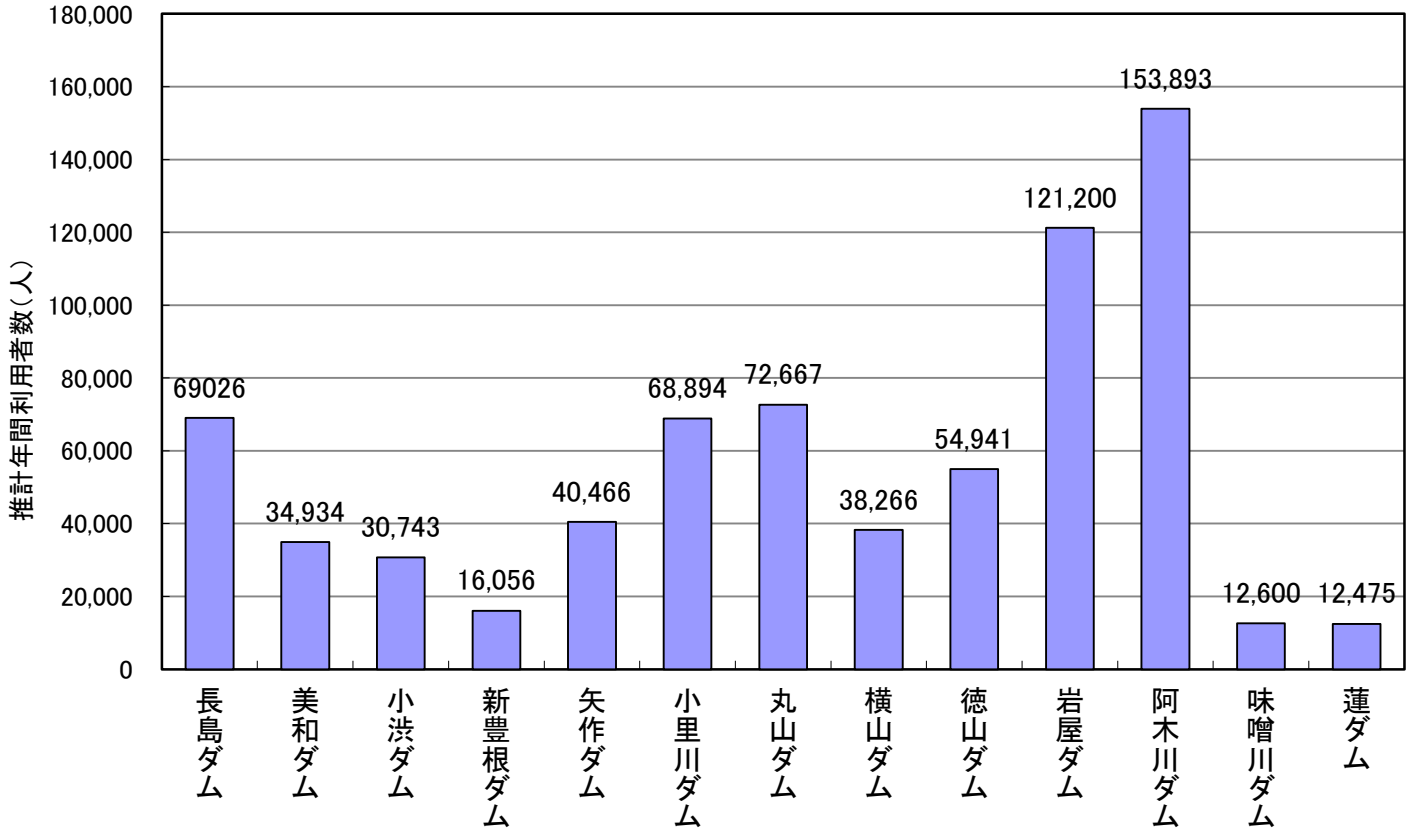
8. 水源地域動態 （1） ダム湖利用状況

ダム湖利用状況②

ダム名	利用形態		令和元年度（最新の調査結果）の利用状況
丸山ダム	スポーツ 釣り	散策 野外活動 施設利用 その他	年間利用者数は7.3万人と推計され、利用形態別の利用状況は、「野外活動」が最も多く33.3%、次いで「散策」が24.56%でした。 利用場所は人道の丘公園の利用が最も多く、42.0%となっています。
横山ダム	スポーツ 釣り ボート	散策 野外活動 施設利用 その他	年間利用者数は3.8万人と推計され、利用形態別の利用状況は、「施設利用」が最も多く51.0%、次いで「スポーツ」が28.0%でした。 利用場所は湖畔の利用が最も多く、95.4%となっています。
徳山ダム	スポーツ 釣り 散策	野外活動 施設利用 その他	年間利用者数は5.5万人と推計され、利用形態別の利用状況は、「散策」が最も多く71.6%、次いで「施設利用」が21.8%でした。 利用場所はダムの利用が最も多く、全体の53.9%となっています。
岩屋ダム	スポーツ 釣り 散策	野外活動 施設利用 その他	年間利用者数は約12.1万人と推計され、道の駅の施設やキャンプ場等の観光レクリエーション施設等の利用がダム湖利用形態の大部分を占めています。
阿木川ダム	スポーツ ボート 野外活動 その他	釣り 散策・休息 施設利用	年間利用者数は15.4万人と推計され、利用形態別の利用状況は、「施設利用」が42.6%、「散策・休息」が42.0%と多く、次いで「野外活動」が12.0%でした。 利用場所は湖畔の利用が最も多く、全体の85.5%となっています。
長良川河口堰	該当無し		該当無し
味噌川ダム	スポーツ 釣り 散策	野外活動 施設利用 その他	年間利用者数は1.3万人と推計され、そのうち散策がダム湖利用形態の大部分を占めています。
蓮ダム	スポーツ 釣り ボート	散策 野外活動 施設利用 その他	年間利用者数は1.2万人と推計され、利用形態別の利用状況は、「散策」が最も多く37.2%、次いで「施設利用」が28.6%でした。 利用場所は湖畔の利用が最も多く、91.3%となっています。

8. 水源地域動態 （１）ダム湖利用状況

ダム湖利用状況③



推計年間利用者数（令和元年度）

※河川水辺の国勢調査（ダム湖利用実態調査）より
※長島ダムのみ令和２年度

8. 水源地域動態 （2）水源地域ビジョン

水源地域ビジョンの策定と令和２年度の推進状況等①

ダム名	策定年度	策定・推進のキーワード	森と湖に親しむ旬間行事
長島ダム	平成16年3月	◎取り組みの方向性： 流域の交流・連携の促進 水源地域のネットワーク強化	・twitter情報発信 ・長島ダムライトアップ ・左右岸からの長島ダム放流
美和ダム	平成15年度	① 南アルプスの山々、三峰川、美和湖・高遠湖の自然環境を保全し、活用します。 ② 山村文化を地域内で育て楽しむとともに、他地域の人々との交流を促進します。 ③ くらしや生業を活性化し、いきいきとした水源地域とします。	ダム堤体巡視体験 ダム情報など情報発信（Twitter） 夜間ライトアップ（通常のライトアップ）
小渋ダム	平成17年度	1．小渋川流域住民、関係行政機関の連携 （流域内の協働と連携） 2．小渋川の水を軸とした地域間交流の促進 （流域外との交流促進） 3．小渋川流域の産業の振興と育成 （第一次産業を基盤とした産業振興） 4．自然環境・文化環境の活用 （自然・歴史文化とのふれあい） 5．地域との連携を促進するための環境整備 （地域の魅力の基盤となる自然環境の保全と整備/地域の総合的な情報発信）	ダム堤体巡視体験 ダム情報など情報発信（Twitter） 夜間ライトアップ（通常のライトアップ）
新豊根ダム	平成18年3月	◎ ビジョンの基本方針 「情報」 「自然環境」 「人材育成」 「観光交流」	SNSを利用して新豊根ダムについて紹介する。

8. 水源地域動態 （2）水源地域ビジョン

水源地域ビジョンの策定と令和２年度の推進状況等②

ダム名	策定年度	策定・推進のキーワード	森と湖に親しむ旬間行事
矢作ダム	平成18年3月	◎基本理念五ヶ条 一. わごころ※の交流を楽しみ、矢作ダム水源地域の活性化を図る。 一. 地域の歴史文化と伝統を誇りとする。 一. 豊かな森林資源と清流・矢作川を誇りとする。 一. 人を慈しみ、自然を慈しむ、やすらぎの郷を誇りとする。 一. 山の幸、水の幸に恵まれたふるさとを誇りとする。	ツイッターを活用し、矢作ダムに関連する情報（写真、動画）の発信を行う。
小里川ダム	平成15年度	◎ビジョンの推進手法 ①ダム事業の影響・効果に関する情報を提供し、 ②それを踏まえた地域振興方策を地域住民自らが考える為の支援を行い、 ③多くの地域住民の参加の下、地域の将来像を描き ④下流域住民の協力を得て実効性のある取組みを具現化させることにより、 ⑤地域振興への地域住民の主体的な行動を喚起し、 ⑥様々な地域振興に向けた動きを可能な限り支援する。	庄内川河川事務所Twitterにて、小里川ダムの普段は見られない施設などを紹介するスペシャル映像を期間中毎日投稿。
丸山ダム	平成19年3月	◎ ビジョンの実現方策 1.まちのにぎわいづくり 2.川・ダムを活かした魅力づくり 3.交流ネットワークづくり	丸山ダムFacebookにドローン撮影画像投稿 日替わりで管理職員撮影「ダム一押し写真」をFacebookに投稿
横山ダム	平成15年7月	◎ ビジョンのテーマ ① 緑豊かな自然に学ぶ奥いび（自然資源の活用を軸に展開） ② 揖斐川の流れが育む奥いび（揖斐川を軸に上下流交流について展開） ③ 地場産業と歴史文化が創る魅力の奥いび（地域性を軸に振興策について展開）	木曽川上流河川事務所 横山ダムのHPに「森と湖に親しむ旬間の期間限定動画」を投稿する。

８．水源地域動態　（２）水源地域ビジョン

水源地域ビジョンの策定と令和２年度の推進状況等②

ダム名	策定年度	策定・推進のキーワード	森と湖に親しむ旬間行事
徳山ダム	平成18年度	★揖斐の防人・中部の水瓶としての上流域環境を、みんなで守り育てる ★自然の叡智や風土など水源地域そのものを「水と森の自然博物館」として、学び、やすらぐ ★流域ぐるみで協働し、流域文化の創造と展開を図る	行事の実施なし
岩屋ダム	平成14年度（平成15年3月）	岩屋ダムの活用 観光機能の強化 環境の保全 地域参加・交流の推進	岩屋ダムや水源地域（下呂市）を紹介する文案をWEBで応募し、かるたを作成
阿木川ダム	平成16年度	Ⅰ地域環境の保全と向上 Ⅱ地域観光の活性化 Ⅲ阿木川ダムの有効利用 Ⅳ地域産業の振興 Ⅴ地域や阿木川ダムのPR推進	行事の実施なし
長良川河口堰	該当無し	該当無し	行事の実施なし
味噌川ダム	平成13年度	◎ ビジョンの基本方針 『～先ずは～　地域を知り、地域に誇りを持とう。』 『～次に～　地域資源を活かし、地域経済の活性化を図ろう。』	行事の実施なし
蓮ダム	平成15年3月	◎ ビジョンの取り組み ・ダム周辺のハード整備・ソフト対策 ・水を軸とした地域間交流 ・地場産業の振興	中部地整アカウントに蓮ダムの紹介動画を投稿

８．水源地域動態　（２）水源地域ビジョン

小里川ダム
（twitter投稿）

矢作ダム
（twitter投稿）

蓮ダム
（動画投稿）

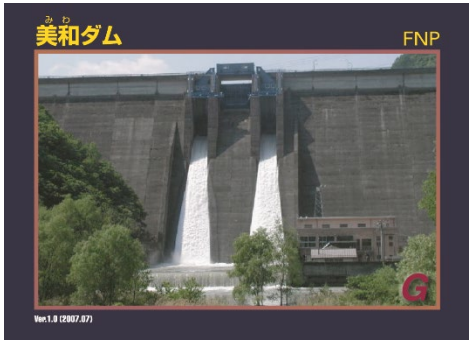
岩屋ダム
（『岩屋ダムかるた』の作成）

森と湖に親しむ旬間における主なイベントの実施状況（令和２年度）

８．水源地域動態

（２）水源地域ビジョン

長島ダム



美和ダム

小渋ダム

新豊根ダム

矢作ダム

小里川ダム

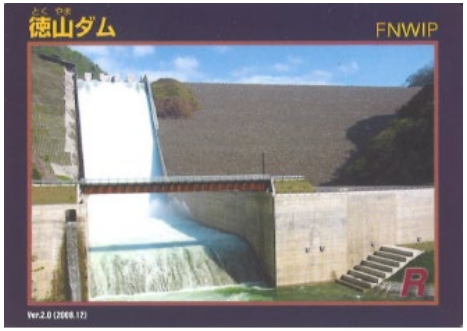
丸山ダム

横山ダム

ダムカード①

※ダムカード：ダムの写真や形式等の情報が記載され、ダム管理所で無料配布されている、縦6.3cm×横8.8cmのカード

８．水源地域動態　（２）水源地域ビジョン



徳山ダム

岩屋ダム

阿木川ダム

長良川河口堰

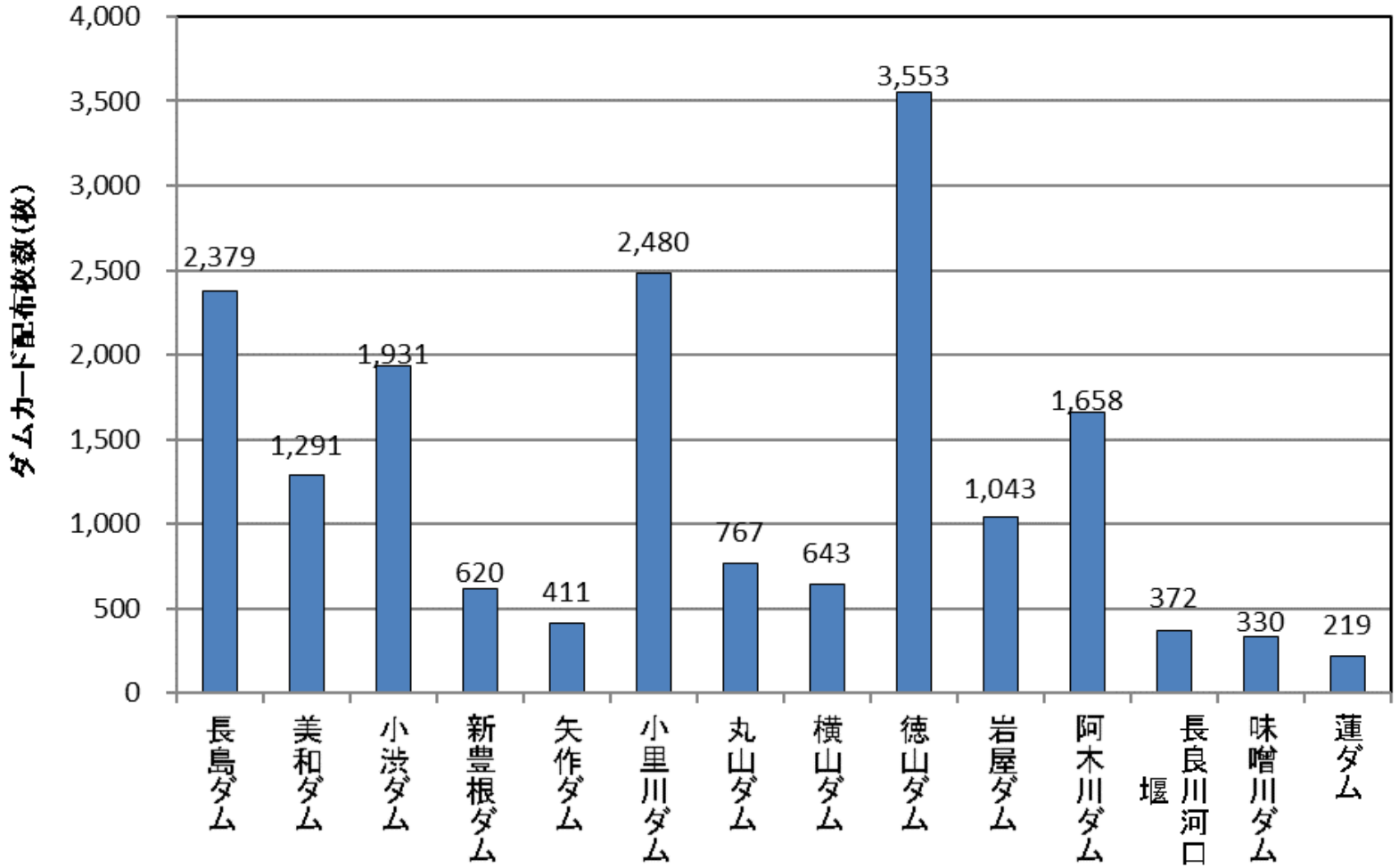
味噌川ダム

蓮ダム

ダムカード②

※ダムカード：ダムの写真や形式等の情報が記載され、ダム管理所で無料配布されている、縦6.3cm×横8.8cmのカード

8. 水源地域動態 （２）水源地域ビジョン



ダムカード配布枚数（令和２年度）